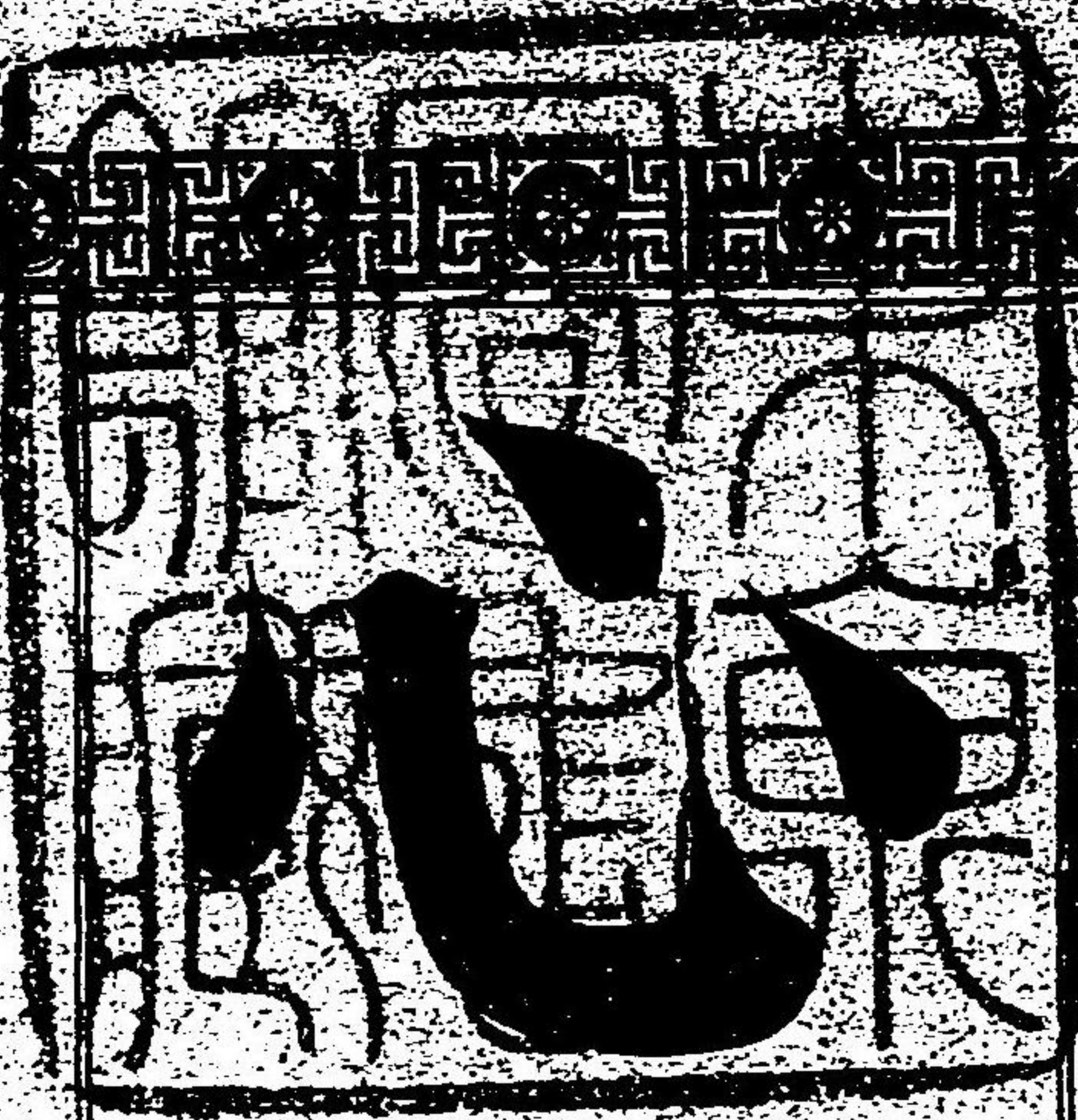
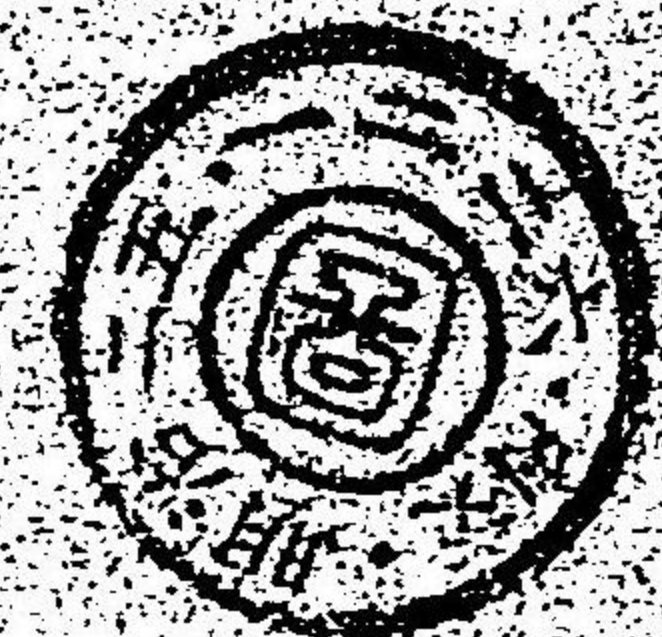


1917.5/100



矢島錦藏著

理學全



東京博文館藏版

心理學目次

總論	一
第一章	心意及身體一四
第二章	神經系統ノ發達三三
第三章	心ノ諸能力三八
第四章	心意ノ發達五二
第五章	注意六三
第六章	感覺七八
第七章	知覺力九九
第八章	再生的想像力即記憶一七
第九章	構造的想像力三四
第十章	概念力五〇

第十一章 判斷力……………一六六

第十二章 推理力……………一七二

第十三章 感情總論——體欲……………一八三

第十四章 各種ノ情緒……………一九三

第十五章 意志總說……………二〇九

第十六章 複雜ナル意志……………二一九

心理學目次終

心理學

矢島 錦藏 著

總論

心理學ニ於テ講究スル所ハ心ノ作用ノ理法ナリ。心ハ一種靈妙ノ活動ヲ現出スル者ナリ。之ヲ分析シテ解的ニ考究スレバ現出セラル、所ノ活動ト此ノ活動ヲ發起スル所ノ本体ト在リ。即チ心ヲ分解シテ本体ト作用トノ二ト爲ス故ニ理論上ヨリ見ル時ハ心ノ本体ト其ノ現象即チ作用ト明ニ區別ス可キ筈ナレトモ通常心理學ニ於テ論スル所ハ其ノ作用ニ止メテ本体ニ及バズ。作用ハ現象トシテ吾カ心ニ覺知セラル、モ其ノ本体ハ覺知ス可カラズ唯學者ノ學說トシテ理想上ニ理會スベキノミナリ。

物理學ニ於テハ電氣ノ諸現象ヨリ其ノ活動ノ理法ヲ研究スル事ヲ得タルモ諸電氣ノ本体ハ何物ナルカハ之レヲ説明シ得タル者ナシ。之レヲ説明シ得ザルモ

電氣ハ宇内ノ一種ノ勢力ニシテ其ノ勢力ハ斯ノ如キ現象ヲ斯ノ如クニ發起シスノ如クニ活動シスノ如クニ消散シスノ如クニ他ノ事物ニ關係スト云フコトハ之レヲ明ニスルコトヲ得ベキガ如クニ心理學ニ於テモ心ノ本体ヲ別ニシテ現象ハ斯ノ如クニシテ其ノ發動ノ理法其ノ作用ノ種類其ノ諸作用ノ關係及ヒ其ノ作用ノ發達異變等ハ斯クノ如シト云フヲ明ニスルコトヲ得ベシ。之レヲ明ニスルニ必ズシモ本体ヲ論スルノ必要ハナキナリ。

靈心論者ト稱スル一派ハ心理學ヲ研究スルニ以上ノ如ク現象ヲ以テ此ノ學ノ範圍ヲ限ルヲ嫌ヒ是非トモ心ヲ獨立ノ一實體ト爲シテ説キ起サ、ルベカラザルコト爲セリ。是レ寧ロ古ノ心意身体二本位説ノ遺物ナルナリ。誠ニ心ハ一種靈妙其ノ比ヲ見ザル所ノ者ナレバ靈妙ノ物体トシテ存在スヘシト思惟スルモ無理ナラヌ次第ナリ。又心ハ實物界ノ場所ト時間トニ拘ラズ之レヲ己ニ統一シテ實物世界以外ニ一ノ心意世界ヲ造ルコトヲ得ルガ故ニ之レヲ實物以外ノ神靈ナリト考フルモ亦其ノ故ナキニアラズ。然レモ此レ等ノ事ハ決シテ當初ヨリ心理學ノ關係ス可キ所ニアラズ。初ハ專活動ノ理法ヲ研究シ稍進ミテ漸ク純正哲學ノ範

圍ニ入りテヨリ漸次此レ等ノ事ヲ研究ス可キナリ。

故ニ此ノ心理學ニ於テ講究スル所ハ心ノ活動ノ理法ニ止ム。諸テ心ノ活動ノ理法ヲ研究スルニハ專吾レト吾カ心ニ心識スル所ヲ以テ研究ノ材料トモ根本トモ爲サザルヲ得ザルコトナレバ他ノ物理化學等實物ノ學問ノ研究ト異リテ大ニ困難ナル事情アルナリ。

第一ノ困難ハ心ノ活動或ハ態度ハ空間上ニ存在スルコトナク唯時間上ニ存在スルノミナルニ在リ且其ノ時間上ノ存在モ僅ニ一瞬一眇ノ間ニ消滅スルヲ以テ實物ノ如ク長ク繼續スルコトナシ。故ニ益其ノ困難ヲシテ大ナラシム。動物學者ハ其ノ研究セント欲スル動物ヲ取リテ之ヲ分割スルコトモ之レヲ顯微鏡下ニ寫照スルコトモ又時日ヲ隔テ、研究セント欲セハ十年二十年ノ後マテモ保存スルコトモ全ク已ノ思フ儘ニ實驗觀察ヲ爲スコトヲ得ルモ心ノ研究ニ向ヒテハ斯ノ如キ便利ナルコトアルナシ。今ヤ吾ガ心中ニ在ルコトヲ研究セント氣ノ附ク時ハ其ノ事ハ既ニ心中ヲ去リテ消滅シ去リタル時ナリ。猶ホ且此ノ瞬間ニ起ル事モ殆ント同事ニ數多繼續併出シテ遷徙極リナキガ故ニ專一ニ一ノ事物ノ研究ニ從事スルコト甚タ

難シ。
 質物界ノ事物ハ衆人之レヲ見ルコト一様ナルヲ得ベシ。ヨシヤ人ニ依リテ多少ノ相違ナキニ非ザルモ直ニ實物ニ附キテ之レヲ驗徴セバ以テ容易ニ其ノ異同ノアル所ヲ見出スコトヲ得ベシト雖モ心意界ニ於テハ人々ノ經驗甚タ異リテ且其ノ異ナル所ヲ發見スルコト實物界ニ於ケルガ如クニ容易ナラズ。心理學ニ於テハ此ノ容易ナラズ相違ヲ比較驗徴シテ其ノ間ニ一定ノ理法ノ存在スルヲ發見シ之レヲ以テ心意ノ理法ト爲スベキコトナレバ他ノ學問ニ見サル一種ノ困難アルナリ。全シ物ヲ見テモ甲ノ人ハ甚タ面白ク感スルコト乙ノ人ハ必シモ喜バズ乙ノ人ノ苦ム所甲ノ人必ズシモ苦マズ。卒然トシテ之レヲ見ル時ハ其ノ間ニ一定ノ理法ノ存在スベシトハ思ハレヌ程ナリ。其ノ種々様々ナル中ニ就キテ万人普通ノ者ト一個人ニ特別ニシテ普通ナラサル者トヲ撰ミ別チテ其ノ普通ノ者ノ中ニ眞理ヲ發見スルハ容易ノ業ニアラズ是レ心理學ノ他ノ學問ニ比シテ一層困難ナル所以ナリ。

心ノ範圍

我今物ヲ見レハ物ヲ見タルコトヲ感識シ音ヲ聞ケハ音ヲ聞ケルコト

ヲ感識シ幾何ノ解柝ヲ工夫スレバ現ニ之レヲ工夫シ居ルコトヲ感識シ以前ノ事ヲ物語リ出セハ吾ハ之レヲ記憶セルコトヲ感識シ喜アリ哀アリ樂アリ恐アル時ハ皆之レヲ心ニ感識ス。斯様ニ吾自身ニ吾ガ心ノ働キ感識スルヲ心識ト云フ。心ノ働キニハ殆ント盡ク此ノ心識ヲ伴隨セサルコトナシ。故ニ古ハ心ノ範圍ヲ心識ノ範圍ニ限リテ心ノ働キニ必ズ伴行スル所ノ者ハ心識ナリナド云ヒテ心ノ働キニハ必ズ心識アル者ト爲セシガ今ノ學者ハ此ノ說ヲ取ラズ、バイン氏ノ如キモ心意ヲ感情意志思考ノ三能ニ分チ備テ其中ニテ心識ハ感情ノ存スル所必ズ之レニ伴フモ意志並ニ思考ノ作用ニ至リテ必ズシモ盡ク心識ヲ伴ハズト論セリ。斯ク近世科學的ノ研究法漸ク盛ト爲リ研究ノ範圍ニ一新面目ヲ開クニ至リテ心ノ範圍ハ必ズシモ心識ノ範圍ニ限ラズ即チ心識以外ニモ心ノ働アルヲ認承セザルヲ得ザルコト爲レリ。

吾人某ノ場所ニ於テ曾テ出會シタル人ノ名ヲ思ヒ出サントスルニ直ニ之ヲ思ヒ起スコト能ハズ種々考ヲ凝テシテ後之レヲ思ヒ出スコトヲ得ルコトアリ其ノ間吾ガ心識ニ上ル所唯思ヒ起サント努メ居ルコトノミナレハ心ハ其ノ實種々ノ工夫ヲ凝テ

シ種々ノ考ヲ費ヤシ居ルヲニテ其ノ工夫ヤ又疑ヲシタル考ハ吾ガ心識ニハ上ラザルナリ。又吾人ハ或ル一事ニ心ヲ凝ラセル時ニ知ラズ識ラヌシテ手ニ持テル筆ニテ種々ノ文字又ハ形態ヲ書スルヲアリ。其ノ働ハ心ノ働キナレドモ其ノ當時心ハ全ク之レヲ感識セズシテ後ニテ斯様ナル者ヲ書ケリヤト吾ナカラ驚クアリ。此ノ類ヲ以テ推サバ心ノ働ノ内ニハ心識ニ上リ來ラサル者數多アルヲ見ル可シ。

心ノ研究法

心理ノ研究法モ近世科學ノ研究法ノ發達スルニ從ヒ大ニ從來

ノ面目ヲ改メタリ。古ハ單ニ心ノ現象ニ附キテ研究スルニ過ギザリシガ今日ハ種々ノ方向ヨリ研究ノ進路ヲ求メ以テ大ニ之レヲ尋究スルヲト爲レリ。先ツ第一ハ吾ト吾ガ心ヲ研究スルノ方法ナリ。此ノ法ノ一例ヲ舉グレバ吾レ若シ過去ノ事ヲ思ヒ出サントスル時ハ如何ニ心ヲ活ラカスカチ自身ニ研究セントスルガ如シ。忘レタル友人ノ姓名ヲ思ヒ起サント欲スル時ニ當リテハ或ハ其人ノ生國又ハ所有物又ハ職業又ハ他ノ友人等ヲ思ヒ之ヨリ段々系統ヲ追ヒ進ミ行キツ、遂ニ其ノ姓名ヲ思ヒ當ル可シ。又一タヒ其ノ人ノ姓名ヲ思ヒ當レバ是レ

ヨリ續々該友人ノ事ニ附キ思ヒ起ス所アルベシ。都ヘテ過去ノ事ヲ思ヒ起スハ必ズ此ノ順序ニ依ラザルヲナキヨリ推究スレバ心中ニ記憶セラル、者ハ單獨ニ存在スルニアラズシテ相互ニ連絡シ其ノ狀恰モ珠數玉ノ相連環シテ其ノ中ノ一珠ヲ曳ケバ次キヘ次キヘト順々ニ引繼キ來リテ遂ニ全体ヲ曳キ上クルガ如シト知ルベシ。是レ吾レト吾ガ心ヲ自身ニ研究シテ明ニシ得タル所ナリ。又吾カ爲サント欲スルコト同時ニ數多出來シテ何レニ決セシカト甚タ當惑スルヲアリ其ノ時ニ決定シタル所ハ如何ナル者ナルカト尋究スルニ吾ガ心ノ最モ満足スル所ナルヲ見ルベシ。又不意ニ事狀ノ明ナラザル者ニ出會スル時ハ自恐怖ノ情ヲ起ス、又我ガ能ク知レル所ノ快樂苦痛ノ人ニ存スルヲ見ル時ハ吾レモ亦必ズ常ニ該人ト同シク快樂ニモ苦痛ニモ感シテ所謂惻隱同情ヲ起ス、等我ガ心ニ起ル所ニ附キテ心ノ働ヲ研究スル、是レ心理學研究ノ一要法ナリ。此ノ法ヲ以テ心ヲ研究スル時ハ吾ガ心ハ即研究ノ物主トナルヲ恰モ化學者ガ藥品ヲ以テ研究ノ物主ト爲シ博物學者ガ自然物ヲ以テ研究ノ物主ト爲スニ異ナルヲナシ。此ノ法ハ我ガ心ヲ以テ研究ノ物主ト爲シ我ガ心ヲ以テ之レヲ研究スルヲナレバ之レヲ名ケ

テ主觀的研究法ト云フ。主觀トハ心ノ異名ナリ心理學ニ於テハ心ヲ主觀ト云ヒ外物ヲ客觀ト稱ス。猶ホ心ト物ト云フガ如シ。諸テ吾ガ心ニ附キテ研究シ得タル事ハ吾ガ心ニミ限レル事實ニシテ之レヲ以テ萬人普通ノ心理ト爲シ得ベキヤ否ヤ未ダ知ル可ラス。吾ガ大ニ好ミ大ニ喜ザ所衆人必シモ亦大ニ好ミ喜ブ所ナルカ是レ決シテ斷言スベカラズ。俗ニモ十人十色トコソ謂フ程ナレバ唯我が心ノミニ附キテ研究シ得タル事ヲ以テ普通ノ心理ヲ得タリト安心スルコトハ以來スナリ。依リテ又之レヲ他人ノ心ニ附キテ研究セザルベカラズ。今人ト談話シテ偶然去年共ニ山野ニ遊ヒタリシコトニ談リ及ブ時ハ其ノ人ハ其レヨリ種々ノ談ヲ引キ出シテ其ノ談話ノ種類コソ吾レト異レ之レヨリ導キ出ス有様ハ恰モ珠數玉ヲ段々繰リ出シ來ルガ如キト毫モ我が過去ノ者ヲ考ヘ出スト異ナルコトナキヲ見出スベシ。又タ數多ノ事ノ同時ニ心中ニ浮ビ出テ、其ノ何レニ決スベキカト當惑セル人カ遂ニ決定スル所アル時何故ニ他ノ事ヲ取ラズシテ其ノ事ニ決セシカト問ハ、其ノ人ハ是レ最モ余カ心ヲ満足セシムル者ナレバナリト答ヘン。是レ亦吾ガ決定スル所ト毫モ異ナルコトナキナリ。

又不意ニ事情ノ明ナラザル者ニ出會シタル時ハ人モ驚キ我レモ亦驚ク其ノ驚ク有様ハ毫モ彼我異ナル所ハナキナリ。又已レト同シ苦樂アル人ヲ見タル人ハ其ノ喜ビヲ喜ビ其ノ哀ヲ哀ミ同情惻隱ノ情ヲ起ス正ニ我が他人ニ向ヒテ同情ヲ起スト毫モ異ナルコトナキヲ見ルベシ。斯様ニ人モ吾レモ同シキ所アルガ故ニ前段主觀的研究ニ依リテ吾レト吾ガ心ヲ研究シテ得タル所ハ人ニ於テモ亦同様ナルヲ以テ此ニ於テ是レ萬人普通ノ心理ナルコトヲ信シテ可ナルヲ安心スベキナレドモ猶ホ細カニ考フル時ハ必ズシモ常ニ同シカラザル者アルヲ見ルベシ。吾ガ愉快トスル所必ズシモ他ノ愉快トスル所ニアラズ他ノ愉快トスル所必ズシモ吾レニ愉快ナラズ吾ガ能ク記憶スル所必ズシモ他ノ能ク記憶スル所ニアラズ他ノ能ク記憶スル所必ズシモ吾ガ能ク記憶スル所ニアラザル等々差異アルコトモ亦他人ノ心ヲ研究シタル結果トシテ知り得ル所ナリ。此ノ異同差似ハ吾レト人トノ間ニ存スルノミニアラズ人ト人トノ間ニモ存スル者ナルコトヲ知り諸テ一歩ヲ進メテ萬人差異ノ内ニ同似アリ同似ノ内ニ差異アリ從ヒテ普通ノ理法アルコト及ヒ殊別ノ差異アルコト等ヲ研究セザルベカラズ。故ニ他人ニ附キテ其ノ心ノ働

キヲ研究スルコトハ心理學ノ最モ大切ナル一ノ方法ニシテ之レヲ客觀的ノ研究法ト云フ。是レ吾カ心ノ研究ニアラザルヲ以テ主觀的研究法ニ對シテ名ケタル所ノ名義ナルナリ。

又心理ニモ理科ノ學問ノ如ク實驗的研究法ヲ用フルコトアリ。實驗ト云フモ觀察ト云フモ殆ント同様ノ義ナレドモ多少ノ差ナキニアラズ。觀察ハ唯起レル現象ヲ見ルニ止ル者ニテ即チ以上ノ主觀客觀ノ兩法ノ中ニテ單ニ吾ガ心並ニ他人ノ心ニ起レル者ヲ觀察スルニ過ギサルコトナレドモ實驗ト云フハ殊更ニ工夫ヲ運ラシ方便ヲ盡シテ或ハ新ニ起シ來ラシメ或ハ今在ル者ヲ中絶セシメ或ハ之レヲ變化セシムル等種々ノ手立ヲ運ラシテ觀察シ考究スルヲ云フ。例ヘハ十人ノ兒童ニ向ヒテ二三種ノ物語ヲ爲シ諸テ程經テ其ノ各記憶セル所ヲ問ハ、或ハ甲ノ談話ヲ能ク記憶スル者アリ或ハ乙ノ談話ヲ記憶スル者アリテ其ノ間ニ多少ノ差異ノ存スルヲ見ルベシ。諸テ何ニ故ニ斯ク記憶スル所ノ異ナルカト尋チナハ必ズ此レハ殊ニ面白カリキトカ或ハ是レハ曾テ聞ケル所ニ類似セリトカ其レ々々ニ理由ノ存スルコトナラン。斯ノ如ク種々吾レヨリ工夫ヲ運ラシテ試驗スルコト恰モ

化學者ガ實驗室ニ於テ種々ノ藥品ヲ扱ヒ又ハ生物者ガ解剖室ニ於テ種々ノ研究ヲ爲スト正ニ同一ナル方法ヲ用フルコト最モ肝要ナリ。此ノ法ヲ實驗法ト云フ。從來ハ心理ノ研究ニハ全ク此ノ法ヲ用フルコトナカリシガ心ノ理法トテ決シテ天下萬物ノ外ニ出ツル者ニ非ザレバ出來可ダケハ試驗的ニ研究スベキコト毫モ科學ノ研究法ト異ナルコトアルベカラズ。故ニ今後ハ益々大ニ此ノ法ヲ發達セシムベキナリ。

廣ク人類發達ノ跡ニ附キテ研究スルハ社會學的ノ研究法トモ稱スベキ者ニシテ是レ亦心理ヲ闡明スルノ一大手段ナルナリ。野蠻人ニハ如何ナル情ガ最モ早ク發達シ且盛強ナルカト尋チ起シ原人ニハ愛情ノ乏シクシテ殘酷ノ情ノ割合ニ盛ナルコト其ノ恐ル、所ハ斯ノ如シ其ノ好ム所ハ斯ノ如シ其ノ恐ル、所ハ妄信的妖魔ノ類ニシテ其ノ眼ヲ樂マシムル所ハ感覺ニ快樂ナル者ナル等ノ特徴アルヲ見諸テ更ニ少シク進歩シタル所ノ人類ニ就キテ之レヲ觀察スルニ想像ノ働キ甚ダ盛ニシテ其ノ製作品ハ萬事想像ノ種類ニ屬スルコトヲ見又一層進歩シタル人種ニ於テハ論理的ノ思想ノ起リ來リテ眞理的ノ思想ノ最モ盛ナルコト等社會的進化ノ

跡ニ附キテ之レヲ研究スレバ人生心理ノ發達ノ理法歴然トシテ明ナル者アルヲ見ルベシ。是レ比較研究法ニシテ近來俄然其ノ盛ナルヲ致セリ。宗教禮儀道德言語等進化ノ跡ニ就キテ人類思想ノ漸ク發達シ來ル所ヲ知ルヲ得ベシ。先ツ宗教ニ附キテハ古代人ノ信スル所ノ神靈及ビ神靈ト人トノ干係其ノ來世ニ附キテ有スル所ノ思想又神ニ向ヒテ祈願スル所等ヲ探求スレバ其ノ心意ノ有様如何ヲ知ルヲ得ベシ。又禮儀ニ附キテハ其ノ品目其ノ儀式ノ方法些末ナル所ニ於テハ贈答應對ノ言語等ニ附キテ其ノ思想ノ有様ヲ知ルヲ得ベシ。斯様ニ宗教禮義道德言語其ノ他萬端ノ事ニ附キテ古代人ノ有スル思想ト其ノ漸ク發達セル者ノ思想ト其ノ大ニ發達セル者ノ思想トヲ比較シテ以テ大ニ人類心意ノ發達ノ順序理法ヲ明ニスルヲ得ベケレバ是レ亦タ心理研究ノ必要ナル一方法タリ。心ノ機關ハ腦髓及ヒ神經等ナレバ心理ヲ明ニセントセバ又腦髓神經等ニ附キテ充分ノ研究ヲ遂ケザルベカラズ。此ノ法ヲ生理的ノ研究法ト云フ。近世腦髓神經ノ學問漸ク明ナルヲ得タレバ從ヒテ心理上ノ理法ヲ明ニシタル者尠カラズ。

例ハ初ハ困ミテ習ヒ覺エタル者モ其ノ漸ク熟スルニ至レバ毫モ意ヲ用ヒズシテ遂ニハ全ク心ニ識ルヲナクシテ之レヲ爲スニ至ル者即チ文字ノ書寫ノ如キ初メハ中々容易ナラヌ勤ナリシカ其ノ習熟スルヤ唯文字ヲ書寫セントノ意アレバ別ニ意ヲ用ヒザルモ千萬言立ドコロニ成ルガ如キトノ道理ハ其ノ以前ニ於テハ唯習熟ノ一語ノ外ニ之レヲ説明スルヲ得ル者ナカリシガ此ノ生理的研究法ノ開ケテヨリ大ニ明ナルヲ得タリ。即チ此ノ研究法ニ依リテ神經力ノ流傳ノ速力ヲ計ルヲ得タリ。而シテ之レヲ計ルニ其ノ流傳ハ始メハ遲緩難澁ナルモ度々同シ力ノ同シ所ヲ同シ方向ニ流傳スルヤ漸次迅速ト爲リ圓滑ト爲ルヲ恰モ道路開通シテ速ニ旅行スルヲ得ルカ如キナリ。而シテ其ノ遲速ト其ノ心識トノ干係ヲ見ルニ其ノ遲キ程心ニ之レヲ感スルヲ深キモ其ノ速ナル程其感ハ薄クナリ遂ニハ全ク心識ニ上ラザルニ至ル。一タヒ此ノ理ヲ明ニシタルヨリ。無意識ノ働キノ數多ヲ明ニスルヲ得ルニ至タリ。右ハ生理的ノ研究法ノ一例ヲ舉ゲタルニ過ギザルモ腦髓神經等ガ心ノ機關ニシテ心ノ機關ノ研究ハ心ノ理法ノ研究ニ必要ナリト云フ最モ單簡ニシテ明瞭ナル議論ヲ解シ得バ此ノ生理的研究法ノ

心理學研究ニ甚ク必要ナル方法ナルヲ明ナルベシ。
 近世ニ至リテ病理的研究ノ法亦開ケタリ。此ノ法開ケテヨリ心理學ノ範圍ニ一層ノ光輝ヲ赫カスヲ得タリ。其ノ一例ヲ舉グレハ從前ハ聾ノ如キハ之レヲ不具トシ常人以外ノ者トシ甚シキハ之レヲ神冥ノ刑罰或ハ怨靈ノ所業ナリナド爲シテ怪マザリシモ一タビ病理的研究ノ開ケヨリ之レガ原因ヲ説明スルヲ得ルニ至レリ。病理的研究ハ其ノ腦髓若クハ神經等ニ變動アルヨリ生スルヲ其ノ變動ノ異ナルニ依リテ同シク聾啞ノ中ニモ亦數多ノ種類アルヲ其ノ外變動ノ種類其ノ位置等細カナル所マテ發明スルヲ得タリ。又酒ニ酔ヒタル者若クハ發狂ノ者ガ其ノ思想觀念ノ齊頓セザルヲモ詳ニ其ノ徵候ニ附キテ考察スルニ其ノ間ニ一定ノ理法アルヲ其ノ外病態ノ研究ヨリシテ健態ノ研究ヲ明ニスルヲ恰モ青色ヲ交ヘテ益々赤色ノ赤ヲ著シクスルカ如キ趣キアルヲ致セリ。

第一章 心意及ヒ身体

心意ト身体トノ干係ハ古來ヨリ不可思議ノ結合ト考ヘラレタル所ニシテ學者ノ

間ニ種々ノ議論ヲ輩出シタル所ナレドモ未ダ全ク之レヲ闡明ナラシムルヲ得ズ。是レ蓋シ永久吾人ノ論定スルヲ得ザル所ナラン。本章ニ於テハ其ノ關係ニ附キテ古來ヨリ存スル所ノ諸種ノ議論ヲ單簡ニ序述シテ其ノ大凡ヲ舉クルニ止メント欲ス。

心意ハ無延長ナリ身体ニハ延長アリ、心意ハ無形ノ精靈ナリ身体ハ有形ノ物質ナリ、心意ハ唯心識ヲ以テ吾人ニ其ノ現象ヲ現ハシ來ル身体ハ感覺ニ依リテ之レヲ感知スルヲ得ベシ。凡ソ天下ニ異ナリタル者多クレドモ心意ト身体ト程異リタル者ハアラズ。心意モ性質ヲ有シ其ノ活動ニハ理法ヲ有セルヲニ於テハ身体ト異ナル所ハアラザルモ心意ノ性質及ヒ理法ハ身体ノ性質及ヒ理法トハ全ク其ノ趣キヲ異ニシテ其ノ間ニ毫モ類似スル所アルヲナシ。事態斯ノ如クナレバ心意ト身体トカ如何ナル干係ニ於テ人身ニ存スルカト云フノ一点ハ最モ解釋ノ困難ナル者ヲラザルヲ得ズ。

故ニ兩者ノ關係ニ附キテハ數多ノ議論ノ在ルヲナルガ兩者關係ノ様法ヲ出來可キ丈牧擧スレバ左ノ四様ニ外ナラズ。(一)心意ト身体トハ二個ノ別物ニシテ互ニ

働キヲ交フルヲ(二)心意ハ身体ノ一ノ製産ナルヲ(三)身体ハ心意ノ一ノ製産ナルヲ、
 (四)心意モ身体モ共ニ一元ヨリ現ハレ來ル所ノ二種ノ形態ナルヲノ四條是レナリ。
 第一ハ心意身体トモ二個ノ別物ニシテ互ニ其働キヲ交フル者ナリト云フノ思想
 ハ古來ヨリ其ノ主張者ヲ有スル所ニシテ普通人ノ考フル所大抵亦是レニ屬ス。
 惣シテ之レヲ二元論ト云フ。心意身体トモニ獨立シテ存在スル者トスルガ故ニ
 此ノ名アルナリ。此ノ中ニモ種々ノ論派ノ在ルヲナルガ先ツ其ノ大綱ヲ舉グレ
 バ心意モ身体モ共ニ實物ニシテ兩個ノ實物結合スト云フノ論ト身体ハ有形ノ實
 物ナレドモ心意ハ無形ノ靈力ナリ無形ノ靈力有形ノ身体ニ宿ルト云フ論トノ二
 種ト爲スベシ。

第二ハ心意ハ身体ノ製産ナリト云フ論ニシテ所謂唯物論者はナリ。此ノ内ニモ
 數種アリ古來ノ希臘哲學者ヨリ中世ノ耶穌教徒並ニ近世ノ唯物論者ニハ此ノ論
 ナ執レル者尠カラズ。但シ近世ノ物理的的心理學者ノ唱フル所ト古代ノ哲學者並
 ニ宗教家ノ唱ヘシ所トハ大ニ其ノ趣キヲ異ニセリ。近世ノ唯物論者ハカール、ヴ
 コットガ腦髓ハ心意ヲ製産スルノ力ヲ有スルヲ恰モ筋ガ収縮ノ作用ヲ有スルガ

如クニシテ又其ノ心意ヲ製作スル有様ハ恰モ腎臟ガ尿ヲ分泌スル有様ノ如シト
 論シ出セルカ始ニテ此ノ論ハ頗ル粗雜ナレドモ其ノ進歩シタル所ニ於テハ物質
 上ノ現象ノ結果トシテ或ハ一ノ様法或ハ現象トシテ所謂心意ノ現象ヲ發シ來ル
 ト論ス是レ最モ安全ニシテ至當ノ論ナルカ如シ。

第三ハ身体ハ心意ノ製産物ナリト云フノ論ニシテ是レ所謂唯心論ナリ。此ノ内
 ニモ亦數多ノ論種アリト雖モ其ノ要ヲ摘メバ心意ハ靈妙ナル者ナリ此ノ靈妙ナ
 ル者ノミ眞ニ存在スル所ニシテ身体物質上ノ現象ハ皆此ノ靈妙ナル心意ノ外ニ
 現ハレ來ル所ノ様法ナリト云フニ在リ。近世唯心論者ノ最モ巧妙ナルハヘルマ
 ン、ロツツ氏ト爲ス。氏ノ論ニ曰ク。近世ノ物理論者ハ物質ノ空間並ニ時間上ノ
 運動ハ全シク空間上並ニ時間上ノ運動ノ是レニ反對ナル者アルニ依リテノミ互
 ニ消滅スベシト考ヘ直ニ此ノ理ヲ心意ノ作用ニ論及シ心意ノ作用カ何ノ時ニ何
 ノ理ニ依リテ消滅シ代リテ身体ノ有形ノ物質及ビ活動ト成ルカヲ明ニセンヲ
 求ム。然レモ余ハ其ノ論者中ニ空間ノ運動ハ果シテ心意界ニ吸取セラレ得ベカ
 ラズト云フノ議論ヲ排去スルニ足ルベキ道理ノ存スルヲ見スト論シテ氏ハ隱然

物理的ノ勢力ハ心意的ノ勢力ト相交換シテ働キ得ベキヲ認メタリ。
 第四種ノ論ハ心意モ身体モ共ニ一元ヨリ現ハレ來ル所ノ二個ノ形態ナリト云フ
 ノ論ニシテ之レヲ單簡ニ例セハ假ヘハ鏡ノ兩面ノ一方ヨリ見レバ凸出スルモ裏
 面ヨリ見レバ凹入スルカ如シト説明セリ。此ノ論派ハ心意ノ現象ニハ必ズ之レ
 ニ伴フ所ノ身体ノ現象アリ、身体ノ現象ノ一ル所ニハ必ズ心意ノ現象ノ之レニ伴
 フアリテ心意ノ現象ト身体ノ現象トハ並行シ且比例セリト云フヲ以テ其ノ根據
 ト爲ス。是レ所謂一元論ニシテ彼ノ心意身体別物ノ互ニ相協働スト云フトハ全
 シ其ノ論旨ヲ異ニシ一ノ眞元アリテ其ノ働キノ一方ニハ心意ノ現象ト爲リ他ノ
 現象ニハ身体ノ現象ト爲ルト云フニ在リ。即チ心意ノ一方ニハ感情思考意志等
 ノ働キト爲リテ現ハレ來ルト同時ニ身体ノ一方ニ於テハ腦髓神經等ノ物質ト爲
 リテ現ハレ來ルト解ケルナリ。此ノ説ニ據レバ無延長ノ心意界ト有延長ノ物質
 界ト全ク性質理法ノ異リタル者ガ互ニ其ノ働キヲ交通スルト云フノ困難並ニ物
 質的ノ働キカ心意的ノ働キト爲ルト云フノ困難ヲ免レタリト雖モ然ラバ何チカ
 心意身体ノ本源ト爲スカ何チ以テ此ノ本源ヲ知ルヲ得ベキカ此ノ本源ノ一方

ニハ物質ト爲リ一方ニハ心意ト爲ル所以ノ道理ハ何チ以テ説明スベキカ等ノ諸
 点ニ至リテハ依然トシテ雲霧ノ間ニ在リテ寧ロ他ノ諸説ヨリモ不知解ノ点ヲ多
 シセリ。

以上ノ如ク純正哲學ニ屬スル議論ハ到底本書ノ能ク盡スベキニアラズ。且又實
 際ニ於テ左程ノ要モアラサレハ是レヨリ專實驗的生理的ノ方法ヲ以テ心意ト身
 體トノ關係ヲ論セシ。

先ツ全体ニ附キテ心意ト身体ト相關係スル所如何ヲ見ルニ心意ニ働キアル時ハ
 必ズ之レニ伴フ所ノ現象ヲ身体ノ上ニ現ハシ來リ又チ身体ニ事アル時ハ其ノ大
 小ニ從ヒテ必ズ心意ニ關係ヲ及ササルハナシ。先ツ心意ノ働キノ身体ニ及ボス
 所如何ヲ見ルニ(一)心中ニ在ル感情ハ必ズ身体ニ現ハル、所ノ表象ヲ有セリ。心
 中ニ喜アル時ハ顔面ニ其ノ容貌ヲ現ハシ心中ニ怒アル時モ亦其ノ容貌ヲ現ハシ
 都ベテ喜怒哀樂愛惡慾ノ諸情ノ心中ニ在ル者ハ身体ニ現レザルハナキナリ。其
 ノ發表ノ甚シキニ至リテハ惡汗ヲ發シ呼吸ヲ變化シ最モ激烈ナル者ハ汗尿ノ性
 質ヲ變化セシムルニ至ル。(二)大ニ心意ヲ勞スル時ハ又身体ニ疲勞ヲ感セシム。

若シ心意ト身体ト關係ナキナラバ心意ヲ勞シタリトテ別ニ身体ヲ疲勞セシムル
 一ハナカルベキニ事ノ實際ハ之レニ反シテ心ノ過度若クハ大ナル心配ハ必ズ身
 体ニモ其ノ疲勞ヲ覺エシムルナリ。(三)大ニ心意ヲ働シメタル後ハ尿中ニ敗壞セ
 ル腦髓質物ノ多ク排泄セラル、ヲ見ル。(四)精神病ノ患者ニハ誤ルベカラザル兆
 候ノ表象ヲ其ノ容貌ニ見ル。(五)精神病ニ、必ズ之レニ伴フ所ノ病体ノ徵候ヲ神
 靈系統ニ見ザルコトナシ。以上ハ唯其ノ著シキ者ヲ擧ゲタルノミナレドモ右ノ如
 シ身体ハ心意ノ影響ヲ被ムリテ其ノ表象ヲ現ハシ來ルハ心意ト身体トノ間ニ最
 モ親密ナル關係アルニ依ラズハアラズ。
 猶ホ又一方ヨリ見レバ心意ガ身体ノ影響ヲ被ムルコト著シキ者アリ。(一)身体ヲ過
 勞スレバ少シモ心意ヲ勞セザルニ心意亦疲勞ヲ感ズ。(二)身体强健ナル時ハ心意
 モ亦爽快ナリ。(三)身体ニ疾病アル時ハ心意モ亦恍然トシテ不快ナリ。(四)腦髓ヲ
 傷創スル時ハ精神ノ作用亦害セラル。此レ何レモ心意身体ノ間ニ大ナル關係ア
 ルノ證ナラズハアラズ。

心意ノ機關。 身体ノ中ニテ心意ノ機關ト認承セラル、者ハ神經系統ナリ。

神莖系統ハ腦脊髓ノ中樞知覺運動ノ神經交感神經系統等ヨリ成ル。其ノ中交感
 神經ハ主トシテ内臓ニ分布シテ身体營養ノ作用ヲ營ミ專ラ心意ノ作用ニ關係ス
 ルモノハ腦髓脊髓ノ両中樞ニシテ其ノ中ニテモ腦髓ヲ以テ心意ノ主要機關ト爲
 ス。今日ノ學理ノ研究ヲ得タル所トシテ右ノ心經系統ト心意トノ間ニ存スル關
 係ノ重ナル概目ヲ擧グレバ左ノ如シ。
 (一)心中ニ思想起ル時ハ之レニ對スル變化ノ必ズ腦髓ノ灰白色物中ニ伴ヒ起ラザ
 ルハナシ即腦髓中ニ變化ナクシテ思想ヲ起スコトナク又變化アリテ思想ヲ起サ
 ルコトナシ。
 (二)此ノ變化ハ一種ノ運動ナレド今日吾人ノ不足ナル智識ニテハ此ノ運動ヲ精確
 ニ知ルコト能ハズ全ク學者ノ好ム所ニ任セテ之レヲ解釋セシムベキノミ。但シ此
 ノ運動ハ神經纖維ト其ノ中樞トノ結合ノ道程ノ外ヲ通過スルコトナキハ明ナリ。
 (三)此ノ運動ニハ必ズ幾許ノ時間ヲ要ス。其ノ時間ハ或ル時ハ長キヲ要シ又或ル
 時ハ短クシテ足レリ。然レモ心意アラシムルニハ自定時間アリテ其ノ時間ヨリ
 短キ時ハ意識ニ上ルコトナシ。

(四)此ノ運動ヲ起スニハ善良ナル血液ノ適當ナル供給ヲテシテ要ス、
 (五)此ノ運動ハ神經纖維ヲ切斷シ又ハ之レヲ抑壓スル等ノ事ヲ以テ其ノ連續ヲ妨害シ或ハ其ノ性質ニ變化ヲ起ス時ハ中絶若クハ妨害セラレ、ナリ。
 (六)此ノ運動ハ心經系統ニ適當ナル休止ノ時間ヲ與ヘズシテ頻繁ニ使用スルカ或ハ過度ナル勞働ノ爲メニ疲勞ヲ來ス時ハ其害セラレ甚シキニ至リテハ廢絶セラレ。以上ハ皆實驗ヲ以テ明ニシタル所ナルガ猶ホ心意ノ作用ト神經系統ノ發育ト其ノ進化ノ有様ニ附キテ之レヲ見レバ心腦ノ關係ヲ一層明ナラシムルヲ得ベシ。此レ次章ニ於テ序述セント欲スル所ナリ。

第二章 神經系統ノ發達。

下等ノ動物界ニ於テハ神經系統トテ別ニ存在スル者ナシ。原始虫及ヒ殖虫ノ如キハ其ノ全体單純ナル無組織物ヨリ成リテ榮養運動生殖排泄等一切ノ生理作用ニ向ヒテ別ニ其ノ機關トシテ設ケラレタル所ナク無組織ノ物質彼是ノ區別ナク之レヲ司トル。漸ク動物界ノ進ムニ從ヒテ各種ノ組織ヲ生シ機關又複雑ト爲リ

神經質物モ亦特別ノ組織トシテ現ハレ來ル。サレドモ勿論未ダ單簡ナル者タルニ過ギズ。然レモ既ニ各種ノ組織及び機關ガ各特別ノ用ヲ爲シテガラ共同ノ一目的ノ下ニ働ク様ニ成リタル所ニ於テハ神經系統モ亦必ズ存在ス。各分業ノ機關ヲ生シタル所ニ於テハ是非トモ之レヲ聯絡統括スル者ナカレバカクザレバナリ。而シテ神經系統ハ各機關ノ作用ヲ聯絡統括スル者ナリ。
 サレド此ノ神經系統モ始メハ神經細胞或ハ細胞ノ群塊ヲ以テ結合スル所ノ二個ノ神經纖維ヨリ成レルニ過ギザリキ。斯ノ如キ裝置ノ所ニテハ神經作用ハ最モ單簡ナル反射作用タルニ過ギザルナリ。サレドモ纖維ト細胞トハ明ニ其ノ作用ヲ分掌シテ纖維ハ單ニ運輸器ノ用ヲ爲スニ止ルコト電信線ノ如ク而シテ細胞ハ勢力ノ醸造所ニシテ發電機械ノ如シ。内輸神經ノ上ニ起ル衝動ハ中樞ニ傳達セラレテ傳達セラレタル衝動ハ外輸神經ヲ傳ヘテ外方ニ返投セラレ。斯クテ單簡ナル反射運動ヲ現ハスカ故ニ一通リハ高等動物ト其ノ送達ノ道程ヲ同シクセリ。故ニ内輸神經ヲ切斷スレバ外方ノ衝動ハ内方ニ傳達セラレ、トナク又外輸神經ヲ切斷スル時ハ内方ヨリ來ル衝動ハ外方ニ傳達セラレ、トナキナリ。

動物界ノ階級ナ上ルニ從ヒテ都ヘテノ機關複雜多樣ト爲リ種々ノ作用ヲ分掌スルコトナレハ神經系統モ同シク數多ノ機關ヲ分生スルニ至ル。神經纖維ハ元來單ニ傳達ノ用ヲ爲スニ止マルヘキ者ナレドモ其ノ常ニ受クル所ノ衝動ノ種類ニ數多アルヨリ之レヲ分掌センガ爲メニ其ノ末端ニ於テハ特別ノ組織ヲ進化的ニ發達シ來ル是レ即チ各感覺機關ノ發達スル所以ナリ。又其ノ中心モ各種ノ作用ヲ各別ニ營ミ分チテ其ノ官能益々複雑ニ進ム。斯ノ如ク末端ニハ特別ノ組織ヲ發達シ來リ其ノ中心ニハ特種ノ分局ヲ發達シ來ルハ即チ外方ヨリハ數種ノ感覺ヲ受ケ内部ニハ諸種ノ作用ヲ執行センガ爲メナリ。特別機關ノ發達ハ何レノ程度ノ動物ニ於テ始メテ之レヲ見ルベキカ畫然タル事蹟ナシ。皮膚ハ全身ヲ被包シテ直接ニ外物ニ觸ルカ故ニ所謂觸覺ハ最モ深ク之レヲ感スルモ又「イーター」ノ顫動トシテ光線ノ實體ヲモ感スベク空氣ノ顫動トシテ音響ノ實體ヲモ感スベク蒸氣ノ抵觸トシテ蒸氣ノ實體ヲモ感スベク又甘酸苦辛等ノ分子ニ抵觸シテ其ノ刺撃ヲモ感ズベキ道理ナキニアラサレドモ其ノ或ル部分ハ殊ニ或ル種類ノ衝動ニ出會スルノ場合多キヲ以テ從ヒテ此ノ衝動ヲ感

受スルニ最モ部合ナキ特別ノ組織ヲ發達シ來ルナルベシ。斯クテ此ノ特別ノ組織ノ大ニ發達シ來レル其ノ結果トシテ視聽呼臭等ノ諸感ヲ進化シ來ル者ト知ルベシ。

魚類以下ノ動物ニテハ其ノ腦髓ニハ神經纖維ト結合セル感覺中樞ノ神經塊アルノミニシテ腦髓半球ト稱スヘキ程ノ者ハアラズ。サレドモ此レ等動物ニモ感覺ヲ受ケ取り又ハ運動ヲ發射スル作用アルコトナレハ單ニ感覺ヲ受取り又ハ運動ヲ發射スルマケノ作用ヲ營ムニハ人類ノ如キ腦髓半球ノ要ナキコト明ナリ。生物ト外物トノ最モ單簡ナル關係ハ反射運動ト名シ可キモノニシテ之レニ次キテ少シク複雑ニ進メルモノハ感覺的反射運動ト稱スル者ナリ。單ナル反射運動ハ至極下等ナル動物ニ既ニ存在シ感覺的反射運動ハ稍々進ミタル動物ニ見ル所ナレドモ之レガ作用ヲ見ルニハ強クニ大腦ノ存スルヲ要セス。高等動物即チ大腦ヲ有スル動物ニ附キテ其ノ大腦ヲ割去スル時ハ他ノ運動ヲ失ヒテ反射的運動ヲ現ハシ來ル。猶ホ又反射運動ハ幼稚腦髓ノ未タ複雑ナル作用ヲ營ムニ至ラザル者ニ現ハレ來リ又大人ニテモ夢遊其ノ他精神病ニテ腦髓其ノ正當ノ作用ヲ營ムコト能

ハザル時ニ現ハレ來ル。之レ等ヲ以テ見レバ反射運動ハ腦髓以前ノ心意作用ナルヲ明ナリ。

腦髓半球ノ始メテ見ルベキ者アルハ魚類ナリト爲ス。魚類ノ腦髓ノ視神經葉ノ前面ニ線狀体及ヒ視神經床ヲ被ヒテ神經質ノ薄キ一層アリ。是レ其ノ腦髓半球ナリ。水陸並生ニテハ其ノ量漸ク増加シ鳥類ニ於テハ一層其ノ増加セルヲ以テ視神經葉ハ爲ニ前方ニ押シ出サル。其レヨリ登リテ哺乳動物ニ至レハ全ク視神經葉ノ上ヲ被ヒ猶ホ動物ノ階級ヲ進ムニ從ヒテ其ノ量漸次後方ニ發育シ猿猴類及ヒ人類ニ至レハ全ク小腦ヲ被包ス。

哺乳動物界ニ於テ神經系統ノ進化發達ハ主トシテ大腦ノ分量ヲ増加スルニ在リテ下等感覺諸中樞ノ關係ハ他ノ下等動物ト異ナルヲナシ。官能ノ輕重ヨリ論スル時ハ勿論腦半球ヲ以テ第一位ニ置カザルヲ得ザルモ發達ノ順序ヨリ云フ時ハ感覺中樞先ツ第一ニ發達シ次キニ大腦半球ノ發達シ來ルナリ。未タ大腦半球ヲ發達セザル動物ニ於テハ感覺中樞ノ衝動ヲ受ケ取リタル時ハ直ニ運動中樞ニ送リ之レヨリ即時ニ運動神經ヲ傳達シテ外方ニ反射シ出スモ既ニ大腦ヲ發達セル

者ニ於テハ感覺中樞ノ衝動ヲ受ケ取リタル時直ニ運動神經ヲ以テ外方ニ反射セズ猶ホ進ミテ上方ノ半球ニ在ル一層高等ナル中樞ニ送り此所ニ其ノ觀念ヲ造ラシム。衝動ノ此ノ觀念界ノ中樞ニ至ラズシテ直ニ反射セラレ、時ハ心意ノ上ニハ唯感覺タルニ止リテ觀念ト爲ラズ其ノ運動モ衝動的運動タルニ過ギザルモ其一タビ大腦中樞ニ在ル觀念界ニテ進ミ行ケル以上ハ知覺ト爲リ其ノ運動ハ執意的運動ト爲ルナリ。故ニ大腦ニ至リテ始メテ所謂知覺作用ヲ司トル中樞ヲ生スルナリ。此ノ推測ニ依ル時ハ大腦ノ作用ハ感覺ヲ司トルコトナカルベキ筈ナルカ實地ノ經驗モ亦實ニ之レヲ證セリ。大腦ニハ實ニ感覺ナキナリ之レヲ傷害スルモ苦痛ヲ感スルコトナキナリ。然ルニ情緒ト稱スル心ノ大作用ハ大腦半球ノ存スル者ニアラザレハ之レヲ有スルヲナキヲ以テ見レハ思フニ情緒ハ大腦半球ノ觀念ニ遇ヒテ感スル一種ノ感覺ナルベシト想像セラレ、ナリ。

大腦ヲ有スル動物ニ附キテ實驗スルニ以上ノ推測ノ誤ナラザルヲ證明スルガ如シ。魚類ニ於テハ既ニ單純ナル觀念ト情ノ萌芽アリ。鯉ノ馴レタル者ハ手ヲ打テハ食ヲ與フル人アル知リテ集リ來ルハ常ニ人ノ知ル所ナリ、又伊勢ノ大廟ノ麓ヲ

流ル、五十鈴川ノ魚ハ其河水ニ參詣ノ人ノ嗽ク物音ヲ聞ク時ハ忽チ群ヲ爲シテ集リ來ル。此等ニ附キテ見ル時ハ魚類ニ於テ既ニ觀念ト觀念トノ聯合アルヲ明ナリ。鳥類ニ於テハ其ノ大脳大ニ魚類ヨリモ進歩セリ而シテ其ノ知力モ亦比例シテ進歩セリ。鳥ニ藝ヲ習ハシムル時ハ驚クベキ程ニ習練スルヲ得ベシ。猶二代三代モ之レヲ習練セシメテ愈其ノ藝ニ熟練セシムル時ハ其ノ進歩ハ實ニ著シキ者アルヲ見ル。又情緒モ鳥類ニ於テ發達セルヲ見ルベシ。カナリヤ鳥ノ嫉妬ノ情ノ如キハ其ノ最モ著シキ者ト爲ス。哺乳動物ニ至リテハ猶ホ數歩ヲ進メテ知力ノ發達セルヲ見ル其ノ人類ト異ル所ハ唯劣等ニ位スルノミナルニアリ。象ノ思考力ノ勝レタル猿猴ノ狡猾ナル犬ニ於テハ情慾自制ノ力アル其ノ外家畜ニ於テハ思想力並ニ情緒ノ著シキ者アルヲ見ルヘシ。

哺乳動物ニ於テ腦髓ノ發達ハ獨リ大脳ノ段々ニ其ノ重積ヲ大ニスルノミニ非ズ又其ノ表面ニ皺壁ヲ多クスルニ在リ。人類ノ腦髓ノ表面ハ其ノ狀恰モ温飽ヲ積ミ上タタルカ如クニ盤廻セリ。サレド下等ノ哺乳動物ニ於テハ全ク盤廻セル者ナク其ノ面頗ル平滑ナリ。反芻動物及ヒ食肉類ニ至レハ既ニ多クノ盤廻ヲ見

ルモ進ミテ猿猴類ニ上レバ盤廻愈多ク其ノ各盤廻ノ間ニアル渠溝即間溝モ亦深シ。尤モ中ニハ盤廻ノ數尠キモ知力ノ勝リタル動物アリ其ノ多キモ反リテ愚ナル者ナキニアラズ。驢馬羊牛ノ知力ヲ海狸犬猫ノ知力ニ比スレバ遙ニ劣等ニ位スルモ其ノ腦髓ノ盤廻ハ反リテ海狸犬猫ノ腦髓ヨリモ多クシテ且ツ深キ等中ニハ智慧ノ勝リテ反リテ盤廻ノ尠キカ如キ異例ナキニアラザルモ全体ニ就キテ其ノ腦髓ノ割合ヲ比較スレハ其ノ智慧ノ勝ル、ニ從ヒテ其ノ腦髓ノ量目ヲ増シ其ノ表面ノ盤廻ヲ多クシ又其ノ間溝ヲ深クスル者タルヲ見ル。同シ犬族ニテモ或ハ猿猴類ノ中ニテモ其ノ智慧ニ差等アル種類ニ附キテ其ノ腦髓ヲ比較スレハ其ノ腦髓ノ分量盤廻ノ多寡間溝ノ深淺等前上ノ比例ニ依リテ消長セサルヲナシ。

以上ノ諸件ヲ概括スレバ腦髓ハ知力情緒ノ機關ニシテ其ノ容量ノ多ク盤廻ノ複雑ニシ間溝ノ深キ程知力情緒ノ進歩セル者アルヲ明ナリ。

右ハ人類ノ各種ニ附キテモ同シ進化ノ道程ヲ見ルヘシ。下等ノ蠻民ノ腦髓ト高等文明人ノ腦髓トヲ比較スレバ大ニ其ノ構造ニ單複ノ差等アルヲ見ル。グラチナレトト氏ノ研究ハ頗ル綿察ナリ。氏ハ白痴ニモアラズ癡狂ニモアラザルホツ

テントツト人種ノ腦髓ヲ解剖シタル記述ヲ公ニセリ。其ノ言ニ據レハ此ノ人種ノ前額葉ノ盤廻ハ單簡ニシテ其ノ排置ハ兩半殆ント異ナルコトナク其ノ狀全ク下等動物ニ見ル所ノ如クニシテ決シテ「コーカサス」人種ニ見ル可カラサル所ナリト云ヘリ。又マルシユル氏ノ「ブツシユ」人ノ女子ノ腦髓ヲ解剖シテ記述セル言ニ曰ク其ノ構造ハ明ニ白哲人ノ腦髓ニ劣レリ。先ツ原始盤廻ハ都ベテ存在スルモ歐洲人ノ腦髓ヨリモ少ニシテ且單簡ナリ。外部結合的ノ盤廻ハ猶ホ著シク欠亡シテ第二間溝及ヒ盤廻ハ何レモ發達充分ナラズ左右結合ノ纖維モ不足ニテ其ノ大サ並ニ其ノ他一切ノ事明ニ下等ニ位シ其狀寧ロ高等ナル四手類ノ腦ニ近シト謂フモ可ナリト云ヘリ。黒奴ノ腦髓ハ「フツシユマン」ニ比スレハ稍高等ニ進メルモ白哲人ニ比スレハ遙ニ下等ナリ。又ボトシユニス人種ノ女子ノ腦髓ハ歐洲婦人ノ腦髓トハ比較ニ上ラザル程ニ發達不充分ニシテ其ノ狀ハ殆ント癡狂者ノ腦髓ニ同シト云ヘリ。同シ歐洲ノ人ノ中ニテモ正ニ此ノ順序ニ依リテ其ノ心能ニ消長ノ關係アリ。教育アル者ノ腦髓ハ教育ナキ者ノ腦髓ヨリモ進歩セリ。博士ツルナム氏ノ報道ニ普通腦髓ノ平均量ハ四十九オンスナルガ衆ニ勝リタル者ノ腦髓ハ

五十四、六オンスニ平均ス又白痴ニテハ其ノ腦髓甚タ少ナルノミナラス盤廻ハ頗ル單簡ニシテ諸般ノ構造十分ニ發達セズト云ヘリ。マルシユル氏ノ研究セル二人ノ白痴ノ腦髓ニハ其ノ盤廻ノ猿猴ヨリモ小ナル者アリシト云ヘリ。要スルニ腦髓ノ高等ニ進メハ進ム程其ノ重積ヲ増加シ盤廻複雑ニシテ間溝深シ以上ハ發達ノ精確ナル理法ナルコト疑ナキモ時ニハ特例ナキニアラズ。割合ニ小ナル腦髓ニ割合ニ大ナル心能ノ宿スルコトアルナリ。是レハ其ノ重積ハ小ナルモ其ノ分子ノ働キハ活潑ナルモノナルベシ。通常ノ人ニテモ熱病等ニ罹リ其ノ腦髓ノ分子ノ働キハ非常ニ激シタル時ニハ驚クベキ程ノ知能ヲ現ハスコトアリ。此レハ病体ノ事ナレドモ心能ノ活潑ナルト遲鈍ナルトハ又タ大ニ其ノ分子ノ働キニ關係スルコト著シキヲ見ルベシ。サレバ平生ニ於テモ腦髓ノ働キニ活潑ナルト遲鈍ナルト在ルベシト思フハ至當ノ推測ナリ。是レ亦心意ト腦髓トノ關係上忘ルベカラザル所ノ一項ナリトス。次ニ人間一代ノ間ニ經過スル發達ノ模様ヲ見ルニ正ニ動物界全体並ニ人類全体ノ間ニ存スル所ノ以上ノ如キ發達ノ進路アルヲ見ル。六週ノ胎兒ノ腦髓ヲ概シ

テ記述セバ小胞ノ排列ヨリ成リ前方ノ左右ニ在ル二個ノ大胞ハ小胞ノ萌芽ヲ爲シ後方ニ在ル者ハ小胞ノ萌芽ヲ爲ス而シテ此ノ時代ニハ大胞ノ方小胞ヨリモ大ナリ。小胞ノ前面ニ四疊体ノ萌芽ト爲スベキ小胞アリ又其ノ前方ニ視神經床ヲ包含スル第三室ト爲ルベキ者ノ小胞アリ。此ノ有様ハ全ク魚ノ胎兒ノ腦髓ト類似セリ。其ノ漸ク生長シテ第十二週ニ至レバ大胞ト爲ルベキ左右ノ兩小胞著シク生長シテ少シク四疊体及ヒ視神經床ヲ被ヒ來ルモ前葉アルノミニシテ未タ其ノ表面ニ盤廻ヲ現ハスヲナク其ノ狀正ニ鳥類ノ腦髓ニ類似セリ。四ヶ月ヨリ五月ノ初メニ於テハ大胞漸ク其ノ中葉ヲ發生シ來リテ後方ニ廣カリ四疊体ヲ被ヒ爾後ハ漸次發達シテ小胞ヲモ被フニ至ル。動物界ニ於テモ牛馬羊豚ノ類ニハ後葉未タ發生セス從ヒテ大胞ハ小胞ヲ被フヲナキモ猿猴ニ至レバ既ニ後葉ヲ發生シテ其ノ部分ハ正ニ人類ノ腦ト異ルヲナシ唯其ノ發達ノ程度ノ稍々中止セルガ如キ狀アルノミ。

諸テ以上ニテ腦髓ノ發達ト心意ノ發達トノ關係ノ大凡ヲ説キタルガ猶ホ進ンテ人類ノ腦髓ノ作用ヲ論ゼン。之レヲ論スルニハ各種ノ神經中樞ヲ區別スルヲ肝

要ナリ。而シテ今日ノ研究ヲ以テ知り得タル所ハ左ノ如シ。

一、元始中樞即チ觀念中腦ハ大腦半球ノ盤廻ノ灰白質物中ニ在リテ最モ高等ナル中樞タリ。

二、第二中樞即チ感覺中樞ハ三稜体及ビ側室ノ床ノ中間ニ在ル灰白色物ノ群塊ニシテ元始中樞ノ下ニ在リテ次ニ擧グル第三中樞ヨリモ上位ニ居ル。

三、第三中樞ハ即チ反射中樞ニシテ主トシテ脊髓ノ灰白色質物ヨリ成ル。此ノ中樞ハ前者ヨリハ下方ニ在リ次ニ擧グル有機的中樞ヨリハ上ニ位ス。

四、有機的中樞ハ一ニ交感神經中樞トモ云ヒテ内臟ノ上ニ分配セル神經群塊ノ排列ヨリ成リテ脊髓中樞ト結合セラル。

以上ノ諸中樞ノ作用ハ解剖上ノ證明並ニ動物ニ實驗シテ得タル證明生理的ノ證明病理的ノ證明等ニ依リテ證明セラレタル者ニシテ決シテ空想ノ論ニハアラザルナリ。

(イ)解剖上ノ證明。 今日ノ解剖學ニテハ各神經纖維カ神經細胞ト連續スル所ノ實況ヲ實見スルヲ能ハズ。然レモ神經細胞ハ皆數多ノ枝條ヲ出シテ腦髓ノ

中ニモ脊髄ノ中ニモ枝條ナキ細胞ナキヲ又若シ之レアルモ此レハ未幼稚ニシテ發達セザル者ナルカ或ハ神經細胞ニハアラズシテ結締織ノ細胞ナルヲハ解剖上疑モナキヲナレバ此ノ細胞ヨリ出セル枝條ハ各神經纖維ト連續スル者ナリト假定スルモ決シテ甚シキ誤ニハアラザルベシ。

腦髓ノ灰白質物ヲ研究スルニ其ノ構造並ニ細胞ノ種類ハ頗ル複雑ニシテ恰モ心意ノ作用ノ頗ル複雑ナルニ符合セリ。此ノ複雑ナル細胞ト之レト結合スル纖維トノ間ニ如何ナル神經作用ノ起リテ其ノ運行ノ道路ノ如何ハ之レヲ實驗スルヲ能ハサルモ腦髓中ニ在ル細胞ノ數及ビ纖維ノ數カ無量無數ニシテ其ノ聯絡ノ極メテ複雑ナルヲ以テ見レバ心意ノ働キノ極メテ複雑ナルモ強ニ出來得ヘカラザル事ニハアラザルベシ。盤廻ノ一立方「インチ」中ニハ數十萬ノ神經細胞及ビ纖維アリテ全盤廻ノ中ニハ實ニ天ノ星宿程無量ノ細胞纖維アルヲ明ケシ又脊髄ノ中ニモ之レニ劣ラサル程ノ複雑ナル組成アルナリ。

神經纖維ハ其ノ中樞細胞ト連續スルノミニアラズ又各細胞ノ間ヲ連絡シ且兩半球ノ中樞ヲモ互ニ相連絡ス。要スルニ腦髓脊髄ノ各部ヲ通シテ連絡ノアラサル

所ナキヲ以テ一方ニ起レル働キノ忽チ全体ニ通達セラレ其ノ間ニ頗ル親密ナル作用ノ連絡アルベキナリ。

ロ) 實驗的證明。動物ニ實驗スルニ腦髓ノ作用ト心意ノ作用ト相互ニ關係シテ離ルベカラザル者アリ。其ノ一ノ經驗トシテ腦蓋骨ヲ割去シテ腦髓ノ狀況ヲ

窺フベカラシメ備テ之レヲ觀察スルニ感覺ヲ受ケ或ハ運動ヲ起ス等ノ働アル時ハ腦髓ニ血液ヲ増流シ且其ノ溫度ヲ高クスルモ睡眠ノ間ハ血液減少シ其ノ溫度モ低落シ腥ムレバ又血液増流シテ溫度ヲ高クスルヲ其ノ外四疊体ヲ割去スレバ忽チ視感ヲ失フヲ恰モ眼球ヲ直接ニ傷害セシニ異ナルヲナシ。博士フエリアル氏ノ實驗ニ依リテ腦髓ニ存スル中樞ノ位置ヲ明ニスルヲ得タリ。今其ノ一班ヲ左ニ擧ケン。

フエリアル氏ハ視感ノ中樞ヲ角狀盤廻及ヒ上邊葉ノ一部ニ指定セリ。氏ハ先ツ動物ニ麻醉劑ヲ加ヘテ其ノ知覺ヲ去リ備テ其ノ腦髓ノ一側ニ於テ此ノ部分ヲ割去セシニ二三日ノ間ハ一方ノ眼ニ其ノ感覺ヲ失ヘリ次ニ他ノ一側ニ附キテ此ノ部ヲ割去セシニ兩眼トモ明ニ其ノ視感ヲ失ヒ去レリ。故ニ氏ハ此ノ部分ヲ以テ

視感ノ中樞ト爲セリ。次ニ氏ハ同様ノ試験ニテ聽官ノ中樞ハ上顛顛盤廻ノ上半ニ在ルヲ論定シ又同様ノ試験ニテ臭官ノ中樞味感ノ中樞及ヒ觸官ノ中樞ノ所在ヲ示定セリ。左ニ氏ノ實驗ノ記載ヲ擧ケテ其ノ大凡ヲ知ラシメシ。但シ氏ノ實驗ハ猿猴ニ於テ之レヲ施セルナリ。

左方ノ角狀盤廻ヲ割去シテ其ノ結果ヲ見ルニ右方ノ眼ノミ盲ト爲リ聽感其ノ他ノ感覺ニ害ナシ。次キニ上顛顛蝶盤廻ヲ露出シテ兩側共ニ之レヲ割去シ諸テ種々ノ感覺及ヒ隨意運動ノ有無ヲ試験セシニ觸感味感臭感ニハ異變ナク又試験後二十四時間ノ間ハ自由ニ運動シ食物ヲ取リ水ヲ飲ム等ノ働キヲ爲セルヲ以テ視感ニハ害ナキコトヲ明ニセリ。聽感ハ動物ノ不隱ナルヲ及ヒ其ノ四邊ニ注意スル等ノ事ヲ以テ充分ニ其ノ結果ヲ見ルヲ能ハズ側ニテ激シキ音ヲ爲ス時ハ動物ハ大ニ驚愕スルモ此レ果シテ聽感ヨリ來レル刺撃ナルカ或ハ視官ノ満足ナル故其ノ聯合上ニ來レル舉動ナルカ又ハ單ニ反射的運動ナルカ卒ニ之レヲ區別シ難シ。依リテ視感ニ注意ヲ引キ附ケラル、ヲ防カンガ爲メ戶外ニ出テ、隙孔ヨリ窺カニ之レヲ窺ヒツ、諸テ萬事靜定スルヲ見テ或ハ

高ク呼ビ或ハ口笛ヲ鳴ラシ或ハ戸ヲ敲クナト種々ノ事ヲ試ミシニ動物ハ四方ヲ見ナカラ少シモ之レヲ聽キ附ケザル者ノ如シ其レヨリ靜ニ出テ來ルモ彼レハ全ク物音ヲ聽キ附クルヲ余ヲ見テ始メテ驚キ叫ヒタリ。後ニハ聽感ノ害セラレザル猿ト共ニ在ラシメテ屢々試験セシニ一方ニハ充分ニ音響ヲ聞キ取リテ其ノ源ヲ探ラント焦慮シテ求ムル所アルモ一方ノ猿ハ全ク之レヲ知ラザル者ノ如クニテアリキ。

(ハ) 生理的證明。 五感ノ生理作用ヨリ研究スルニ心意ノ或ル一部ハ少クモ腦髓ノ官能ニ屬セルヲ明ナリ。眼アルニアラザレバ視感ナク耳アルニアラザレバ聽感ナク舌アルニアラサレバ味感ナク鼻アルニアラサレバ嗅感ナシ。其ノ外前上動物ニ就キテノ實驗ハ即チ又生理作用ノ研究トシテ視ルベキ者ニシテ此レ等ノ證明ニ依レバ腦髓及ヒ神經系統ハ心意ノ働キノ機關ナルヲ明ナリ。

(ニ) 病理的證明。 瘋癲白痴ノ腦髓ニハ必ズ病體的ノ變化アリ殊ニ知力ニ異變アリタル者ノ腦髓ニ附キテ見ルニ前額骨ノ下ナル腦髓皮部ハ其ノ色濃暗ニシテ軟腦膜ト結合スルヲ常腦ヨリモ甚シク或ハ其ノ質軟弱ナル等ノ變化アリ又癲狂

者ノ感情ノ過激ナルカ又ハ沈衰セル者ニハ腦髓ノ上葉及ヒ後氣ニ變化アリ。老人ノ記憶ノ衰ヘタル者ニ在リテハ皮髓ノ神經細胞著シク疲枯セリ。其ノ外癲狂者及ヒ盲啞聾等ノ病体ニ附キ其ノ腦髓ヲ解剖スルニ必ズ之レニ照應スヘキ異變ノ存セザルハナシ。

以上動物界ニ於テ必意ノ發達ト腦髓ノ發達ト其ノ消長ヲ共ニスルコト並ニ解剖上生理上又ハ病理上ニ於テ心ノ作用ト腦髓ノ機關ト相聯絡スルコトヲ以テ見レバ腦髓ハ心意ノ機關ナルコト明ナリ。

第三章 心ノ諸能力

心ノ作用ヲハ其ノ能力ト云フ。心ノ能力ノ靈妙ニシテ且種々ナルコト卒然トシテ之レヲ見レバ實ニ其ノ端睨ヲ窺フベカラザラシム。眼ヲ開ケバ青黃紫赤ノ色ヲ視耳ヲ傾クレバ即宮徵角羽ノ諸音ヲ聞キ味ヘハ即チ苦酸澁辛ヲ感シ嗅ケバ即チ香醜ヲ感シ瞑目スレバ即チ其ノ視聽嗅味シタル者ヲ思ヒ起シ猶ホ又之レヲ種々ニ結構シテ未タ視サル形未タ聽カザル音ヲ想像シ又或ハ判斷推理シ時ニ或ハ驚

キ或ハ喜ビ或ハ怒リテ喜怒哀樂ノ諸情ヲ現ハシ又我が意志ノ在ル所ニ依リテ思慮シ決斷スル等種々雜多ノ働キヲ爲ス。

右ノ如ク心意ノ諸作用ハ種々様々ナレバ古ノ學者ハ其ノ諸作用ヲ各一個獨立ノ作用ト爲シ此ノ諸作用ノ集リテ心意ヲ爲スコト恰モ頭胴手足ノ相集リテ人体ヲ爲スガ如クニ考ヘタリ。然レモ此ノ諸作用ハ元來分立セル獨立者ナルコトアラズ同シ心意ノ働ノ種々ノ様法ニシテ恰モ同シ人ノ手ニテ或ル時ハ字ヲ書シ或ル時ハ繪ヲ畫キ或ル時ハ箸ヲ取リ或ル時ハ物ヲ握リ或ル時ハ琴ヲ彈シ或ル時ハ劍ヲ舞ハスト同様ナリト見做スベシ。前章ニ於テ陳ヘタル所ノ如ク腦髓ノ各部ニ諸種ノ中樞ノ分在スルコトナレバ心ノ各作用ハ分立獨存シテ其ノ集合セル者即チ心ナルカ如キ次第ナキニシモアラザレドモ之レヲ以テ直ニ頭胴手足ノ集合シテ身体ヲ爲ス者ト見ルハ甚タ穩ナラズ寡クモ柱ヲ以テ支ヘザレバ屋根ニシテ屋根アラズ屋根ヲ以テ被ハザレバ床ニシテ床ニアラズ何レモ是レ獨立ノ屋根柱梁床壁ニアラズ家屋ノ屋根柱梁床壁ニシテ有機的ノ結構ヲ爲セル一体ノ一部分ナルガ如キ者ト見サル可ラズ。今眼ヲケレバ形ヲ見ルコト能ハズ形ヲ見ルコトケレバ形ヲ

想像スルヲモ之レヲ考フルヲモ出來難ク考フルヲモ想像スルヲモ無キ時ハ企望スルヲモナク從ヒテ思慮スルヲモ決心スルヲモナキ道理ナリ。故ニ心ハ諸種ノ作用ノ集合体ト見スシテ其ノ諸作用ハ一元力ノ種々ノ働キノ様法ノ異ナルニ依リテ起ル所ノ現象ト見ル可キナリ。

此ノ複雑多様ナル作用ニ就キテ學者ハ之レヲ分類シテ其ノ系統ノ属スル所ヲ明ニセントセリ。千種万様ナル動植物ヲ博物學者ハ分類シテ其ノ系統ノ管属スル所其ノ種族ノ分合スル所ヲ詳ニシテ一目瞭然タラシムルガ如クニ心理學者ハ此ノ複雑靈妙ナル心意ノ諸能力ヲ分類シテ其ノ系統ヲ明ニシ其ノ種類ヲ詳ニセントセリ。

緒テ其ノ官能或ハ能力ヲ分類スルニ古代ノ人ハ之レヲ思考及ヒ意志ノ二大綱ト爲セリ。アリストトール以下皆此ノ法ニ從ヒシカ日耳曼ノ學者カントニ至リテ此ニ感情ノ一綱ヲ加ヘテ合セテ三綱ト爲シヨリ爾後學者ハ此ノ說ヲ取ラザル者ナキニ至レリ。

古代ノ哲學者ニテモ全ク感情アルヲ知ラザルコアラズ。然レモ其ノ知力及ヒ意

志ニ比スレハ獨立ノ体裁ヲ爲スヲ尠ク常ニ知力若クハ意志ト結合スルカ故ニ之レヲ知力或ハ意志ノ内ニ混入シテ分別スルヲ得ザリシナリ。且情緒ノ性質タル之ヲ見聞シテ其ノ映像ヲ造ルベカンザルガ故ニ之ヲ記述スルヲモ亦頗ル難キヲ以テ古代哲學者ガ之ヲ遺漏シタルモ亦必ズシモ深ク責ムルニ足ラザルガ如シ。

カントガ感情知力意志ノ三綱ニ分ナテヨリ爾後心理學者ハ皆此ノ分類法ニ從ハザルハナキニ至レリ。而シテ其ノ感情ト云ヘルハ心意一切ノ快樂苦痛ノ感動ヲ包含シテ頗ル單簡ナル者ヨリ甚々複雑ナル者ニ至レリ。饑渴ノ苦ノ如キ或ハ口舌ノ愉快ノ如キハ頗ル單簡ナレドモ惻隱同情或ハ美術ノ快樂ノ如キハ甚々複雑ナリ而シテ皆其ノ中ニ包含セラル。又其ノ知力ト云ヘル内ニハ通常謂フ所ノ知ルコトノ内ニ属スル者ハ一切之レヲ包含セリ。即チ感覺機ヲ通シテ知覺スルコト過去ノ事ヲ記憶スルコト。若クハ新ニ想像スルコト並ニ推理思考スルコト等ヲ盡ク包含セリ。又其ノ意志ノ内ニハ一切行動ニ關スル者ヲ包マシメタリ。意志ト云ヘル語ノ普通ノ意味ハ目的ヲ遂ケントテ行爲ヲ執行スルニ在リト雖モ心理學ニ於テハ廣ク之レヲ用ヒテ一切人類ノ運動(反射的若クハ自動的)ノ運動ヲ除キテ包含

セシム。

今日ハ以上ノ通り心能ヲ三分スルヲ常ト爲スト雖モ此ノ三能力ハ根本的ニ異レル者ニアラズ。大人ノ萬能既ニ發達シタル者ニ於テハ明ニ此ノ三能力ヲ區別シ得ベキモ未ダ發達セザル心意ニ於テハ然ラズ。進化ノ理法ニ依レバ始ハ無組織單純ナル者ガ漸ク種々ノ組織ヲ分生シ從ヒテ各別ノ作用ヲ特司スルニ至ル者ト爲ス。故ニ感情知力意志ハ同時ニ發芽シ同時ニ併行シテ生長シ同時ニ同等ノ程度ニ達スルヲ爲サズシテ其ノ間ニハ前後發達ノ順序ヲ異ニス。其ノ順序ハ先ツ運動始メテ起リ次ニ反射的ノ感情ヲ生シ高等ノ知力ハ遙ニ後ニ發達スルモノナリ。其ノ詳細ハ之レヲ次章ニ論スベシ。

心意ノ既ニ充分ニ發達シタル者ニ於テハ此ノ三能力ハ全ク之レヲ分別スルヲ得ベシ。兒童ニ於テ感情ノ激發セル時ハ全ク感情一方ノ世界ト爲リ思考シ又ハ思慮スルノ進ナシ大人ニ於テモ喜ヒノ餘リ雀躍シテ手ノ舞ヒ足ノ踏ム所ヲ知ラズト云ヒ又怒ノ餘リ道理モ人情モ實利モ全ク顧ルコトナキニ至ルヲ屢々之レアリ。之レト同シク思考ニ暮ル、時ハ感情モ意志モ共ニ一時ハ全ク其ノ作用ヲ停止

スルヲアリ。アルフレッド大王ガ究迫シテ農家ニ隠レタル時前途ノ事共考ヘテ思ヒニ沈ミ主婦ニ命セラレタル麵包ヲ黒燒キニ燒キ焦シタルヲ或ハニユートンガ頻リニ數學ヲ研究シテ思考ニ沈淪セルヤ妻君ガ食事トテ鶏卵ト沸湯トヲ持テ來リ時計ヲ渡シテ五分間之レヲ煮熟セヨト指示シケレバニユートンハ其ノ言ニ從ヒテ鶏卵ヲ湯中ニ投シタル積リニテヤガテ最早程好キ時分ナラン時計ヲ見バヤト掌上ヲ見ルニ豈ニ計ランヤ掌上ニハ鶏卵アリテ時計ハ湯中ニ投セラレタリシ事アリシ等思考ニ沈淪シタル時感情モ意志モ其ノ作用ヲ停止スルヲ屢々人ノ實驗スルトコロナリ。既ニ余ガ知人ニ頗ル勉強家アルガ此ノ人正ニ讀書ニ吸収セラレタル時家信アリテ嚴父ノ死ヲ報ズ。此ノ人一タヒハ讀過シタレドモ先ツ此ノ一節ヲ讀ミ終リテ後ノ事ナリトテ冷淡ニモ其ノ書翰ヲ卷キ収メタリ。

又古來ヨリ意志ノ極メテ強壯ナル者ニ於テハ感情ノ冷淡ニシテ思考ノ淺薄ナル者尠カラズ。英國ノシロムウエルノ如キハ意志ノ強壯ナル殆ント空前絶後トモ評スベキ程ナレドモ殘忍酷薄ニシテ其ノ情ハ頗ル冷淡ナリ又其ノ行爲ハ果斷決行ト稱スベキモ之レヲ知慧アル行爲ナリ或ハ深慮遠謀等ノ語ヲ以テ評スベキ者

トテハアラザルナリ。

感情知力意志ハ斯ノ如クニ異リテ時ニハ相反對スルヲアルモ其ノ間ニハ甚タ密着ナル關係ノ存スル者ニシテ之レヲ大觀スル時ハ情感獨リ立タズ知力獨リ行カズ意志獨リ進マズト云フモ可ナル程ナリ。前ニモ云ヘルガ如ク感情知力意志ハ同シ心ノ作用ニシテ互ニ分離シテ成立スルヲ能ハザルヲ恰モ物体ノ色形体及ヒ重量ノ明ニ異リタル諸性質ニテ在リナカラ實際ニ於テハ分離シテ成立スルヲ能ハザルカ如キ次第ノ者ニシテ思考スル時ハ必ズ情感或ハ意志之レニ伴ヒ又感情アル時ハ知力及ヒ意志之レニ伴ヒ意志アル時ハ感情意志之レニ伴フ者トス。

思考ノ知力ハ思考ノ知力トシテ獨行ノ作用ナレトモ其ノ中ニハ感情ノ元素ヲ伴隨セシメザル事ナキハ都ベテ思考及ヒ觀念カ堅ク心中ニ成リ立ナテ知識ト爲ルニハ多少感情ノ元素ノ之レニ伴フ者アルテ以テ見ルベシ。又吾人ガ知覺シ想像シ思考スル所ニハ多少ノ感情ヲ伴隨セシメザルヲナシ。繪畫ヲ視ルハ知覺ナリ而シテ喜悅ノ情之レニ伴フ前途ノ事ヲ想像スルハ知力ナリ而シテ其ノ望アル時ハ喜ビ望ナキ時ハ悲ム。是レ即チ知力感情ノ相伴フ所ナリ。

又思考ニ意志ノ關係スル一例ヲ舉クレバ音樂ヲ聽クハ知覺ナリサレド之レヲ聽カント欲スル意志ナキ時ハ之レヲ聽クヲ得ヘカラズ。一切吾ガ思考スル所必ズ先ツ之レヲ思考セントノ意志ナクハアラズ又既ニ思考シテ其ノ利害得失ヲ明ニシ得タル所ハ之レヲ實行シ或ハ實行セントノ意志ヲ起サザルヲナキナリ。

情感ノ發達ハ遙ニ知力以前ニ在ルヲ以テ情感ニ伴ハザル知力ナキニアラザルモ一切ノ發達ガ成就シタル者或ハ既ニ大ニ成就シタル者ニ於テハ情感アレハ必ズ知力ノ之ニ伴隨セザルヲナキナリ。身体ニ傷ヲ受ケテ苦痛ヲ感スルハ情感ナリ而シテ傷害ノ位置ヲ知り其ノ性質ヲ辨別スルハ是レ知力ナリ。又不快ニ感シ或ハ苦痛ニ感スルガ故ニ之レヲ記憶スルヲモ深キカ如キハ情感ト知力ト其ノ働キヲ交渉スル所ナリ。感情ト意志トノ干係ニ至リテハ頗ル親密ニシテ感情アル時ハ之レニ次キテ意志ノ起リ來ルヲ常トス。苦痛アル時ハ之レヲ去ラントシ快樂アル時ハ之レヲ得ントス。是レ意志ノ一原則ニシテ此ノ原則ハ意志ノ感情ト結合スルヲ最モ親密ナルヲ明ニセリ。

感情知力意志ノ三元素ハ互ニ親密ナル關係ヲ有シテ獨リ立タズ獨リ行カザル者

ナレドモ其ノ作用ハ互ニ相分レテ各特別ノ用ヲ爲セリ。此ノ三作用ノ中ニテ何レカ最モ基礎的ノ作用ナルカト考フルニ明ニ其ノ意志ナルコトヲ知ルナリ。意志ハ最初ニ現ハレ來ル者ニシテ少シク反射運動以上ニ進ミタル本能アル者ニ於テハ意志ノ用最モ著シキ部分ヲ占メタリ。此ノ程度ニ在ル知力感情ヲ修飾ナキ語ヲ以テ評スレバ意志ノ行爲ヲ現ハスノ連鎖ニ過キスト謂フモ可ナル程ナリ。猶ホ進歩シタル所ニ於テモ意志ハ常ニ他ノ作用ノ基礎ヲ爲セリ。活動ハ生物ノ最必要物ニシテ若シ之レナキ時ハ知力モ感情モアリテ恰モ無キガ如クニナルナリ。意志ハ人生心意ノ至高至要ノ部分ヲ占メテ感情モ知力モ其ノ支配ヲ受ケ此ニ始メテ其ノ用ヲ遂クルコトヲ得ルナリ。其ノ實況ハ意志ノ疾病ニ附キテ見レバ明ナル者アルナリ。意志ノ疾病ニ附キテハ余ガ著徳美教育(五十八丁)ヲ見ヨ。心能ハ上ノ如ク先ツ感情知力意志ノ三種ニ分チ猶ホ其ノ各自ニ附キテ數多ノ能力ヲ分テリ。例ヘハ知力ヲ分チテ知覺想像其ノ他ノ諸能力ト爲シ情緒ノ種類ヲ舉ケテ喜怒哀惡等ノ諸目ト爲シ意志ノ用ヲ分チテ思慮決意等ト爲スカ如シ。此レ等ノ諸目ハ多少根本的ニ異リタル性質ヲ有スルカ故ニ之レヲ分チ説ク方大ニ

便利ナリ。

本書ニ於テ論セント欲スル分類法ハ左ノ如シ。

天、知力、附注意記憶

- 一、感覺
 - 二、知覺
 - 三、想像
 - 四、概念
 - 五、判斷
 - 六、推理
- 地、感情
- 一、單簡ナル感情
 - 二、複雜ナル感情
- 人、意志
- 一、隨意運動

二行爲

以上ノ諸能力ハ誰レシノ人ニモ存在セザルハナシ。然レ凡俗ニモ人心ノ異ルコト其ノ面ノ如シト謂ヘル程ナレバ其ノ作用ノ強弱ハ人ニ依リテ大ニ異レリ。或ル人ハ知力ニ富ミ或ル人ハ感情ニ盛ニ又他ノ人ハ意志ノ殊ニ強キアリ。知力ノ内ニテモ記憶ノ殊ニ勝リタルコト張巡ノ一タヒ人ノ名ヲ聞キテ生涯忘レサルガ如キアリ、又想像ノ勝レタル馬琴ノ如キシエキスピアルノ如キアリ、推理ニ富メルコトベリコン、パスカルノ如キアリ、情ニ於テモ同シク愛情ニ富メルアリ、憎悪ノ情ニ盛ナルアリ又ハ利己ノ情ノ盛ナルアリ、猶ホ一層細カニ觀察スレハ記憶ノ強キ中ニモ種々アリテ能ク人ノ名ヲ記憶スルアリ、物体ヲ記憶スルアリ、地名ヲ記憶スルアリテ其ノ狀千様万態ナリ。

心意ハ物体ノ如クコト手ニ觸レ眼ニ視音ニ聞キテ比較セラルベキニ非ザレバ人々各自ノ心力ニ附キテハ到底之カ詳細ナル比較ヲ爲シ得ベカラズト雖モ猶ホ大凡ニ之レガ測量ヲ爲スノ法方ナキニアラズ。殊ニ教師ト爲リテ生徒ヲ教育スルニハ先ツ能ク生徒ノ性質ヲ知ラザルベカラズト云フハ教育上ノ格言ナリ、而シテ其

ノ性質ヲ知レト云フハ心意ノ能力ヲ知レト謂フヲ換言シタルニ過ギサルコトナレバ人ヲ教育スルニハ先ツ其ノ心意ノ性質ヲ知ルベキコト最モ必要ナリ。故ニ之レヲ推測スルノ方法ヲ研究スベキコト又大切ナリ。左ニ其ノ推測法ノ大凡ヲ擧ケン。先ツ心意ヲ分量ノ上ヨリ見レバ心ノ能力ニ程度、長短、及多寡ノ三條アリ。能力ノ程度トハ其ノ強弱ヲ云フナリ。吾人ノ感覺、知力、情緒ニハ明ニ強弱ノ差等アルヲ見ル。之レヲ自己ノ經驗ニ徴スレバ感覺ノ或ル者ハ他ノ者ヨリモ強ク感シ或ル情緒ハ他ノ情緒ヨリモ激シク感スル者アルヲ見ル可シ。吾ハ強ク色ヲ感スルモ音ヲスルコトハ友人ヨリモ薄ク或ハ吾レハ嬉シク感スルコト他人ヨリモ深キモ無念、残念ト感スルコトハ他人ノ如クニ甚シカラズト云フガ如キ差等ハ人々ノ心ニ必ず存スル所ノ差等ナリ。知力ニテモ同シ事ニテ推理力ノ他ヨリモ勝リタル者アリ或ハ想像力ノ殊ニ秀テタルアル等種々ノ差等ノ人々ノ間ニ存スルヲ實檢スベシ。能力ノ作用ノ長短モ亦人ニ依リテ頗ル差等アルナリ。文章一篇ヲ草スルニ恰モ瀑布ノ奔飛スルガ如キ勢ニテ一氣呵成ノ長篇ヲ成ス者アリ、又ハ長キ時間ヲ費ヤスモ一言一句ヲモ爲スコト能ハザル者アリ。詩歌ニ於テ數學ニ於テ想像ニ於テ又

ハ思慮決心ニ於テ其ノ容易ナルト難澁ナルト時間ニ長短ノ差等アルヲ形容スレハ駿馬ノ逸奔ト跛者ノ坐行ト異ナル程ノ差等アルヲ見ルナリ。

能力ノ作用ノ多寡モ差等アルヲ甚タ著シ。例ヘハ同時ニ同シ動物ヲ視ルモ甲ノ人ハ之レヨリ數多ノ思想觀念ヲ追想シ且ツ新ニ結構スルモ乙ノ人ハ唯見タルマテニテ其ノ他ニ何ニ等ノ思想ヲモ浮ハシムルヲナシ。又同シ事ニ遭遇シテ甲乙感動スル所甚タ異リテ甲ノ人ハ種々ノ感慨ヲ發スルモ乙ノ人ハ誠ニ冷淡ニ通過シ去ルヲアリ。知識ニ富メル者情ノ細ナル者想像力ニ富メル者感慨ニ激動スル者等種々ノ人物カ同シ一事一物ニ遇ヒタル時其ノ心中ニ起ス所ヲ假ニ外ヨリ透視スルヲ得ルトセハ實ニ其ノ千種萬態ナルヲ見ル可シ。

諸テ心意能力ノ測量ハ物体有形ノ者ノ觀察ノ如クニ顯著ナル方法ヲ以テ顯著ナル結果ヲ得ヘキニアラズ。サレドモ又全ク之ヲ測定スルノ方法ナキニアラズ。先ヅ試験セント欲スル數人ニ同時ニ同事物ヲ與ヘテ之レヲ感覺セシメ其ノ何レカ強ク感シタルカ何レカ早ク感シタルカ何レカ多クノ事ヲ感シタルカ等ノ差等ヲ實感スル事或ハ同時ニ問題ヲ與ヘテ考ヘシメ何レカ精確ニ之レヲ解釋スルカ

何レカ早ク之レヲ解釋スルカ何レカ多クノ事ヲ解釋スルカ等種々ニ之レヲ實驗スルモ是レ測量ノ一法方タルベキナリ。又他ノ一法ハ同シタケノ能力ノ働キ起スニ幾何ノ衝動ヲ要スルカヲ測量スル事是レナリ。或ル人ハ僅ナル事ニテ喜ヒ又ハ怒ルモ他ノ人ニハ此レニテハ毫モ感動スルヲナシ而シテ其ノ感動ノ弱キ者ニ感動ノ多キ人ヲケノ感動ヲ喚ヒ起サントセハ之レニ數倍ノ衝動ヲ加ヘザルベカラズ。斯様ニ種々ノ手段ヲ以テ同シ程ノ感情ヲ起サシムルニ要スル衝動ノ分量ヲ測量スルモ此レ亦一ノ方法ナリ。

又甲ノ者ハ容易ニ記憶スルヲ得ルモ乙ノ者ハ記憶頗ル難澁ニシテ同シ事ヲ甲ノ人ヲケニ記憶セシムルニハ其ノ幾倍ヲ反覆セシメザルベカラザルカ如シ同結果ヲ起サシムルニ要スル所ノ差等ノ比例ニ附キテ見ル時ハ其ノ心意ノ作用ノ程度長短強弱ノ大凡ヲ測リ知り得ヘシ。但シ心意ノ作用ハ時ノ事情ニ依リテ頗ル變動アリ其ノ健康ナル時其ノ疾病ナル時其ノ營養ノ充分ナル時其ノ榮養ノ不足ナル時其ノ新鮮ナル時其ノ疲勞シタル時等ニ依リテ活動ノ甚タ異ナル者ナレハ心意ノ測量ニハ常ニ此ノ点ニ注意シテ事ノ加減ヲ誤ラザランヲ大切ナリ。

第四章 心意ノ發達

今小兒ノ心能ト大人ノ心能ト比較スル時ハ其間ニ甚タ大ナル差アルヲ見ル可シ。先ツ第一ニ大人ノ心意ノ作用ヲ小兒ノ心意ノ作用ニ比スレハ其ノ種目複雑セリ。判斷推理等ノ知能同情美情等ノ情緒思慮自制等ノ意志ハ小兒ニ見サル所ニシテ獨リ大人ニノミ存スル所ナリ。第二ニ大人ノ心意ノ作用ハ小兒ニ於ケル作用ヨリモ完全ニ進メリ大人ノ觀察ハ小人ノ觀察ヨリモ精密ニシテ且容易迅速ナリ。又次キニハ大人ノ心意ノ作用ハ小兒ノ心意ノ作用ヨリモ長クシテ且複雑ナリ。小兒ハ感覺ニ來ル者ニ就キテ眞ニ意志ヲ起スモ大人ハ之レヲ比較商量シテ後其ノ意志ヲ起シ來ル。

斯様ニ小兒ノ心意ヨリ漸次發達シテ大人ノ心意ノ作用ニ進ムニハ其ノ様法ニ大凡二様アリ。其ノ一ハ元來小兒ナカラニ既ニ存在スル者ノ漸ク膨張シテ其ノ力ヲ強壯ニスルヲ其ノ二ハ小兒ニ於テハ皆無ナル能力ノ漸次年齢ヲ重ヌルニ從ヒテ發芽シ成長シ來ルヲ是レナリ。此ノ二様ノ發達ハ智力感情意志共ニ存スル所ノ形况ナリ。

諸テ心意ノ複雑ニ進ム所ノ實况ヲ見ルニ未タ發達セサル者ト既ニ發達シタル者ト異ナル所ニ顯著ナル者三條アリ。(一)發達進歩セル心能ノ作用ハ容易迅速ト爲リテ多クノ衝動ヲ要セス又タ多クノ注意ヲ要セスシテ其ノ作用ヲ發動スルコトヲ得ヘキニ至ル。數學ニ對スル能力ノ發達スルニ從ヒテ其ノ問題ヲ解釋スルヲ甚タ容易トナリ又文章ニ對スル能力ノ發達スルニ從ヒテ之レヲ草スルヲ甚タ容易迅速ト爲ルヘキカ如シ。(二)一ノ能力發達スル時ハ之レニ連關スル作用モ從ヒテ發達ス即チ容易迅速ト爲ルナリ。觀察力發達スル時ハ從ヒテ觀察シタル所ヲ記憶スルヲモ又之レヲ想像スルヲモ容易迅速ト爲リ全体ノ諸能力相提携シテ進歩發達スルカ如シ。(三)此ノ全体ノ發達ハ一層複雑ニシテ錯綜セル困難ナル作用ヲ執行スルヲ得ルヲ以テ成就セラル。試ミニ發達シタル觀察力ニ附キテ見ルニ不明瞭ナル者ヲモ辨識シ微細ナル差異ヲモ發見シ且複雑錯綜セル全体ヲ容易ニ總括スルヲ得ルヲ見ル可シ。

能力發達ノ順序。能力ノ發達ニハ順序アリ殊ニ知力ニ於テハ顯著ナル順序ヲ違フヲナシ故ニ先ツ知力ノ發達スル順序ヲ擧ゲン。(一)知識取得ノ作用ハ先ツ感

覺ヨリ始ム感覺ハ外方ノ印象ヲ受取ル心意ノ作用ナリ。此ノ印象ヲ受取ル作用ナキ時ハ心意ハ何事ヲモ爲ス可能ハサルベシ。(二)感覺ノ次キニ來ル者ハ知覺ニシテ知覺作用ハ感覺ニテ取得セル數多ノ印象ヲ結合シテ其ノ事物ノ觀念ト爲ス者ナリ。青黃赤白ノ色ヲ感スルハ感覺ナリ圓角ノ形狀ヲ感スルハ感覺ナリ柔剛粗滑ヲ感スルハ感覺ナリ薰臭ノ氣ヲ感スルハ感覺ナリ甘酸辛澁ヲ感スルハ感覺ナリ斯ク感シタル所ヲ結合シテ一ノ事物ト爲シ赤黃色ニテ圓ク柔滑ニシテ香氣アリ而シテ其ノ味ノ甘キ者之レヲ橙實ナリト知ル是レ知覺ナリ。感覺知覺ノ別大凡斯クノ如シ。(三)知覺力既ニ發達スレハ次キニ再現的想像ノ力ヲ發達シ來ル。再現的想像ノ力トハ心意カ曾テ知覺シタル者ヲ再ヒ現表スルノ作用ニテ此レニハ單ニ原物ノ儘ニテ再現シ來ルコトアリ又ハ改メテ新ナル形ニ構造シ來ル者アリ。以前ノ朋友ノ顔ヲ思ヒ出スハ單ニ原物ノ儘ヲ再現スルニテ未ダ曾テ見サル景色或ハ人物ヲ作出シテ思ヒ起スハ構造的想像ナリ。(四)最后ニ所謂思考能力發達シ來ル。是レハ具象ノ實物ニ附キテ知り又ハ想像スルニアラスシテ無形ノ關係又ハ眞理ヲ知ルノ能力ナリ。以上ノ順序ヲ以テ開展シ來ルハ恰モ春夏秋冬ノ相往

來スルカ如クニ確定シテ決シテ誤ルコトナシ。知力發達ノ順序ハ大概以上ノ如クナルガ其ノ所謂發達シテ高等ニ進ムト云フ中ニ存スル眞理ヲ見ルニ能力ノ複雑ヲ增加スルコト其ノ一ナリ内方ノ作用ニ進ムコト其二ナリ知識ノ概括ノ高進スルコト其三ナリ。感覺ハ知覺ヨリモ複雑セリ再現的想像ハ單ナル知覺ヨリモ複雑ナリ推理ノ能力ハ又再現ノ想像ヨリモ複雑ナリ。又能力ノ進ムニ從ヒテ内部ニ進ムコト深シ。内部ニ進ムトハ感覺及ヒ知覺ノ如キハ外事物ニ對スル能力ナレバ再現的想像力ニ至リテハ大ニ外物ノ境ヲ越ヘテ心意内方ノ作用ト爲リ進ミテ推理力ニ至リテハ純然タル心意内部ノ作用ニ屬シテ殆ント外物ニ對シテ直接ノ關係アルコトナシ。又感覺表現的ノ知識ハ都ヘテ具象ノ一個事物ノ知識ナレドモ再現力殊ニ推理力ノ知識ニ至リテハ全ク概括ニ屬スル知識ニシテ外ノ物界ヲ離レテ大ニ心ノ内界ニ進ミタリ。以上知力ノ諸作用ハ各其ノ開展ノ期ヲ異ニシ單獨ニ發達スル者ナレドモ其ノ順序ハ決シテ動カスヘカラサル一定ノ道理ニ依リテ定マル者ニシテ決シテ吳越ノ全ク關係ヲ絶ツ者ノ如キニアラス。例ヘハ植物ノ種子カ芽ヲ出シ幹ヲ生シ葉ヲ

展キ花ヲ開キ實ヲ結フ等幹葉花實等ハ固トヨリ異ナリタル者ニシテ其ノ發達ノ時期モ同シカラサルモ葉ノ開展スルヲ得ルハ幹ノ既ニ堅固ニシテ養分ヲ送ル者タルニ依ルニテ又花ノ實ヲ結フハ花ノ開キテ其ノ内ニ實ヲ結バシムベキ素質ヲ養蓄セルカ故ナリ。然ラハ幹葉花實ハ其ノ物ヲ異ニスルモ其ノ實ヲ尋ヌレハ繼續事業ニシテ始終一貫セル一定ノ理法ノ下ニ統一セラル、者タルヲ明ナリ。心意諸能力ノ發達ノ關係毫モ之レト異ナルヲナシ。

感情及意志ノ發達。 感情及ヒ意志ノ發達ニモ知力ノ發達ト同様ナル順序アルナリ。早キ頃ニ發達シ來ル所ノ感情ハ頗ル單純ニシテ其ノ狀甚タ感覺ト相似タリ。而シテ高等ナル感情ハ複雑ニシテ再現的ニ屬ス。恐怖ノ情ノ如キハ其ノ初現表的ニ屬スル時ハ唯外物ニ遇ヒテ此ノ情ヲ起スニ過ギザルモ情緒全体ノ發達シ來ルヤ同シ恐怖ニテモ心中ニ諸種ノ思想ヲ浮ベ無形ナル不徳ノ事不實ノ行ニ向ヒテ悚然トシテ恐ル、ニ至ル。意志ノ諸作用ニ於テモ同シ事ニテ其ノ始メニ起ル者ハ單簡ニシテ外方ニ在ルモ高等ナル者ハ奧深キ所ニ在リテ再現的ニ屬ス。目前ノ事物ヲ見テ之レヲ得ント欲スルハ現表的ノ意志ナレトモ意志ノ發

達スルニ於テハ遠ク將來ノ事ニ考ヘ利害ヲ比較シテ思慮商量スルニ至ル是レ複雜ナル作用ナリ。

知力、情緒、及ヒ意志ノ發達ノ相關。 前上知力ノ諸作用ノ互ニ相異ルモ其ノ實ハ相關係シタル繼續ノ發達ニシテ畢竟ハ知力全体ノ發達開展ナル事及ヒ感情意志ノ諸作用モ同然ナル事ノ如ク知力感情意志ノ三作用ノ關係モ亦互ニ連絡シタル一系ノ中ニ唯其ノ方向ヲ異ニシテ現ハレ來ル所ノ各種ノ作用ナルノミナルナリ。結局心意ハ一ノ有機統一體ニシテ知力感情意志ノ諸作用ハ互ニ相關係セリ。故ニ其ノ發達ハ特行獨歩ニアラズシテ互ニ相依賴シテ其ノ一ノ發達ハ必ズ他ノ發達ヲ基礎トシ又他ノ發達ノ基礎ト爲ル。知力ハ獨リ發達セズ必ズ感情意志ノ發達ニ依賴シ又自個ノ發達ヲ以テ感情意志ノ發達ヲ助クルナリ。感情ノ發達ハ知力ノ發達ナクシテ見ルヲ難ク意志ノ如キモ知力感情ノ發達ヲ待チテ而シテ后大ニ發達ス。或ル特別ノ場合ニ於テハ知力或ハ感情或ハ意志ノ一方ニ例外ノ發達ヲ現ハシテ恰モ片輪者ノ如キ体裁ヲ見ルヲナキニアラサルモ此等ハ寧ロ病體ニ屬シ通常ニ於テハ全ク單獨ノ發達ハ決シテ實際ニアルヘカラサル所

トナスナリ。
 然レドモ心意三作用ノ相互ノ關係ハ多少ノ厚薄ナキニアラズ即チ知力ノ發達ニハ感情意志ノ作用ヲ包含スルモ其ノ量ハ割合ニ勘ク而シテ感情意志ノ發達ノ中ニハ知力ノ作用ヲ包含スルコトハ甚ダ多シ。故ニ發達ノ順序モ自然知力ヲ先ニシテ感情意志ハ其ノ後ニ來ルナリ。

心意發達ノ要素。 心意ノ發達ハ前章ニ於テ述ヘシ所ノ如ク腦髓系統ノ發達ニ屬スル事ナレドモ其ノ外方圍繞物ト關係スルコト頗ル著大ナリ。先ツ第一ニ

知力ノ材料ハ都ヘテ外物ヨリ感覺ヲ通シテ來ル所ナリ。感覺ニ來ル者ニハ時間ト空間トノ干係アリ電光眼ヲ擊テテ后ニ雷鳴耳ヲ擊テテ此ノ前後ヨリ時間ノ念ヲ生シ從ヒテ原因結果ノ觀念ヲモ發生ス。山ハ上ニ聳テ水ハ下ニ流ル花ハ梢上ニ開キテ葉ハ地上ニ落ツ斯様ニ存在スル場所ノ關係ヲ異ニスルヨリシテ自空間ノ觀念ヲ生シ來ル。其ノ他感情ニ附キテモ意志ニ附キテモ吾人ノ心意ヲ見ルニ甚ダ外方ノ圍繞物ト關係セリ。其レ然リ而シテ同時ニ生シ同一ニ長シ同一ニ教育セラレタル者ニシテ猶ホ且甚ダ異リタル心性ヲ成ス者アルハ如何是レ其ノ心

性ノ異リタルガ故ナリ。

サレバ心意ノ全体ノ發達ノ元素ヲ尋ヌルニ其ノ品目ニ數多アルベシト雖モ便宜ノ爲メ之レヲ類別スレハ先ツ内外ノ二要素ニ區別スベシ。

內要素。 ニハ (一) 心意基礎的ノ能力アリ。光音觸等ノ外衝物ニ對スル感受性

契合異類ノ基礎的ノ知力及感情意志ノ基礎的ノ能力並ニ心意ノ把住性等是レ基礎的ノ能力ナリ。此レ等ノ基礎的ノ能力ハ始原ヨリ存在スルモノニシテ化學ノ元素ノ如ク其ノ上ニ分解ヲ試ミルコト能ハサル者ナリ。此ノ基礎的ノ心能ハ萬人ニ通シテ存在スル所ナレドモ其ノ外ニ人々格段ニ存スル所ノ (二) 先天ノ特性アリ。人々思考シ感激シ又動作スルニ他人ト異リテ飽マデ一個人ノ性ヲ存セルアリ。是レ多少先天ノ特性ヲ異ニスルカ故ニアラズシテ何ツヤ。此ノ先天ノ特性トハ教育以外即チ先天ニ稟有スル所ノ性ト父祖ノ性ヲ遺傳セシ所トヲ總括シタル者ナリ。此ノ天受ノ性ハ必スシモ發達ノ初期ヨリ現ハレ來ルニアラス其レハ、心意能開展ノ時期ニ從ヒテ漸次現出シ來ル者トス。例ヘハ思考力ニ天受ノ特性アル者ハ其ノ生長シテ思考力ノ漸ク發達シ來ル時ニ現ハレ高等ナル意志ニ天受ノ特

性アル者ハ高等意志ノ漸ク發達シ來レル時ニ現ハレ又其ノ父祖カ中年ニ得タル所ヲ遺傳セル者ハ中年ニ至リテ現ハレ老年ニ得タル所ハ老年ニ至リテ現ハレ來ル者ナリ。

外要素。 心意ノ發達ニハ又外方ノ働キアルヲ要ス。而シテ其ノ種目ハ數多アルベシト雖モ之レヲ分チテ二種ト爲ス。自然界ノ圍繞物及ヒ社會的の人事ノ圍繞物是レナリ。

吾人ハ先ツ感覺知覺ニ依リテ知識ヲ得斯ク得タル所ノ知識ヲ以テ想像判斷推理シ又感情ヲ生シ企望ヲ起スコナレハ外物ノ心意發達ニ關係スル所甚ク著明ナルハ多言ヲ要セザルモ先輩ノ文ヲ借リテ其ノ甚ク顯著ナル所以ヲ述ヘン。近世博物學ノ大家アガシー氏ノ幼時自然ノ風景ニ薰化セラレタル狀況ヲ記セル教授ク
ルソー氏ノ言ニ曰ク。西方ヲ望メハマジュラノ山峯斷々トシ聯リ青野アリ綠林アリ斷岸秃山永ク參差シテ盡クル所ナク山嶺ヨリ望下スレハ清靜ノ湖アリ南ニ向ヘハ廣山峯無量ノ變化ヲ備ヘ眼界終ル所白雪皚々タルアルプス山アリ嶮嶮トシテ聳フル者ヲフランク峯ト爲ス。氏ハ此ノ山水ノ間ニ生レ幼時ヨリ或ハ湖水ニ

船ヲ浮ベ或ハ山陵ニ蝶ヲ逐ヒ博物ニ對シテ自然ニ得ル所實ニ夥シク氏ガ始メテ學校ニ出テタルハ十一歳ノ時ナリシガ此ノ時既ニ湖水ニ在ル生物ノ名稱形狀習性ハ都ヘテ之ノヲ知了セリト云フ。以テ其ノ后ニ博物ノ大家タル偶然ニアラサルヲ知ルヘシ。

社會的の人事ノ圍繞物トハ該社會ノ風俗習慣一切ノ事ヲ總稱シタル者ニシテ其ノ内ニ生活スル所ノ者ノ上ニ働キテ之レヲ涵養スルノ勢力甚ク著大ナリ。此ノ圍繞物ハ大ニ道德的ニ勢力ヲ有シテ兒童ガ言語應對ノ始メヨリ交際ノ法善惡ノ思想及ヒ操行等之レヲ父母兄弟朋友鄉黨ノ交際間ニ得ル所甚ク多シ。若シ此ノ交際ナカリセハ如何ニ其ノ身体ハ強壯健康ナルモ其ノ心意ノ發達ハ誠ニ微々タル者タルヲ免ルベカラズ。彼レ等兒童ノ知力ハ斷ヘサル交際ヨリ得タル所アリ談話書籍等ヨリ得タル所アリ彼レ等兒童ノ感情ハ社交的ノ感想ヨリ喚發セラレ且發生シタル者アリ彼レ等兒童ノ意志ハ其ノ父兄教師等先輩ノ日常爲ス所ヲ習ヒテ生長シタル所アリ。生長シテ壯夫ト爲リ政事上ニ宗教上ニ道德上ニ又ハ學問上等ニ見識ヲ備ヘ意見ヲ懷クニ至ルモ此ノ人事圍繞物ノ刺撃シタル結果タル者

頗ル多シ。
 社會的人事ノ圍繞物ノ内ニモ無意ニシテ自然ニ發達ニ資スル者アリ又有意故造ニ發達ヲ目的トシテ働ク者アリ。其ノ風俗習慣ノ内ニ在リテ自之レニ感シ其ノ風俗習慣ニ感化スル者ハ是レ無意ナリ。尤輩ト交際ノ間ニ自其ノ風彩ヲ感シ知ラス識ラスノ間ニ之レニ感化セラル、者モ亦無意ノ働キナリ。父母ガ子ヲ教ヘ教師ガ生徒ヲ導キ僧侶ガ信徒ヲ説ク等ノ勢力ハ是レ有心故造ノ働キナリ。此ノ有心無意ノ働キハ知力感情意志ノ三者ニ同シク働キテ何レモ之レヲ發達セシム。社會外ニ在リテ人事圍繞物ノ感化作用ヲ受ケザリシ者ノ心力ノ發達セザルヲ証スルニ有名ナル一例話アリ。一千八百二十七年ノ事ナリキチルンベルグ國ニ突然十六歳許ナラント思ハル、一少年顯ハレ來レリシガ談話ヲ知ラズ赤兒ノ如ク無智ニシテ身体ノ發達頗ル薄弱ナリ手ニ一書ヲ携ヘタレハ之レヲ開キ見ルニ其ノ履歷ヲ略記セリ。警察官モコレヲ如何トモ爲スヘキ方ヲ知ラザレハ先ヅ無宿ノ流浪トシテ警護シタルニ彼レハ玩具繪畫等ヲ以テ喜ビ遊ビ戯ル、ト恰モ小兒ト異ナラズ漸時談話ヲ習ヒ覺エテ自其ノ履歷ヲ談スルニ彼レハ今迄地中ノ穴

ニ生長シタリ常ニ穴中ニ起居シテ晝夜ノ別ヲ知ラズ固トヨリ未ダ人ニ遭會シタルヲナシ。頃日人來リテ歩ムヲ教ヘ少シク歩ミ習ヒテヨリ當チルンベルグ市ニ來リシニ彼ノ人ハ一書ヲ與ヘテ去リシガ其ノ行衛ヲ知ラズ云々ト答ヘタリ。此ノ少年ヲホースパル、ギヤスペルト名ケテ爾后奇怪ノ一談話ト成リシカ人間社會ノ以外ニ生長シテ心意ノ發達ヲ爲サザルヲ概テ斯ノ如シ。借テ斯ク内外兩要素ニ依リテ心意發達ノ方針ヲ定ムル者トセハ其ノ要素ノ異ナルニ從ヒテ心意發達ノ結果ヲ同クセズシテ所謂十人集レハ十色ナリト云フ諺ノ實際ヲ現ハスヲ固トヨリ當然ナリ。

第五章 注意

注意力ハ萬般ノ心能ニ關係シテ恰モ其ノ指揮者タルノ位置ニ立ツカ故ニ今世ノ學者ハ皆心能ノ第一ニ之レヲ論スルナリ。感覺モ注意力ノ指揮スルニアラサレハ其ノ働キヲ充分ナラシメス知覺モ想像モ判斷推理ノ諸力並ニ意志ノ諸力モ注意ノ働キニ依リテ指揮セラレ而シテ后其ノ全キヲ致スナリ。注意力ハ學者ニ依

リテ種々其ノ定義ヲ下サレタリ。先大凡ニ之レカ定義ヲ下シテ一時心ニ現ハレ
來ル或ル物体ニ自心ヲ注射スル働キナリト謂フヲ得ベシ。

注意力ノ解説。猶ホ注意力ノ働キヲ分解スルニ其ノ中ニハ三様ノ作用ヲ包
含セリ。心力凝聚、心力轉換、心力指揮是レナリ。

吾人ガ物体ヲ視ル時ハ吾人ノ心ハ盡ク該物体ニ集リテ吾カ心ハ觀察ノ外何ニ物
モナキガ如シ吾人カ道理ヲ考フル時ハ吾人ノ心ハ盡ク該道理ノ上ニ凝集セラレ
推理ノ外ニ何ニ者モナキガ如シ。吾人カ思慮考案ニ吸収セラレ、時ハ吾カ心ハ
盡ク該思慮考案ノ上ニ集マリテ其ノ他ニ働キナキガ如シ。斯様ニ心ノ働キ凝集
スルハ注意力ノ作用ニシテ此ノ凝集ニ依リテ吾カ心ノ働キノ實効ヲ奏スルヲ得
ルナリ。專心一意ト云フノ何ノ事業ニモ必要ナルカ是レテ或ル意味ヨリ見レ
バ注意ヲ凝聚シタル態度タルニ外ナラズ亦以テ注意ノ必要ナルヲ明ニスベシ。
心力凝集ノ他ニ注意力ハ心力ノ指揮者ナルナリ。吾レ物体ヲ視ント欲セハ吾カ
視力ヲ該物体ノ上ニ注カサルヘカラス吾レ音ヲ聞カント欲セハ吾カ聽力ヲ該音
響ノ上ニ注カサルヘカラス吾レ事物ノ關係眞理ヲ推究セント欲セハ吾カ道理力

ヲ該事物眞理ノ上ニ注カサルベカラス。斯様ニ吾カ欲スル所ノ目的ニ向ケ其レ
々々ノ能力ヲ差シ向クルハ即チ注意力ノ一作用ニシテ是レ即チ注意力ノ指揮者
タル所以ナルナリ。其ノ當該心能ヲ指揮シテ目的ニ向ハシムル有様ハ恰モ將軍
カ其ノ兵隊ヲ指揮シテ所々ノ咽喉ニ向ハシムルト異ナルヲナシ。

注意力ハ其ノ他ニ心ノ作用ヲ變換スル働キヲ有セリ。此ノ働キハ指揮ノ働キノ
内ニ容ルレハ容ル、ヲ得ヘケレドモ暫ラク之レヲ分別シテ考フル方反リテ便利
ナリ。今ヤ吾レハ吾カ心ヲ物体觀察ノ上ニ凝集スルニ其ノ間ハ觀察ノ他ニ吾カ
心ヲキカ如シ。然レトモ若シ一物ニ凝集シタラシク之レヲ散シ之レヲ新ニスル
ヲ得サルヲナラシムルハ必ス遂ニ何ニ事ヲモ爲スヲ能ハサルナラシム。心ノ働キ
ハ斯クノ如ク究窟ナル者ニアラス物体觀察ノ上ニ凝集シタル者モ之レヲ轉シテ
想像ノ上ニ凝集スルヲ得ルヘク又一タヒ想像ノ上ニ凝集シタル者モ更ニ之レ
ヲ轉シテ推理ノ上ニ凝集スルヲ得ヘシ。斯様ニ心ノ働キヲ轉換シテ向フ所ヲ
改メシムルハ注意力ノ一作用ニシテ其ノ狀恰モ將軍カ西方ニ向ハシメタル兵隊
ニ命ヲ下シテ更ニ東方ニ進行セシムルカ如シ。

以上解説スル所ヲ以テ見レハ注意力ハ知力ヲ支配スル所ノ意志ナリト謂フモ可ナルガ如シ吾人が観察シ想像シ又思考スルハ知力ノ働キナリ而シテ観察ノ力想像ノ力思考ノ力ヲ凝集シテ之レヲシテ活動セシムルハ注意力ノ働ナリ。意志ハ一切ノ活動ヲ支配スル力ナレバ知力ノ活動ヲ支配スルモ亦一ノ意志ナルナリ。故ニ注意力ハ亦意志ノ一作用ナリト見テ可ナリ。之レヲ意志ノ一作用ト見ル以上ハ注意力ハ即チ殊ニ知力ノ働キ指揮スル所ノ意志ナリト謂ハサルヲ得ズ。故ニ近世心理學者ノ中ニハ注意力ノ性質ヲ論シテ知力ノ上ニ働ク所ノ意志ナリト謂ヘル者アルヲ致ス。

注意ノ目的。 吾人ノ心力ガ外方ノ者ニ向ヒテ凝集スル時ハ之レヲ外方注意ト云フ。例ヘバ物体ヲ觀察シ音響ヲ傾聽スル等ノ如シ。又吾人ノ心ガ主トシテ心意ノ内界ニ向ヒテ發射シ凝集スル時ハ之レヲ内方注意ト云フ。例ヘバ想像シ思考スル等ノ如シ。内外両方ノ注意ハ必スシモ常ニ分別スルニアラス相混合スルヲアルナリ。例ヘバ音樂ヲ聽キ之レヲ以前ニ聽キタル音樂ト比較シ其ノ得失ヲ考察スル等ノ際ニハ内外ノ注意互ニ相混合融和シテ働クカ如シ。

内外ノ何レニ向フ所ノ心力ニテモ充分ニ注意力ノ指揮ヲ受ケテ凝集セラルトニアラサレバ其ノ効果ヲ顯著ナラシムルヲ能ハス。注意ヲ以テ凝集セラレタル知覺ヲ以テ働クカ故ニ聽キテ明瞭ニ見テ精密ナルヲ得ルナリ。注意力ヲ以テ凝集セラレタル想像力思考力ヲ以テ働クカ故ニ想像思考ノ精密ニ確實ナルヲ得ルナリ。是レ獨リ知力ニ於テ在ルノミナラス又情緒意志ヲモ支配スル所ノ道理ナリ。苦樂ノ感情モ吾人カ之レニ注意スルノ厚薄ニ依リテ強弱アルヲ致サシム。随分激シキ苦痛モ之レニ注意セサルニ依リテ其ノ苦痛ヲ輕減スルヲ得ベシ。例ヘハ頻ニ或ル事ニ心ヲ注キ居ル間ニ傷ヲ負ヘルモ左程ニ感セヌ後ニ其事ヲ卒ヘテ之レヨリ注意ヲ去リテ更ニ注意ヲ負傷ニ向ハシムルニ於テ恰モ突然苦痛ヲ感シ來ルガ如キヲアリ。兵士ノ戰場ニ於テ受ケタル負傷或ハ兒童カ正ニ遊戯ニ吸取セラレ居ル際ニ得タル負傷等ハ當時左程ニ感セヌ后ニ至リテ甚シク苦ヲ覺ユ。是レ注意ノ負傷ニ向ハサルガ故ニ感スルヲ少キナリ。又吾人ノ行爲動作ハ全ク注意ノ有無如何ニ依リテ決定セラルト云フモ可ナリ。呆然トシテ爲シタル事ハ成就スルヲ得ス。恍惚タルハ殆ント意志ナキ者ナリ呆然恍惚共

ニ注意スル所ナキノ体裁ナリ。注意ノ及フ所ハ如何。注意ハ一事物ノ上ニ專心力ヲ凝集スルヲナルガ其ノ際ノ注意力ノ及フ所ノ廣狹ハ如何ト云フニ心モ亦入り込ムヘカラサルノ性ヲ以テ支配セラル、者ニシテ同時ニ數多ノ者ニ向ヒテ注意ヲ凝集スルヲ能ハス。然レトモ注意ノ及フ所ノ範圍ハ隨分廣キニ至ルヲ得ルナリ。今繪畫ヲ視ルニ今ハ一点一線ノ微細ナル所ニ注意スルモ忽チ變シテハ其ノ全体ニ注意シ猶ホ又同時ニ判斷推理等ノ作用ヲ喚起シツ、アルナリ。心ノ働キモ物理ノ道理ト同シク入込ムヘカラサルノ性ヲ以テ支配セラル、ヲナレバ同時ニ二個以上ノ働キ共存セシムルヲ能ハス然レトモ心ノ注意ノ物ヨリ物ニ遷ル其ノ迅速ナルヲ實ニ驚クヘキ程ニテ普通ノ心ヲ以テ見レハ其ノ狀恰モ同時ニ數多ノ者ニ注意セル者ノ如シ。聰明ヲ以テ聞エタル厥后ノ皇子ハ一時ニ十人ノ訴訟ヲ聞キ取テ之レヲ混雜スルヲナカリシト云ヘリ。是レ外見ハ一時ニ十人ノ言ヲ聞キタルガ如クナルモ心理學上ノ眼ヲ以テ見レハ同時ニ之レヲ聽キタルニアラス十人ノ陳述スル所ヲ皇子ノ英敏ナル心ハ迅速ニ聽キ遷リテ漏スヲナク其ノ品分ケヲ誤ラサリシニ在リシナリ。

注意ノ強弱。 人ニ依リ又事ニ依リテ驚クヘキ程ニ注意ノ強弱ニ差等ノ在ル者ナリ。或ル人ハ注意綿密周到ナレドモ或ル人ハ甚タ粗忽極マレリ。又或ル事

ニハ頗ル注意ヲ喚起セラレ且又強ク凝集スルモ或ル事ニ向テハ注意甚タ薄弱ナリ。其ノ強弱ニ著シキ差等アルハ主トシテ下ノ二條ヨリ來ル。其ノ第一ハ其ノ當時ニ於テ發射シ得ヘキ氣力ノ多少ニ依リ其ノ第二ハ吾カ注意ヲ喚起スル所ノ衝動ノ強弱ニ依ル。身体強壯ニシテ氣力盛熾ナル者ハ都テ心力強健ニシテ其ノ注意力モ亦頗ル強健ナリ。氣力ノ強熾ナル者ニ在リテハ少許ノ衝動ニテ注意ヲ喚起スルニ足リ健康屈強ナル兒童ニ於テハ些少ノ事モ其ノ注意ヲ喚起スルニ足ルモ老衰ノ老人ニハ頗ル強キ衝動ニアラサレハ之レヲ喚起スルニ足ラズ。

注意ノ衝動。 情ヲ注意ヲ喚起スヘキ衝動ノ種類ヲ考フルニ吾カ心意ノ内ニ原因ヲ生スル者ト身体ノ外ニ其ノ原因ヲ有スルモノトアリ。外界ノ衝動トハ事物其ノ物或ハ其ノ伴隨スル者ニ存スル興味若クハ著明ナル事情アリテ之レカ爲メ心ヲ吸着スルニ足ル者ヲ云フ。例ヘバ音響ノ耳ヲ擊チ或ハ光線ノ眼ニ映シテ吾カ心ヲ吸着スルカ如シ。内界ノ衝動トハ吾カ心中ニ起ル所ノ情念或ハ企望等

ヨリシテ心ヲ一方ニ凝集スルヲ云フ。例へハ課業ニ出精セントノ企望ヨリ書籍ニ向ヒテ其ノ心ヲ凝集スルガ如シ。

吾レニ元來注意凝集ノ意ナキモ外方ノ衝動ノ爲メニ偶然吾カ心ヲ喚發セラル、ヲ無意ノ注意ト云フ。突然光閃ニ遭ヒテ思ハス之レニ心ヲ吸収セラル、ガ如キ是レナリ。之レニ反シテ吾心ノ中既ニ意志ヲ以テ觀察シ或ハ研究セントシテ心ヲ凝集スルハ是レ眞ノ注意ニシテ之レヲ有意ノ注意ト云フ。此ノ二様ノ注意ハ明ニ區別セラルヘシ幼稚ノ時ノ注意ハ無意ノ注意多クシテ中年以後ニハ有意ノ注意多シ。

幼稚ニ無意ノ注意多キハ其ノ身体心意トモ氣力強健ナルヲ以テ衝動ニ應スルノ頗ル容易ナルニ依ル。幼兒カ些少ナル事ニ遇ヒテモ其ノ注意ヲ喚起セラレ且ツ働キテ而シテ愉快ヲ感スルヲ以テ見ルヘシ。老年ニ至レハ其ノ氣力消耗シ幼稚ノ者ニ對スル衝動ニ比スレハ頗ル大ナル者ニ遇フモ猶ホ且其ノ注意ヲ喚起セラレ、トナキナリ。

衝動ノ分量及性質。

衝動ニ強弱アリテ其ノ強キ者ハ大ニ注意ヲ喚起シ

其ノ弱キ者ハ注意ヲ喚起スルノ薄シ之レヲ衝動ノ分量強弱ト云フ。赫々タル光ハ微々タル光ヨリモ衝動スルノ激シク明ニ心ニ映寫スル映象ハ弱キ映象ヨリモ激シク衝動ス又衝動ノ分量ハ其ノ時間ノ長短ニモ關係アル者ナリ元來微弱ニテ僅ニ終ル時ハ心ヲ喚起スルニ至ラサル衝動ニテモ長ク繼續スルキハ注意ヲ喚起スルニ足ル。心中ニ起ル映象ハ兎角充分ノ注意ヲ喚起スルノナキハ其ノ消散シ易キニ依ルナリ。

衝動ノ注意ヲ起シ易キト起シ易カラサルトハ一ニ其ノ分量ノ多寡ニ關係スルノミニアラズ亦其ノ性質ニ關係スルノ大ナリ。此ニ性質ト云ヘルハ快樂苦痛若クハ中性等ノ性質ナリ。其ノ快樂ナルモノノ注意ヲ喚起シ易キハ強キニ其ノ強弱ノミニ關係セズ。快樂ニシテ衝動ノ強甚ナル者ハ勿論大ナル衝動タルヘキモ衝動ノ左マテニ甚シカラサル者ニテモ大ニ注意ヲ喚起スル者アリ。頗ル低キ音ニテモ愉快ナル者ハ注意ヲ喚起スルノ著シキガ如シ。苦痛ナル衝動ハ其ノ苦痛ナルカ故ニ鋭急ニ感シテ大ニ注意ヲ喚起スルノアルナリ。恐怖スベキ者ノ現出ニ會ヒテ甚シク注意ヲ喚發セラル、ハ人ノ常ニ實驗スル所ナルベシ。快樂ニモア

ラス苦痛ニモアラサル中性ノ衝動ハ注意ヲ喚起スルノ効頗ル薄シ。
 興味ト注意トハ殆ント同物ノ表裏ヲ見タル者ト云ヒテ可ナリ。教育ハ興味ヲ以
 テ兒童ノ注意ヲ保確セサルヘカラスト云ヒ或ハ興味アル者ハ最モ注意ヲ引着ス
 ル者ナリト云フカ如キ興味ト注意トハ常ニ相伴フ者ナリ。興味トハ格斷ニ吾カ
 好ニ投シ吾ガ習慣ニ合シ爲メニ愉快ヲ感シ爲メニ注意ヲ凝集セシムル者ナリ。
 以上衝動ノ強弱ノ多寡及ヒ其ノ性質ニ依リテ注意ヲ喚起スルニ厚薄ノ程度アル
 ノ外ニ衝動ノ變化ハ大ニ注意ニ關係スル者アルナリ。是レ所謂變化ノ興味ニテ
 變化ノ鋭急ナル程注意ヲ喚起スルコトモ從ヒテ鋭急ナリ。此ノ理ハ其ノ反對ノ
 場合ヲ考ヘテ變化ナキ一様ノ衝動ノ更ラニ注意ヲ喚發スルコトナキヲ以テ見レ
 ハ明ナルベシ。始メテ花ヲ見タル時ハ如何ニモ注意ヲ引着セラレタルモ長キ日
 ニ曠リテ漸ク其ノ衝動ノ力ヲ失ヒタル時ハ百花爛熳ノ中ニ在リナカラ、注意ヲ引
 着セラレ、^一甚々微弱ナリ。
 注意凝集ノ度合ハ衝動ノ強弱長短ニ依リ又興味ノ厚薄如何ニ依リテ異ナル^一前
 ニ演ヘタル所ノ如シト雖モ又大ニ意志ノ協力ニ關係セリ。意志ハ内方衝動ノ供

給者ニシテ元來内方ノ衝動ハ外方ノ衝動ニ相對比スレハ甚々強カラサル者ナレ
 ドモ意志ノ働キヲ以テ強テ注意ヲ發射セシムル^一ヲ得ルナリ。即チ外方ニ強キ
 衝動アルニ拘ハラス故ラニ之レヲ去リテ其ノ弱者ニ向ハシムルカ如キ是レ意志
 ノ作用ナリ。故ニ外方衝動ノ爲メニ起ル注意ヲ無意ニ吸着セラレ、所ノ注意ト
 曰ハ、意志ノ働キヲ以テ起ス所ノ注意ヲ有心故意ノ注意ト云フヘシ。數多ノ者
 ノ混雜散列スル其ノ中ニ就キテ特ニ某一事物ヲ撰拔シテ之レニ注意スルカ如キ
 ハ即チ有心故意ノ注意ナリ。
 斯ク意志カ注意ヲ及ホス所ノ勢力ノ度合ハ如何ト云フニ自ラ限リノ在ル者ニテ
 如何ニ意志ノ力ヲ以テスルモ全ク外方ノ衝動ナク又興味ナキ者ニ向ヒテ注意ス
 ル^一ハ甚々難ク假ヒ強テ之レヲ爲スモ決シテ長キニ繼續シ得ヘカラス。注意ノ
 力ハ心力ヲ指揮シテ傾向セシムルヲ得ルモ其ノ心力ヲ事物ト凝着シテ離レサラ
 シムル^一能ハス。見ヨ兒童ノ倦怠セル者ニ向ヒテ如何ニ嚴重ニ其ノ注意ヲ督責
 スルモ毫モ其ノ効ヲ見ル^一能ハザルヲ。
 然レドモ全ク注意ヲ放置シテ自然ニ一任^レ去ル時ハ充分ナル効果ヲ奏シ得ヘカ

ラス。殊ニ幼稚ノ者ニ向ヒテハ督責シテ以テ其ノ注意ヲ保確セサルヘカラス。然レドモ寧ロ兒童彼レ自身ヲシテ努力以テ已レノ注意ヲ保確セシムルヲ要ス。若シ此ノ要意ヲ誤リテ單ニ其ノ注意ヲ責ムルモ且テ其ノ効アルベカラズ。彼レ自身ノ努力ヲ以テ注意ヲ保確セシムルト單ニ外方ノ督責ヲ加フルトノ間ニ大ニシテ且緊要ナル差異アルヲ知ラハ之レヲ實行スル所ノ手段ニ至リテモ亦大ニ異ナル所アルヲ知ルヘキナリ。

注意ノ調節。 若シ外界ノ事物或ハ内界ノ思想ノ甚ダ速ニ往來スル時ハ注意ヲ凝集スルノ頗ル難シ又突然強盛ナル衝動ノ心ヲ打チ來ル時ハ一時混雜ヲ醸スヲ免レズ。此レ等ノ事ヨリシテ推考スレハ一時心ノ擊動ヲ鎮靜シテ適當ナル所ニ向ヒテ注意ヲ凝集スルノ餘地アラシムルノ頗ル緊要ナル場合アリ。斯クノ如キニ注意ノ調節ト云フ。此ノ調節ニ要スル時間ハアラユル場合ニ於テ同一ナラス。外方ノ事物ノ衝動ノ強弱及ヒ當時情緒ノ如何ニ屬スル者ニシテ概シテ之レヲ謂フ時ハ衝動ノ強キ者ニ向ヒテ調節スルハ温和ナル者ニ向ヒテ調節スルヨリモ大ナル努力ヲ要スルナリ。而シテ衝動ノ甚タ微弱ナル者ハ之レヲシテ注意ノ

目的物ヲラシムルマテニハ又大ナル努力ヲ要スルナリ。故ニ最モ容易ニ注意ヲ凝集セシムル者ハ温和ナル衝動ト爲ス。

其ノ外當物正ニ事物ニ心意ヲ凝集シツ、アル時ハ他ニ向ヒテ之レヲ凝集スルノ容易ナルモ現在別段ニ凝集シアラサル心意ヲ新ニ調節スルニハ多少ノ努力ヲ要スルナリ。要スルニ感覺セル心意ハ凝集シ易キモ睡眠セル注意ハ頗ル凝集シ難シ。殊ニ現在凝集シツ、アル所ノ者ト類似ノ者及ヒ相關係セル者ニ向ヒテ轉換スルハ容易ナラズ。

未ダ注意スヘキ者ノ吾カ心ニ衝動シ來ラサル以前ニ於テ注意ヲ凝集スル時ハ之レヲ豫想ト云フ。心ニ豫想アル時ハ衝動ヲ感受シ並ニ之レヲ認識スル働キヲ減少スルヲ得ルナリ。

注意力ノ生長。 幼稚ノ時代ノ注意ハ無意的即チ反射的注意ニシテ外界ノ衝動ニ慣レテ漸ク活動ニ熟スルニ及ヒテ注意ノ能力ハ從ヒテ強キヲ致シ微少ナル衝動ニモ注意ヲ喚起スルヲ得ルニ至ルヘシ。猶ホ進ミテ未ダ曾テ興味ヲ有セザリシ所ノ者ニ向ヒテモ漸ク興味ヲ發生シ更ニ自賞ノ情等感情ノ發達スルニ至

リテ興味ノ範圍モ廣ク又深キヲ致ス。
 斯クテ興味ヲ發達スルニ從ヒテ自ラ努力注意スルノ力ヲ發生シ初メニハ大ニ務
 マテ凝集シタル注意モ后ニハ容易ニ凝集セラルヘク從ヒテ層一層ニ困難ナル業
 務ニ從フヲ得ルニ至ル可シ。
 有心故意ノ注意ハ習慣ヲ以テ成就スルヲ得ル者ト爲ス。是レ再々反覆シタル
 結果トシテ養成シタル某ノ物ニ對スル心ノ傾向及ヒ之レニ從事スルノ利便ヲ發
 達シタルノ結果ナリ。其ノ初ニ於テハ鞭撻獎勵ニ依テ辛ラクモ心意ヲ凝集シ得
 タルヲナレバ其ノ鞭撻獎勵ノ去ルト同時ニ元トノ不注意放散ノ有様ニ立チ戻リ
 テ己レ自身ニ注意ヲ凝集スルヲ甚ク出來難カリシモ漸ク注意ノ性ヲ習慣ニ成就
 スルヤ長ク其ノ凝集ヲ持續スルヲ得ルニ至ルベシ。
 注意凝集ノ有様ハ人々大ニ異ナル者ニシテ或ハ初メテ注意スルニハ容易ナラサ
 ルモ一たび注意シタル以上ハ長ク且深ク之レカ凝集ヲ持續スルヲ得ル人アリ
 又ハ初ヨリ誠ニ容易迅速ニ注意ヲ活動セシムルモ甚ク粗忽ニシテ欠漏ノ多キ人
 アリ。是レ等ハ即チ人物ノ差異ヲ發表スル所ノ一点ナリ。

同級同年ノ數多ノ兒童ニ附キテ觀察スルニ其ノ性來ニモ體質ニモ差等ノ在ルヲ
 ナルヘケレトモ其ノ課業ノ出來不出來其ノ理解ノ難易ハ其ノ注意ノ如何ニ關係
 スルヲ頗ル大ナルヲ見ル。兒童カ問題ニ向ヒテ誤謬ノ答ヲ提出スルハ眞ニ之レ
 ヲ解シ得ス其ノ知力ニ及ハサル所ヨリ來ルハ甚ク少クシテ多クハ注意ノ充分ナ
 ラズシテ所謂過失ヲ爲スヨリ來レルガ如シ。大人ニ於テモ同様ニシテ過失多ク
 シテ萬事粗忽ナル者ハ其ノ注意ノ足ラサルニ原因ス。是レ元來注意ノ不足ニハ
 アラサルモ努力シテ注意ヲ綿密ニスルノ習練ヲ欠キ遂ニ注意凝集ノ習慣ヲ養成
 發達セザリシガ故ニ大人ニ及ビテ俄ニ注意ヲ綿密ニセントスルモ能ハサルニ原
 因ス。文明人ト野蠻人トノ大ナル心意上ノ區別ハ其ノ注意ノ發達セルト發達セ
 サルトニ在リト云フ程ナレバ是レ人物教育ノ上ニ最モ留意スヘキ所ナリ。
 サレハ兒童ノ幼稚ヨリ早ク注意凝集ノ習慣ヲ養成セサルヘカラス。之レヲ養成
 スルニ於テモ單ニ機械的ニ督責シテ其ノ興味ノ有無ヲ問ハス妄リニ之レヲ鞭撻
 スルハ毫モ其ノ効アルヘカラス。故ニ兒童ノ發達殊ニ其ノ興味ノ發達ノ度合ニ
 應シテ適當ナル者ヲ課シ漸次歩ヲ進メテ故意ノ注意ヲ凝集スヘキ者ニ及フ可シ。

此ノ主義ニ依リテ學校ノ課程ヲ定ムル時ハ下級ニ至ル程其ノ日課ハ成ルヘク短時間ニ分割シ且各時間殊ニ休息シ漸ク進ミテ故意ノ注意ヲ凝集スルノ力ヲ發達シ來ル所ニテ其ノ時間ヲ長クシ休息ノ度數ヲ減スベキナリ。

第六章 感覺

感覺ハ一切智識ノ根原ニシテ都ヘテノ智識想像推理ノ作用悉ク其ノ原因ヲ感覺ニ發セサルハナシ。最モ概括シタル智識例ヘハ勢力物体正邪等ノ概念モ之レヲ分解スレハ其ノ元素ハ全ク感覺ヨリ出テタルナリ。吾人ノ智識ハ實ニ感覺ニ其ノ元素ヲ有セサルコトナク又感覺外ニ成立シタル智識ハアラサルナリ。故ニ若シ一感ヲ欠ク時ハ該感覺ニ屬スル丈ノ所ニ於テ吾人ノ智識ハ欠亡セサルヲ得ス。例ヘハ聲ニノ聽覺ヲ欠クトハ其ノ思想中ニハ音ニ關スル元素ナク旨ニシテ光色ノ感覺ヲ欠ク時ハ其ノ思想中ニ光色ノ念ハアリ得ベカラズ。之レヲ以テ推ストキハ若シ吾人ニ或ル他ノ一感ヲ加ヘ來ラハ吾人ノ智識ハ之レニ關スル丈ノ範圍ニ於テ廣キヲ加フルコト疑ナシ。犬ガ吾人人類ノ感シ得サル程ノ微少ナル臭氣ヲ

感シ得ル程ニ銳敏ナル嗅覺ヲ有シテ數里隔テタル所コアル鼠ノ臭氣ヲ嗅クカ如キ又猛禽類ノ視覺ノ銳敏ニシテ遙ニ雲際ニ居リナカラ池中ノ魚ヲ見ルカ如キ或ハ又牛馬ノ類カ牧場ニ在リテ決シテ有毒ノ殖物ヲ食セサル等ノ事ヲ考ヘ來ラハ吾人カ感覺ニ一感ヲ増サハ其ノ結果如何ナランカ大凡ニ想像シ得ラルベシ。
感覺ノ解拆及定義。 感覺ハ通常心意作用ノ最モ單簡ナル元素的ノ作用ト爲スト雖モ必スシモ此ノ上ニ猶ホ分解シ得ヘカラサル者ト決定スルコト得サルカ如シ。吾人ハ實ニ未タ此ノ如クニ感覺ヲ分解スヘシト云フコト得スト雖モ亦猶ホ其ノ内ニ一層下等ナル元素ナシト斷言スルヲ得ス。然レモ吾人カ心意ノ現象中ニ就キテハ感覺コソ最モ單簡ナルヲ以テ通常此ノ上ニ分解スヘカラサル元素ト爲ス程ナレハ猶ホ之レヲ分拆シテ單簡ナル言語ヲ以テ其ノ成立ヲ定述スルコト能ハス。吾人ハ實ニ之レヲ定述スルニ言語ヲ有セサルナリ。試ニ甘トハ何ゾ赤トハ何ゾ音トハ何ゾ冷トハ何ゾト問ヒ起サンニ誰レトテ其ノ何ナルヲ說述スルコト得ル者ハアラザラベシ。甘ハ甘ナリ苦ハ苦ナリ赤ハ赤ナリ音ハ音ナリ冷ハ冷ナリト謂フノ外アルベカラズ。其ノ他何レノ感覺ニ於テモ同様ナラザルハ

ナシ。汝ガ物ニ遇ヒテ感セシ所ヲ甘苦赤音冷ナリト云フ。吾レ感シテ而シテ亦甘苦赤冷音ト稱スル所アリ此レ果シテ汝ガ感スル所ト同シキカ同シカラサルカ吾レモ汝モ之レヲ明言スルヲ能ハス然レモ汝ガ暫ク之レヲ吾レニ語ルニ甘苦赤音冷等ノ語ヲ以テス吾レモ亦汝ニ語ルニ此ノ語ヲ以テスト云フノ外アラサルナリ。故ニ通常感覺ノ定義ヲ下シテ曰ク感覺トハ感覺神經ノ末端ニ來ル刺激或ハ衝動ヨリ生スル所ノ單純ナル心意ノ状態ナリト。觸覺神經ノ末端ヲ刺激シテ觸感ヲ生シ視神經ノ末端ヲ衝動シテ視感ヲ生スルカ如シ。サレド神經ヲ刺激シタリトテ其ノ神經中樞トノ連絡ナキ時ハ毫モ感覺ヲ生スルヲナキカ故ニ神經末端ニ來ル衝動カ果シテ感覺ト成ラノニハ其ノ衝動ハ是非トモ腦髓ノ中樞迄運輸セラレサルベカラス。其ノ中樞ニ至リテ始メテ感覺ヲ生スルナリ。又神經ノ末端ニハ些ノ衝動ナクシテ感覺ヲ生スルヲアリ是レ疾病ノ時ニ往々驗驗スル所ニシテ病床ニ在リテ音ナキニ音ヲ聽キ光ナキニ光ヲ視ルカ如キ是レナリ。吾人ノ身体ニハ種々ノ感覺ヲ受ク可キ感受性ヲ有セリ。而シテ其ノ感受性ハ要スルニ特別ニ感覺ヲ感受スヘキ機關ヲ供ヘテ此ニ殊種ノ感覺ヲ受クル者即チ光

ノ眼ノ機關ニ於ケル音ノ耳ノ機關ニ於ケルカ如キ者及ヒ右ノ如クニ身体特別ナル部分ニ特ニ其ノ機關ヲ備フルヲナクシテ一般ニ感スル者ノ二種ニ分ツヘシ。甲チ特種ノ感覺ト云ヒ乙チ一般感覺ト云フ。一般感覺ノ中ニ身体全部ニ感スルアリ局部ヲ限リテ感スルアリ。身体全部ニ感スル者ハ饑ノ如キ渴ノ如キ疲勞ノ如キ氣力ノ如キ者ニシテ之レ寧ロ身体有機的ニ感スル所ニ屬ス。又所ヲ限リテ感スルモノハ負傷打挫ノ如キ搔痒ノ如キ其ノ感覺ハ局部一部ヲ限レル所ナレドモ皮膚モ之レニ感シ筋骨モ之レニ感シ臟機モ之レニ感シ身体ノ局部所トシテ之レヲ感セサルナキヲ以テ是レ亦一般ノ感覺ニ屬ス。此レ等ノ感覺ハ其ノ原因寧ロ外物ニアラスシテ身体ノ内部ニ在ルヲナレバ之レガ爲メニ外物ノ智識ヲ吾人ニ照會スルヲ極メテ擲シ。例ヘハ打撃ノ爲メニ苦痛ヲ感ス其ノ原因ハ外物ヨリ來ルト雖モ苦痛ハ組織ニ變動アルガ故ニ感スルニテ其ノ原因ハ寧ロ身体ノ内部ニ在リト謂フベキガ如シ。特別感覺ハ耳目鼻口等ニ來ル衝動ヲ感スルニテ何レモ確定シタル性質ヲ有スル者トス。此ノ感覺ヲ受クルニハ眼ノ光線ニ於ケル耳ノ音響ニ於ケル口ノ味ニ於

ケル鼻ノ薰氣ニ於ケルカ如ク我レニ特種ノ機關アリ外ニ特種ノ衝動アリテ之レヲ感受スルナリ。故ニ此ノ感覺コソ吾人ニ外方ノ事物ヲ照會スル者ニシテ此レ實ニ吾人ノ智識ノ基礎ヲ爲ス者ナリ。

特種ノ感覺トハ即チ通常所謂五官ニシテ味嗅觸聽視ノ五感即チ是レナリ但シ今日ノ心理學上ヨリ見ル時ハ猶ホ此ノ他ニ筋覺ト云フ一感ヲ加ヘサルヲ得ス。此ノ筋感ハ物ノ輕重ヲ知り觸感ト結合シテ硬軟粗滑ヲ感シ視感ト結合シテ距離遠近ヲ知ル者ナリ。

感覺ノ衝動。 外部ノ衝動ノ感覺ヲ喚起スルニハ其ノ衝動ハ先ツ第一ニ感覺神經ノ末端及ヒ中樞ノ抵抗ニ打チ勝ツタケニ強キヲ要ス之レニ打チ勝ツサル間ハ感覺ヲ起シ來ルヲナシ。吾人カ生氣活潑ナル時ト睡眠ノ間ニアル時トヲ比較シ又吾人ノ注意ノ凝集シ易キ時ト凝集シ難キ時トヲ比較スレハ此ノ衝動ノ受ケ易キト受ケ難キトニ大差アルヲ知ルヘシ。是レ感動機ノ衝動ニ對スル抵抗アルガ故ナレバ吾人ヲシテ感覺アラシメントセハ先ツ感覺機ノ抵抗ニ打チ勝ツヘキタケニ強キ衝動アルヲ要ス。

一クヒ感覺ヲ生シタル上ハ其ノ感覺ハ或ル時間ノ間ハ繼續セントスルヲ一般楮力ノ法則ト異ナルヲナシ。繼續ノ時間ノ長短ハ感覺ノ種類ニ依リテ同シカラス。其ノ最モ短キハ觸感ニシテ指頭ニハ一秒間ニ一千個ノ抵觸マテハ區別シテ別々ニ感スルヲ得ヘキモ其ノ以上ニ至ル時ハ最早各別ニ之レヲ感スルヲ得ズシテ一体ノ長キ抵觸ト爲ル。觸感ノ次ニ來ル者ハ聽感ニシテ此ノ感覺ニテハ一秒間五百個迄ノ音ハ各別ニ之レヲ感スルヲ得ルモ其ノ以上ハ一連ノ音ト變シ去ルナリ。電響ハ一秒中ニ三十七個ノ割合ニ來ル間ハ各別ニ感シ得ヘキモ其ノ以上ハ區別スルヲ能ハス。視感ニ至リテハ把住ノ時間最モ長ク赫々タル光ヲ視テ眼ヲ閉ルモ顯然猶ホ其ノ眼底ニ遺ルアルハ人ノ常ニ實驗スル所ナルベシ又火ノ一点ヲ回轉スレハ一点ヲ見スシテ火圓ヲ見ルモ亦人ノ常ニ知ル所ナリ圓盤ニ七色ヲ分染シ之レヲ回轉シテ白色ノ一帯ヲ視セシムル物理ノ機械ハ此ノ理ニ依リテ製セシモノナリ。又此ノ理ヲ應用シテ製セシ所ノ玩具ハ近來頗ル多種ト爲レリ。又感覺ヲ生セシムルニハ先后ノ衝動ノ間ニ間隔ノ時間アルカ或ハ多少ノ變化ナカルヘカラス。間隔ノ時間及ヒ變化ナキ時ハ感覺ヲ起サシムルヲナキナリ。

今現ニ感スル所ノ感覺ヲ徐々ニ進昂セシメテ突然之レニ遇ヘハ愕然タルヘキ程ノ強キ者ニ至ラシムルモ其ノ進行極メテ徐々ナルキハ遂ニ最初ノ感覺ト異ナルヲナカルベシ。例ヘハ動物ニ電氣ヲ流射シテ之レヲ實驗スルニ極メテ徐々ニ進行セシムル時ハ其ノ遂ニ神經ヲ傷害スル程ノ強烈ニ至ルマテニ電氣ヲ増進スルモ動物ハ之レヲ感スルヲナシト云フ。又生蛙ヲ水中ニ入レ極メテ徐々ニ其ノ水ヲ温メ遂ニ沸騰シテ生命ヲ絶ツニ至ルモ更ニ苦痛ヲ感スルノ狀ナシト云フ。吾人ノ皮膚ニテモ最冬ノ寒ト酷暑ノ熱ト俄然之レヲ轉換シタランニハ定メテ大ニ其ノ變化ヲ感スベキモ春行キ夏來リ秋ヲ過キテ冬ニ入ル其ノ間識ラズ識ラズノ間ニ遷リ行クヲ以テ突然ニ變化ノ感覺ハナキナリ。

現在一ノ強キ感覺ヲ感シツ、アル間ニ弱キ衝動ノ新ニ來ルアルモ強キ感覺ノ爲メニ吸収シ去ラル、ナリ。一方ニ強電氣ヲ受ケツ、アル人ニ新ニ微弱ナル電氣ヲ通スルモ之レヲ感スルヲナキガ如シ。又コムパスノ一端ヲ傷患ノ上ニ置キ他ノ一端ヲ其ノ健康部ニ置キ倍テ同一ノ壓力ヲ以テ兩脚ヲ壓スル時ハ傷患ノ上ニ在ル者ヲ感シテ健康部ノ上ニ在ル者ヲ感セス。是レ小ナル感覺ハ大ナル感覺ノ爲

メニ吸収セラレ、カ故ナリ。シエーキスピアルノ言ニ曰ク大ナル患苦アル時ハ些少ナル患苦ヲ感スルヲナキモ心ノ他ニ累セラレ、ヲナキ時ハ身体ノ情感ハ鋭敏ナリト云ヘリ。是レ實ニ心理ノ實想ヲ穿テ得タル明言ナリ。

又感覺ハ當時吾カ心ノ有様ニ依リテ頗ル低微ノ所マデニ至ラシムルヲ得ル者トス。鳥ノ轉リツ、飛ヒ去ルヲ聞キ付ケ居ル時ハ始メヨリ注意セサル他人ニハ感シ得サル程ニ低キ聲ニ至ルマテ聞キ取ルヲ得ベシ。視覺ニテモ同シコトニテ鳥ノ飛ヒ去ルヲ見送リツ、アル時ハ遙カ遠カリテ余人ニハ視ルヲ能ハサル程ニ微カニ至レル者ヲモ視ヲ得ヘシ。暗室ニ在ル囚人ノ微少ナル者ヲ視ルヲ得ルハ遙カニ明光ノ内ニ在ル人ニ勝レリ佛ノ化學者ヲボシハ光線ノ些少ナル差異ヲ鑒別スルヲ得ルニ至ラシメントテ六週ノ間暗室ニ籠リシコトアリト云フ。之ニ反シテ不斷一樣ノ印象及態度ハ感覺ヲ生セシメス。空氣ノ壓力ハ唯其ノ著シキ變化アルキニ感スルノミニテ平生ハ感スルヲナシ網膜ニ在ル血管ノ隱影ハ自ラ之レヲ感セス口中ノ唾液ノ味モ自ラ之レヲ感スルヲナシ。

フエツル氏ハ此ノ消長變化ヲ數學的ノ式ヲ以テ説述セントテ衝動ノ強度ヲ増

加シタルガ爲メニ起リタル感覺ノ増加ハ純然タル衝動ノ増加ヨリノミ起ルニア
 ラスシテ以前ノ衝動ニ對シテ關係的ノ増加ヨリ起ルナリト云ヘリ。又衝動ノ増
 加ト感覺ノ増加トノ關係ヲ述ヘテ感覺ヲ平級數ノ割合ヲ以テ強カラシメントセ
 ハ其ノ衝動ハ必ス之レヲ分級數ノ割合ヲ以テ増加セサルヘカラスト云ヘリ。此
 ノ説述ハ固トヨリ大体ノ論ニシテ元來變化極リナキ心意上ノ事ヲ談スルニ純然
 タル數理ヲ談スルカ如クナルヲ能ハサルヲハフエリナル氏其ノ人モ亦之レヲ明
 言セリ。

感覺ノ性質モ亦其ノ強度ニ於ケルカ如クニ干係的ニ生シ來ル所多シ。同シ温度
 ノ流体ニテモ時ノ狀態異ナル時ハ一ハ寒ニ一ハ温ニ感スルヲアリ。今一槽ニ手
 ト同温度ノ水ヲ蓄ヘ他ノ一槽ニハ手ヨリモ高キ温度ノ水ヲ蓄ヘ第三槽ニ手ヨリ
 モ低キ温度ノ水ヲ蓄ヘ諸テ右手ヲ第二槽ニ入レ左手ヲ第三槽ニ入レ暫シテ同時
 ニ両手共第一槽ニ入ル、時ハ其ノ水ノ温度ハ手ノ温度ト異ルヲナキモ右手ハ冷
 ニ感シ左手ハ温ニ感ス。又今迄靜ニ居タル者カ突然働ニ從事スル時ハ大ナル
 勞働ニ服スルカ如ク感スルモ今迄激キ活動ヲ爲セル者カ前ト同シ程ノ勞働ニ從

事ナル時ハ反テ休息ノ感アリ。如斯ハ現在今迄吾カ感覺ニ存セシ所ノ者ノ如何
 ニ依テ后ノ感覺ヲ輕重スルノ好例ナリ。色ノ感覺ニテモ正ニ之レト同様ノ者ア
 リ深黒ハ純白ノ側ニ在リテ之レト相對シテ始テ感セラル、カ如キ是ナリ。其ノ
 他音嗅味觸何レノ感覺ニ於テモ此ノ道理ノ外ニ出ツルモノハナキナリ。
 之レヲ以テ推スルハ如何ナル感覺モ己レ一個ニ成立スルヲ得ル者ナク皆他ノ
 感覺ト相對シ相照ラシテ而シテ始メテ其ノ感覺ヲ生セシムル者ト知ルベシ。之
 レヲ感覺相關ノ理ト云フ。感覺相關ノ理トハ其ノ始メテ來ル時ヨリ后ハ其成立
 及ヒ性質トモ他ノ感覺ト相關シテ定マル所アリト云フニ在ルナリ。是レハ神經
 ノ感覺ヲ起スニハ必ス多少突然ノ變化ナカルヘカラスシテ長ク同一ノ衝動ヲ受
 クル神經ハ漸ク其ノ衝動性ヲ失ヒ去リテ遂ニ感覺ヲ起サザルニ至ルヲ云フナリ。
 感覺ノ相關ニハ同時ニ起ル者ト連續シテ起ル者トノ二種アリ。同時ニ起ル兩個
 ノ感覺ハ相融和セントスルノ傾アリ殊ニ觸味嗅ノ三感ニ於テハ此ノ性著シ。連
 續ノ相關ハ同時ニ起ル者ヨリモ區別シ易シ。例ハ重量區別ハ同時ニ両手ヲ以テ
 計リ算スルヨリモ先ツ其ノ一ヲ計リ次キニ其ノ手ヲ以テ他ノ一ヲ計ル方明ニ區

別セラレ得ベク又水ノ温度ヲ計ルモ同時ニ左右ノ手ヲ投シテ双方ノ差ヲ計ルヨリモ先ツ其ノ一ニ手ヲ投シ更ニ他ノ一ニ遷ル方之レヲ感シ易キカ如シ。

何レノ感覺ニモ其ノ強度ト性色トアルコトニシテ赫々タル光ト隱々タル光トナ比較スレバ前者甚ク強ク又風琴ノ音ト三味線ノ音トハ全ク其ノ音色ヲ異ニセリ。

感覺ノ強度ハ同種ノ感覺ニテ其ノ間ニアル強弱ヲ云ヒ其ノ性色トハ全ク其ノ品性ヲ異ニスルナ云フ。音ニ各種ノ音色アリ色ニ青赤黃橙褐紫紺ノ品類アリ味ニ甘苦辛酸ノ品類アル等即チ其ノ性色ノ異ナリタル者ナリ。

感覺ノ強度ノ異ナルハ畢竟其ノ衝動ノ多寡ヨリ來ル即チ赫々タル光ハ隱々タル光ヨリモ其ノ衝動強シ。何レノ感覺ニテモ此レヨリ低キ衝動ハ最早感シ得ヘカラスト云フ点アリ之レヲ感覺ノ最低衝動点ト云フ。此ノ最低衝動点ハ人ニ依リ又現在ノ諸状態ニ依リテ必ス常ニ一樣ナルコト能ハサルハ略前ニ述ヘタル所ヲ以テ推知スベシ。

感覺ノ性質ノ異ナルハ衝動ノ性質ノ異ナルニ生スルコト明ナリ。イテ爾ノ震動ノ衝動ハ眼ヲ擊テ光ト爲リ空氣ノ震動ノ衝動ハ耳ヲ擊テ音ト爲ルチ初メト

シテ同ニテ下ニ於ルノ震動ハ其ノ高度ノ高低其ノ震度ノ廣狹ニ依リテ赤トモ黃トモ青トモ紺トモ爲ル又同ノ空氣ノ震動ニテモ其ノ高度ノ高低並ニ其ノ震度ノ廣狹ニ依リテ種々ノ音階ヲ生シ來ル。是レ感覺ノ性質ノ異ナル所以ナリ。此ノ衝動ノ異ルヨリ其ノ性質ヲ異ニスルコト外ニ感覺ノ神經ニモ差異アリト説ク者アリ。即チ色ノ感覺ニテ云ハ、專ラ青色ヲ感スル神經黃色ヲ感スル神經赤色ヲ感スル神經等各種ノ神經其ノ感受ヲ分擔チ異ニスト云フ一派ノ説ヲ立ツル者モアリ。此ノ説モ或ル点マテハ實驗上ニ誠ニ疑ヒナキ證據ヲ有セリ。之レヲ要スルニ衝動既ニ異リ之レヲ感受スル神經並ニ其ノ中樞モ亦同シカラサルヨリ其ノ性質ヲ異ニスル者ト視テ可ナラン。

五感ノ中ニモ其ノ位置ニ自高下アリテ其ノ順序ヲ排列シテ味嗅聽觸視ト爲ス。其ノ各自ニ就キテ精密ナル論ハ固トヨリ此ノ篇ニ於テ爲シ得ヘキ餘裕ナシ。

味嗅。味嗅ノ兩感ハ五感ノ中ニテ最下等ニ位シテ其ノ性質甚ク精確ナラス是レ吾レニ智識ヲ與フル方ニ効力薄ク消化機ノ前門ニ在リテ身体護衛ノ爲メニ硝兵線ヲ張ルノ作用ヲ爲ス者ト見テ可キ也。此ノ感覺ハ精密ニアラズ從ヒ

テ其ノ區別シ得ヘキ感覺ノ性色モ甚ク甚ク二人集リテ共ニ甘ト云ヒ辛ト云フ其ノ甘辛ト謂フ所ノ精密ノ度合ハ如何暫ク之レヲ紅ト云ヒ青ト云フカ如キ視感ト比較セヨ自其ノ間ニ大ナル差等アルヲ視ルベシ。

觸感ハ皮膚ニ觸レテ感スル者ニテ殊ニ指頭舌頭及ヒ唇面ニ於テ發達セリ。此ノ感覺ハ味嗅ノ兩感ニ比スレバ遙カニ高キ位置ニアリテ其ノ智識ノ源ヲ爲スニ大ニ兩者ニ勝レリ。觸感ハ壓力粗滑及ヒ寒暖ノ性ヲ觸知スル者ナリ又吾カ身體ニ就キテ感覺ノ位置ヲ局知スルヲ爲スハ獨リ此ノ感覺ニ限レリ。吾人眼ニテ物ヲ視耳ニテ音ヲ聞クヲ知レバ果シテ光線ハ眼ノ何處ノ部分ヲ擊テ音響ハ耳ノ何處ノ部分ヲ擊テリト其ノ部局ヲ感シ別ツヲ得サルナリ然ルニ觸感ハ之レト異リテ今ハ足ニ觸レタリ今ハ額上ニ觸レタリ今ハ變シテ背ニ在リ今ハ徒リテ腕ニアリ等一々感覺ノ位置ヲ局知スルヲ得ルナリ之レヲ觸感ノ局知ト云フ。聽感。聽感ハ知識ヲ與フルノ点ニ於テハ頗ル高キ位置ヲ占ムル者ナリ。是レ其ノ感覺ノ精確ナルヨリ來ル。故ニ其ノ強度ニ於テモ其ノ性色ニ於テモ頗ル微細ナル所マテ感シ別シルヲ得ルナリ。

音響ノ性質トシテハ先ツ音樂上ノ音色ト通常ノ音色トヲ區別シ得ベシ。音樂上ノ音トハ規則正シキ空氣ノ震動ヨリ生スルモノナ云フ通常ノ音トハ不規則ノ震動ヨリ發スルヲ云フ。耳ノ之レヲ感シ別ツハ空氣ノ震動ニ規則正シキ者ト不規則ノ者トアルヲ感シ別ツヲ得ル所以ナリ。猶ホ音樂上ノ音ニ於テハ其ノ階級ニ差等アルヲ感シ以テ音響ノ高低ヲ區別ス而シテ音響ノ高低ハ空氣ノ震動ノ度數ノ多寡ヨリ生スル者ナレハ之レヲ感スルハ即チ耳ニ空氣震動ノ度數ノ差等ヲ感シ別ツヲ得ルノ能力アルヲ証スヘシ。此ノ震動ノ度數ヲ感シ別ツヲ得ルハ聽感ノ頗ル精密ナルヲ證スル所以ニシテ殊ニ聽感ヲ訓練シタル音樂者ノ耳ノ精密ナルハ驚クヘキ程ニマテ上達スル者ナリ。

耳ニハ音ノ高低ノミナラス又音色ヲ感別スルノ力アリ。風琴ノ音三線ノ音琴鼓弓笛尺八其ノ外數多ノ樂器ノ音色ヲ區別ス。以上音ノ高低及ヒ其ノ音色ヲ總シテ音樂上ノ音ト云フ。其ノ他ニ單ナル音聲アリ。丁々タル音轟々タル音風ノ音人ノ聲皆是レ吾人ノ聽感ノ明ニ區別スル所ナリ。人ノ音聲ニ就キテ此レハ某ノ聲ナリ是レハ誰レノ聲ナリト判斷スルハ其音

色及ヒ人ニ存スル特別ノ調子ヲ感別スルヲ得ルガ故ナリ。
 視感。視感ハ五感中ニテ最モ高等ニ位スル者ニシテ其ノ機關ノ構造ノ精密ナルヲ其ノ衝動ノ性質ノ微妙ナルヲ他ニ其ノ比ヲ見サル所トス。サレハ此ノ感覺ニ於テ區別スル所ハ頗ル精密ニシテ其ノ強度ノ辨別ノ如キモ膜臑タル者ヨリ赫々タル者ニ至ルマテ範圍甚々廣シ。又其ノ種々ノ性質ヲ區別シテ各種ノ色ヲ視別スルヲ實ニ精密ニシテ七色ハ固トヨリ其ノ各種ノ混色ニ至ルマテ微妙ノ差ニ及フナリ。畫家及ヒ染工等ノ視感ノ區別ノ精密ナルヲ見レハ實ニ驚カサル者ハナカルベシ。
 各種ノ色混和スル時ハ白色ト爲リテ感ス。白色ノ感ハ或ル比例ヲ以テ相對ノ各色ト混和スル時ニ常ニ之レヲ感セシム。斯ク相混シテ白色ヲ感セシムルモノヲ補色ト云フ。青ト黃トハ補色ニシテ紫ト綠トハ補色ナリ。補色ハ互ニ相援ケテ其ノ感覺ヲ明瞭ニシ從ヒテ之レヲ愉快ナラシム。
 斯ク視感ハ色ノ強度及ヒ其ノ種類ヲ感シ別ツノミナラス又物ノ位置ヲ知ラシムルヲ頗ル精密ナリ。是レ實ニ視感ノ智識ヲ與フルヲ他ニ勝レル所以ナリ。視

感ノ重要機關ナル網膜ハ廣カリタル表面ナレバ其ノ部局ニ既ニ分業ノ理ヲ存スルヲ視ルベシ。中央ノ部分最モ精密ニシテ之レヲ完視面ト云フ。偕テ此ノ完視面ニ於テハ何レノ巨離マテヲ辨別シ得ヘキカト云フヲ實驗スルニ熟練シタル眼ヲ以テスレバ六十秒ヨリ九十秒ノ角度ノ間ニ在ル者ハ之レヲ區別シ得ラルベシ此ノ角ヲ網膜面ノ實際ニ計算スレハ、 \circ 四ヨリ、 \circ 六ミリメートルノ巨離間ニ生スル感覺ニシテ其ノ精密ナル實ニ驚クニ堪ヘタリ。但シ此ノ中央部ヲ經過シテ漸ク邊隅ニ遷レバ速カニ其ノ精密ヲ失ヒ去ル。其ノ比例ハ左ノ如シ。 \circ 二インチノ二個ノ正面形ヲ並ラベテ網膜ノ各部ニ於キテ幾許ノ距離ニ在ル間ハ之レヲ區別シ得ヘキカヲ實驗スルニ網膜ノ中央ヲ去ルヲ二度四十分ノ所ニ於テハ二個ノ正面形ヲ區別シ得ヘキ最少ノ距離ハ三分二十秒ノ角ニシテ更ニ中央ヲ去ルヲ五度ノ所ニ至レハ其ノ距離増シテ十七分十一秒ト爲リ猶ホ中央ヲ去ルヲ七度ノ所ニ至レハ其ノ距離ハ三十四分二十二秒ト大ニ至ル。但シ此ノ比例ハ中央部ヨリ各方向ニ向ヒテ同様ニ消長スルニアラス。左右上下多少其ノ比例ヲ異ニスルモ其ノ消長ノ有様ハ大凡上ノ如クナリト知ルベシ。

筋覺ハ吾ガ活動ヨリ直ニ感スル所ノ感覺ニシテ五特別感ノ外ナレトモ吾人カ知識ノ上ニハ最モ重大ナル元素ヲ爲ス者ナリ。手足ヲ動かセハ其ノ意アリ意力ヲ發スレハ又其働キノ感アル等筋感ハ吾レヨリ働キヲ起シテ其ノ働キヲ感スル者ナレハ視聽等ノ感覺ノ他ノ衝動ニ遇ヒテ后始メテ感スル者トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニセリ。即チ筋感ハ自働ニシテ味嗅觸等ノ五感ハ他動ナリ。

筋覺ヨリ來ル所ノ感覺ヲ便宜ノ爲メニ大種ニ分ツベシ。其一ハ運動ノ感覺ニシテ其ノ一ハ抵抗ノ感覺ナリ。運動ノ感覺ハ眼球ヲ動かシ又ハ空所ニテ手足ヲ動かス時ニ感スル者其ノ二ハ堅キ物体ヲ押シ或ハ重キ物体ヲ揚上スル時ニ感スル者ニシテ兩者大ニ異ナレリ。

運動ノ感覺ハ空間位置等ヲ知ラシムル元素ニシテ吾人カ外界ノ實物ニ就キテ智識ヲ得ルノ道ハ全ク此ニ在リ。先ツ第一ニ吾人ハ運動ノ方向ヲ感シ且ツ運動スル筋ノ異ナル時ハ其ノ異リタルヲ感スルヲ以テ上下左右等ノ方向位置ヲ知ルナリ。第二ニハ運動ノ長短ヲ分別スルヲ以テ漸ク進ミテ距離遠近ヲ知ルニ至ルヘシ。例ヘハ道ヲ行クニ一時間ノ運動ニテ足ルモノト二時間内ノ運動ヲ要スル

者ト其ノ感動ノ時間ニ長短アリテ此ノ長短ヲ感スルガ故ニ此ニ乙ハ甲ヨリモ遠キヲ知ルナリ。

抵抗ノ感覺ハ手ニテ揚グ投グ運ヒ抱キ提ケル等ヨリ肩ニテ物ヲ揚舉負擔スル等一切外物ノ吾ガ筋骨ノ働キニ對シテ與フル所ノ抵抗ノ程度ヲ感シ別クルニテ其ノ感別頗ル精密ナル者アリ。吾人ハ通例「ボンド」ト「オンス」トノ差ヲ感シ又重キ物体ヲ「ヤルド」ニ投スルト「ヤルド」ニ投スルトチ感別シ得ルナリ。此ノ感覺ヨリ吾人ハ物ノ輕重硬軟粗密等ヲ知ルナリ護謨ノ軟キハ吾ニ對スル抵抗ノ少キニ依リ石ノ堅キハ抵抗ノ多キニ依リ柳ノ嬌メ易キハ抵抗ノ少キニ依リ櫂ノ曲ケ難キハ抵抗ノ強キニ依ルナリ其ノ他推シテ知ルヘシ。

各感覺ノ干係。 各感覺ハ皆一個特別ノ感覺ニシテ互ニ融通スルコトハ出來サレドモ互ニ相補助シ相裨益スルコト著シキ者アリ。食物ヲ食フニモ其ノ香味ノ爲ニ其ノ甘味ヲ増スコトアリ又物ニ觸レテ感スルノミナルヨリモ之レヲ視レハ猶ホ其ノ感覺ヲ強クシ視テ感スルヨリモ猶ホ之レニ觸レ或ハ其ノ音ヲ叩キテ益々感覺ノ精密ナルヲ致スハ人ノ常ニ實驗スル所ナルベシ。

殊ニ各感覺ニ通シテ之レヲ補益スル者ハ筋感ナリ食物ノ味モ口中ニ於テ食塊ヲ運轉スルコトニ依リテ益々其ノ味ヲ深クシ嗅感モ鼻息ヲ吸フニ依リテ著シカラシメ觸感ニ至リテハ筋感ト干係スルコト頗ル著シ。觸レテ精密ニ表面ノ粗滑ヲ知ルハ必ス之レヲ動かシタル后ナラサルヲ得ズ。手指ハ觸感ノ大ナル機關ナルカ此ノ機關ニシテ其ノ運動ノ頗ル多種且容易ナルハ偶然ニアラズ。斯ク觸感ト運動ト之レチ一機關ノ内ニ配合セシメタル造化ノ配劑實ニ妙ト謂フヘシ。サレバ我カ手ヲ物ニ觸レテ感ゼントスル時ハ必ス之レヲ運動スルヲ以テ思ヒ考フル時ハ筋ノ運動ノ觸感ヲ助クルコト大ナルヲ知リ得ラルベシ。

視感ニ於テモ筋ノ運動ノ大ナル關係ヲ有スルコト其ノ將サニ觸感ニ於ケルカ如キ者アリ。眼球ノ運動ノ頗ル容易多様ニシテ且精微ナルコトヲ視レハ思ヒ半ニ過キル所アラソ吾人ガ長ク廣カリタル者ヲ視又ハ走り行ク所ノ者ヲ視ルハ全ク眼球ノ運動ヨリ來ルナリ。又甲ヲ視テ乙ニ遷リ丙ニ遷リ丁ニ遷ルハ甲乙丙丁ヲ能ク識別シ得ル所以ニシテ是レ最モ眼球ノ運動ニ干係セリ。又數多ノ色ノ並ヘル者ヲ視別ケルニ於テモ此ノ理アルヲ實驗スベシ。

感覺ノ分別。

吾人ガ感覺ヲ分別シテ之レハ苦シ之レハ赤シ之レハ圓シナド云フハ元來吾人ニ此ノ種ノ感覺ヲ受ケ取ルヘキ力アルニ依ルトハ謂ヘトモ先ツ第一ニ喚發セル注意力ヲ以テ感覺ノ力ヲ凝集スルニ依ルナリ。感覺ノ力ヲ凝集セサレハ何ニ等ノ感覺モ有ルコトナルベシ。然レドモ猶ホ一層感覺ヲシテ精確タラシムルニハ吾人ガ以前感シタル同種ノ感覺ヲ以テ之レヲ吸収スルニ在リ。

例ヘハ今酸味ヲ感シテ之レヲ味フハ曾テ味ヒタル酸味ト之レヲ同種ノ感覺トシ前後相助ケテ之レヲ精確ナラシムルカ如シ。色ヲ視音ヲ聽ク皆同様ニシテ曾テ見聞スル所ト前後相援ケテ之レヲ精確ナラシム。此ノ前後相助クルハ唯同種ノ者ノミニアラズ又相方ノ間ニ存スル差別ヲ區別スルニ依テ益々精確ナラシム。

例ヘハ今麥酒ヲ味ヒテ是レ以前ニ味ヒタル麥酒ノ味ナリト前後ヲ契合スルニハ既ニ他ト之レヲ差別スルコトモ含有セリ。即チ以前味ヒタル數多ノ酒類中ニテ此レ清酒ノ味ニアラス火酒ノ味ニアラス葡萄酒ノ味ニアラズト辨別スルヲ包メルナリ。又一步ヲ進ムレハ過去ノ麥酒ノ味ト現在ノ麥酒ノ味ト同種ニ属スルトハ云フモノ、其ノ間ニ多少ノ差異アリテ之レヲ辨別スルニ依リテ益々感覺ノ精

密ヲ致スベシ。同シ麥酒ノ味ヒナリトテ猶ホ其ノ以上ノ差異ヲ辨別スルコトナカ
 ランカ櫻田麥酒ト「ストツク」キリン「モ差異ハアラサルベシ。獨逸ノ人カ英國ノ麥
 酒ヲ飲マンヨリモ寧ロ墨汁ヲ飲マント口僻ニ唱フルモ其ノ間ニ味ノ大ナル差異
 アルヲ以テナリ。

感覺ノ發達。感覺ノ精密トハ即チ契合辨別ノ精密ナルコトハ以上説ク所ノ如
 キ道理ナリトセハ感覺ノ發達トハ此ノ契合辨別ノ二途ニ向ヒテ益々其ノ範圍ヲ
 廣クシ愈々其ノ程度ヲ進ムルニ在ルコト明ナリ。其ノ中ニモ辨別ノ力ヲ最モ緊要
 ナル者ト爲ス。嬰兒ニ在リテハ苦樂ノ外殆ント辨別スル所ナシ稍々進ミテ感覺
 ノ強度及ヒ分量ヲ辨別スルヲ得爾后此ノ強度及ヒ分量ノ辨別ノ漸々歩ヲ進ムル
 ニ從ヒテ益々精密ヲ致スナリ。

感覺力ノ差異。人々ノ間ニ感覺力ノ差異ノ甚ク著シキ者アリ。甲ハ乙ヨリモ
 感覺ノ鋭敏ニ於テ著シク勝レ乙ノ人ニハ感シ得ラレサル程ノ微小ナル者ヲモ明
 ニ感シ得ベシ。又甲ハ其ノ感シ得ヘキ所ノ範圍乙ニ比シテ頗ル廣キモ其ノ辨別
 力ニ至リテハ甚ク弱キアリ。又甲ハ乙ニ比シテ一般ニハ感覺力ニ乏シキモ或ル

特別ナル者ニ向ヒテハ頗ル發達セル者アリ。例ヘハ畫師ノ色ニ於ケル音樂者ノ
 音響ニ於ケル彫刻者ノ形態ニ於ケル等ノ如キハ實ニ驚クヘキ程ニ上達セリ。
 此ノ如クニ感覺力ニ差異アルハ一部ハ教育ノ結果モアルベシト雖モ其ノ著シキ
 部分ハ生來頭腦ノ構造ニアルカ如シ。盲者ガ明ヲ失ヒテヨリ專ラ觸覺ノ感覺ヲ
 修練シタル結果トシテ此ノ感覺ニ向ヒテ非常ノ發達ヲ爲セルカ如キ是レ教育ノ
 結果ナルヘキモメレデレツソノ音響ニ於ケル尾形光琳ノ彩色ニ於ケルアカシ
 一氏ノ植物ノ形狀ニ於ケル等ハ寧ロ天性ニ企望ノ充分ナル腦力ヲ開墾スルニ非
 常ノ修練ヲ以テシタルノ結果ナリト謂フヘキガ如シ。

第七章 知覺力

感覺ト知覺トノ差。感覺ハ他動的ノ働ニシテ單ナル感動ナリ。知覺ハ數
 多ノ感覺ノ結合シテ一個ノ外物体トシテ心ニ知ル所アル動ナリ。赤黃黑白ノ色
 ナ感シ甘辛酸苦ノ味ヲ感スルハ感覺ナリ。其ノ色ハ黃赤ニシテ其ノ形ハ圓ク一
 種ノ香氣ヲ有シ味ノ甘味ニシテ若干ノ重量ヲ有シ且我ガ力ノ働キニ對シテ抵抗

スル一個ノ物体ヲ橙實ナリト知ルハ知覺ナリ。感覺ハ單純ナル外部ノ衝動ニ對シテ感スル所アルニ止ルモ感覺ハ數多ノ衝動ヲ結合シテ心ニ一ノ事物ノ映像ヲ作ル。感覺ト知覺トノ差ハ大凡右ノ如シト雖モ元來知覺ノ何ニ者タルニ附キテハ諸家ニ多少ノ異論アリ。古ノ學者ハ殆ント知識ノ全体ニ向ヒテ知覺ノ名稱ヲ下シタリ。例ヘハ余ハ前提ト歸結トノ關係ヲ知覺ス又ハ余ハ善人ノ必ズ榮ヘ惡人ノ必ズ衰フルヲ知覺スナト云フガ如シ。(是レ推理力ノ働ナリ)。然レ昨今日ノ心理學上ニハ之レヲ知覺ニ依リテ外物ヲ識知スル働ニ限リテ用フルトナレリ。又スペンサル氏ノ如キヲ始メトミテ知覺ヲ以テ感覺ヨリ成リ立ツ所ノ歸納的判斷ナリト曰フ者アリ。實ニ知覺ハ感覺ノ歸納的判斷ヲ以テ成立セリ。此ノ事ハ知覺力解拆ノ所ニ詳論スベシ。

吾人ノ既ニ生長シタル心意ノ働キニハ單純ナル感覺ノミヲ以テ成立セル者ハ殆ント其ノ例ニ乏シ。既ニ感覺アレバ必ズ之レニ伴フノ知覺ナキハアラズ。實ニ吾人ハ單純ナル感覺ノ適例ヲ舉グルニ苦ム程ニ之レヲ有スルヲ稀ナレトモ強テ其ノ例ヲ求ムレバ吾人ガ別段ニ此ノ物ヘトテ注意スル所ナク呆然トシテ眼ヲ開

キ又ハ心中ニ深ク考フル所アリナカラ庭前ニ眼ヲ注ク時ニ眼中ニ樹木ノ寫ルアリ之レ寧ロ感覺ナリ又睡リテ覺醒スル時朦朧トシテ四邊ノ者ノ眼中ニ映シ來ルハ感覺ナリ。疾病ニ附キテ見レバ其ノ著シキ者アリ。カークト氏ノ患者中精神病ノ後感覺力ハ依然タルモ其ノ知覺力ヲ全ク失滅シタル者アリ。此ノ患者ノ郷里ニ歸ルヤ已レガ生長シタル所ニテ在リナカラ萬事萬端都ベテ新奇ノ者ナラザルナクハ妻子スラ知覺スルヲ能ハズ或ル時ハ鏡面ニ向ヒテ己レ自身ノ顔スラ知覺スルヲ能ハザリシヲアリキト云フ。是レ其ノ感覺ハ依然トシテ明ニ感受シ得ルモ其ノ感スル所ヲ以前ニ經驗シタル者ト契合的ニ判斷スルヲ能ハザルニ依ルニテ即チ知覺力ノ滅亡シタルニ依ルナリ。

知覺力分解。 暗中物ヲ探リテ觸ル、所橙實ナルヲ知リテ更ニ之レヲ疑フナシ。是レ知覺ナリ。諸テ此ノ働キニハ如何ナル元素アルカト云フヲ分解セン。元來橙實ニハ眼ニテ視ルベキ性質アリ鼻ニテ嗅クベキ性質アリ手ニテ觸ルベキ性質アリ舌ニテ味フベキ性質アリテ此レ等種々ノ性質ノ結合シタル者即チ橙實ノ心像ナレバ愈々橙實タルヲ確知スルハ盡ク此等ノ諸性質ヲ感シタル後ノ事

ナルベキニ唯暗中ニ探リ觸レタルノミニテ其ノ橙實タルヲ知リ得ルハ如何。其ノ説明ハ左ノ如シ。一言以テ之レヲ述フレバ今現ニ吾レニ傳ヘ來ル所ノ感覺ヲ以テ今ハ吾レニ傳ヘ來ラザルモ常ニ此ノ感覺ト結合シテ吾カ心中ニ記憶セラル者ヲ喚起シ斯ク喚起シタル感覺及ビ現今ノ感覺ヲ結合シテ其ノ橙實ナルヲ知ルナリト云フニ外ナラザルベシ。故ニ未ダ曾テ感知セザル所ノ者ニテハ到底知覺スベキ様ハアラザルナリ。明治ノ初外國品ノ初メテ輸入シタル時石鹼ヲ視テ西洋菓子ト心得之レヲ口ニ入レタル者アリタリ。此レ等ノ人ニ向ヒテ暗中石鹼ヲ探ラシムルモ如何ゾ其ノ何ニ物タルヲ知ルヲ得ベケンヤ。此ノ例ヲ以テ推ス時ハ知覺スル所ハ必ズ以前ニ經驗シタル所ナラザルベカラザルヲ明ナルベシ。以前ノ經驗ノ記憶ニ存セル者ヲ以テ現在ノ經驗ヲ判斷シ此ノ現在ノ感覺ハ以前ノ彼ノ知覺中ニ存セシ感覺ナルガ故ニ此ノ感覺ノアル以上ハ必ズ以前ノ知覺ニ存セシ感覺ノ伴フ者ヲカルベカラズト判斷シテ其ノ何物タルヲ知覺ス。スベシナル氏ノ所謂歸納的判斷トハ此ノ如キヲ指セルナリ。

知覺ノ定義。

前上説述セル所ヲ以テ畧知覺ノ何ニ物タルヲ知ルヲ得タレ

ハ此ニ知覺ノ定義ヲ下シテ左ノ如クニ説述スベシ。知覺力ハ現表再現ノ兩元素ヲ包含スル所ノ心力ナリ。猶ホ詳細ニ記述スレバ知覺力トハ單簡或ハ複雑ナル感覺印像ヲ過去ノ感覺ノ思ヒ出シタル者ト辨別契合シテ之レヲ一個ノ觀念ニ結合スルノ作用ナリ。

知覺ノ通路。

知覺ノ通路ハ感覺ナリ。味ノ知覺ハ口舌ヨリ入り蒸氣ノ知覺ハ皮膚ヨリ入り光色ノ知覺ハ眼ヨリ入り運動ノ知覺ハ筋感ヨリ入り其ノ種々ノ結合セル者ニ於テハ同時ニ働キタル此レ等ノ諸感ヨリ入ル。中ニ就キテ最モ知覺ニ關係ノ厚キ者ハ聽視觸及ヒ筋感ナリトス。

知覺ニ一個物体ノ知覺及ビ必至ノ關係ノ知覺ノ二種ヲ分ツベシ。一個物体ノ知覺トハ山川草木禽獸等ノ一個体ヲ視テ之レヲ知覺スルヲ云ヒ必至關係ノ知覺トハ空間時間大小巨離遠近等ノ二個以上ノ一個体ノ相對シテ其ノ間ニ生スル必然ノ關係ノ知覺ヲ云フ。一個物体ノ知覺ハ單ニ各種ノ感覺ヲ結束シテ之レヲ一個体ノ觀念ト爲ス作用ニシテ割合ニ單簡ナレドモ必至關係ノ知覺ハ複雑セリ。此空間ノ知覺。大小巨離遠近位置方向等ノ觀念ハ空間ノ觀念ノ變態ナリ。此

ノ知覺ハ觸聽視筋ノ四感ノ結合セル者ニシテ大ニ複雑セリ。
 觸感ハ空間ノ廣リヲ我ニ照會スルヲ著シ我ガ身ニ觸ルハ所ノ面積廣濶ナレバ即
 チ其ノ空間ノ廣キヲ知リ其ノ面積狹少ナレバ空間ノ狹キヲ知リ又手ニ觸レナカ
 ラ之レヲ動ス時ハ其ノ運動ノ多少ト抵觸ノ感トヲ結合シテ面積ノ廣狹ヲ知ルヲ
 得ベシ。盲者視ルヲ能ハザルニ能ク大小ノ位置遠近方向等ヲ知覺シ其ノ精密ナ
 ルヲ殆ント眼ノ用ナキカ如クナルニ至ルヲ視テモ觸感ノ空間ノ知覺ニ干係スル
 大ナルヲ知ルベシ。

視感ハ空間ノ觀念ヲ作ルニ最モ關係ノ大ナル者ナリ。而シテ其ノ作用ハ頗ル複
 雜ナリ。此ノ知覺ハ先ツ第一ニ眼球ノ運動ノ多少ヲ以テシ第二ニ網膜上ノ映像
 ノ大小ヲ以テシ第三ニ両眼同視ノ働キヲ以テス。其ノ第一ナル眼球ノ運動ハ頗
 ル容易ニシテ上下左右ノ回轉實ニ圓滑ヲ極メタリ。諸テ眼ヲ開キテ外界ヲ視ル
 時ハ物ノ高下廣狹大小ニ應シテ眼球ヲ回轉シ廣キ物ヲ見ルニハ回轉スルヲ多キ
 ヲ要シ狹キ者ニ向ヒテ少クシテ足レリ。此ノ眼球ノ運動ノ多少ハ之レヲ眼筋ニ
 感ス即チ多ク動カセシ者ハ大ナリト知リ少ク動カセシ者ハ少ナリト知ル。是

レ眼線ノ運動ノ多少ニ依リテ空間ノ廣狹ヲ知覺スルノ一ナリ。
 網膜ハ多少廣リタル表面ナリ。故ニ同時ニ其表面ノ諸点ニ於テ感覺ヲ受クル時
 ハ其ノ諸点ノ上ニ感覺ヲ有スルヲ恰モ物カ皮膚ノ二点若クハ一部ノ表面ニ觸レ
 タル者アル時之レヲ二点若クハ其ノ一部ノ表面全体ニ感スルガ如シ。故ニ光線
 ノ網膜ノ表面ニ廣ク落ツル時ハ其ノ物ヲ大ナリト感シ狹ク落ツル時ハ之レヲ狹
 マシト感ス。此レ網膜ノ表面上ニ感スル大小ナリ。
 此ノ網膜面上ノ感覺ノ狹廣ト眼筋運動ノ多少トヲ結合シテ此ニ空間ノ廣狹物体ノ
 大小ヲ知ル然レモ是レ單ニ視タル所ノ大小廣狹ニシテ眞實ノ大小廣狹ニハアラ
 ズ。近ク之レヲ視レバ小ナル者モ大ニ視ユ遠ク之レヲ視レバ大ナル者モ小ニ視
 ヲテ昭ニ視ル所ノ大小ハ唯物体自個ノ大小ノミヨリ來ラズ吾レト物体ト相隔ツ
 一ノ遠近ニ依ルハ人ノ常ニ知ル所ナリ。故ニ唯眼ニ感スル所ノ大小ノミニ據リ
 テ直ニ物体ノ大小ヲ定メ一概ニ大キク視ユルガ故ニ大ナル者小ク視ユル故ニ小
 ナル者ト爲ス時ハ忽チ誤謬ニ陥ルヲ免レズ。人ハ日常ノ經驗ニ依リテ此ノ誤ニ
 陥ルヲナク机上ニ在ル紙片ハ大キク視ユレドモ其ノ小ナルヲ知リ遠山ノ頂上ニ

在ル樹木ハ小ク視ユレドモ實際之レナ大ナル者ト知ルナリ。是レ唯ニ眼ニ視ユル大小ノミニ依ラズシテ巨離遠近ノ思想ヲ加ヘテ其ノ大小ヲ辨別判斷スルニ依ルナリ。

巨離ノ知覺。 巨離ノ知覺ハ視感ノミニテハ甚不充ナル者トス。單ニ視感ノミニテ巨離ヲ知覺スルノ要素ト爲ル者三アリ。其ノ第一ハ眼球ノ適應ヲ感スルトス。近キ者ヲ視ルニハ水晶体壓迫セラレテ其ノ凸度ヲ加ヘ遠キ者ヲ視ルニハ放縱セラレテ其ノ凸度ヲ減ズ。之レヲ眼球ノ適應作用ト云フ。此ノ加減ヲ爲スハ細毛筋ノ作用ニシテ細毛筋ニ收縮放縱ノ働アル時ハ自之レヲ感覺ス。斯クテ遠キ者ヲ見ルニハ細毛筋放縱シテ水晶体ノ凸度ヲ減シ近キ者ヲ見ル時ハ細毛筋收縮シテ水晶体ノ凸度ヲ増シ斯クテ此ノ收縮放縱ノ感ハ即チ巨離知覺ノ一元素ト爲ル。其ノ二ハ兩眼球ノ傾斜ノ度ヲ合一センガ爲メニ働ク所ノ眼筋ノ作用ヲ感スルトス。兩眼ハ同時ニ同物体ノ上ニ注カザルベカラズ。故ニ近キ者ニ對スル時ハ相傾斜スル度ヲ大ニシ遠キ者ヲ見ルニハ其ノ度ヲ減スルナリ。此ニ於テ眼筋ノ働キニ多少ヲ生シ此ノ多少ニ依リテ心ニ感スル所ヲ異ニシ其ノ多

キヲ要スル者ハ近キ者ニシテ其ノ少キ者ハ遠キ者ナルヲ知ル。其ノ第三ハ感覺ノ性質ニシテ遠方ニ在ル者ハ朦朧トシテ近所ニアル者ノ如クニ明瞭ナラズ。故ニ其ノ明暗ノ度ニ依リテ遠近ヲ知ルノ料ト爲ス。色ノ如キモ遠近ニ依リテ明暗ノ度ヲ異ニスルヲ大ナリ。以上ノ三要素ハ全ク視感ニ存スル巨離知感ノ要素ナレドモ其ノ他ニ最モ緊要ナル元素アリ。運動即チ是レナリ。運動ニ依リテ已レノ位置ヲ變化スル毎ニ同シ物ヲ見ナカラ其ノ大小廣狹ヲ異ニシ今マテハ大ニシテ廣ク視ユタル者ガ遠カルニ從ヒテ漸ク小ニシテ狹クナリ遂ニハ全ク見ルヲ能ハザルニ至ルベシ。又初ノ位置ニテハ細微ナリシ者モ之ニ近クニ從ヒテ漸ク大ニシテ且廣クナリ來ル。此ノ遠近ニ伴ヒテ大小ノ變化スルヲ同シ物体ノ上ニテ常ニ經驗シ備テ其ノ眼ニ視ル所ノ大小廣狹ノ上ニ日常ノ經驗ニ知ル所ノ判斷ヲ下シ以テ眞ノ大小廣狹ヲ知覺スルヲ得ルニ至ルナリ。去レバ此ノ知覺ハ平生之ニ注意シテ訓練スル時ハ驚クベキ程ニ精密ニ進歩スルモ平生之ヲ怠ル時ハ甚々粗劣ニ止ル。而シテ其ノ訓練トハ實際ノ測量若クハ歩測ト眼ニ見ル所ノ大小廣狹及ヒ其ノ變化トヲ結合シ

實際ノ測量ヲ以テ眼ニ視ル所ヲ校合シ漸次之ヲ精密ニ進マシムルニ在ルナリ。
 次キニ方向ノ知覺モ始メヨリ容易ニ知覺シ得ル者ニアラズ。此ノ知覺ハ(一)左ニ
 在ル者ヲ視ルニハ眼球ヲ左ニ轉シ右ニ在ル者ヲ視ルニハ右ニ轉シ其ノ回轉ヲ爲
 ス筋ノ方向ニ依リテ左右上下ノ位置ヲ知覺スルヲ(二)網膜上ニ落ル所ノ光線ノ位
 置同シカラズ左ヨリ來ル者ハ右ニ落チ右ヨリ來ル者ハ左ニ落チ其ノ落ツル所ノ
 異ナルニ依リテ之レガ左右ヲ知覺スルヲ(三)吾カ身体ノ左右上下ト外物ノ所在ト
 ナ對比シテ知覺スルヲ等ノ元素ヲ結合シテ漸ク方向ノ知覺ヲ成就シ來ル者ナリ。
立体即物体ノ知覺。 立体ノ知覺ハ其ノ實巨離ノ知覺ノ一種ニ過ギズ。立
 体トハ吾カ眼ヨリ種々ノ巨離ニ在ル所ノ部分ノ結合セル者ニ外ナラズ而シテ其
 ノ結合ヲ知覺スルヲ即チ立体ノ知覺ナリ。近キ立体ノ知覺ハ兩眼ニテ各其ノ視
 ル所ヲ異ニスルヨリ大ニ之レヲ助成スル者トス。例ヘハ左眼ノミヲ以テ視ル時
 ハ物体ノ左方ヲ多ク視右眼ノミヲ以テ視ル時ハ物体ノ右方ヲ多ク視ル。サレバ
 兩眼ヲ以テ視ル時ハ同時ニ左右兩方ニ多クヲ視ルガ故ニ其ノ眼界中ニテ巨離ヲ
 異ニスル所モ亦從ヒテ廣シ。若シ又物体ノ甚々遠方ニ在ル時ハ其ノ物体上ニ影

映ノ度ヲ異ニスルヲ著シキヲ以テ其ノ部分ニ種々ノ表面及ヒ巨離アルヲ知リ同
 時ニ之レヲ立体ト知覺ス。故ニ遠キニ過ギテ其ノ部分ニ影隱ノ等差アルヲ見ル
 丁能ハザル者ニ於テハ殆ント其ノ立体タルヲ知覺スル能ハズ。遠キ山ヲ見テ
 其ノ立体ナルヲ知覺シ得ベカラズ彼レ山ナルガ故ニ立体ナリト知ルハ知覺ニ
 ハアラズシテ推測ノ作用ナリ。日月星辰ハ其ノ圓形ナルヲ見ルモ其ノ圓体ナル
 ヲ知覺シ得ベカラズ。之レヲ立体ナリト知ルハ數多ノ知識ヲ得タル後ニ寧ロ
 想像シテ作ル所ノ觀念ニ屬ス。

立体ノ重量ハ視感觸感ニ屬スル自然ノ知覺ニアラズ。其ノ元素ハ筋感ヨリ來ル
 所ナリ。筋ヲ以テ物ヲ揚擧スルニ際シテ吾レニ抵抗スル所大ナレバ之レヲ重シ
 ト云ヒ其ノ抵抗少キ時ハ之レヲ輕シト云フ。物大ナレバ其ノ量重ク小ナレバ從
 ヒテ輕キ筈ナレドモ綿毛ノ如キ塊積ノ大ニシテ重量ノ甚々輕キ者アリ又水銀ノ
 如キ流動体ニシテ定メテ輕キ者ナラント思ヒノ外甚々其ノ重キニ驚ク者アリ。
 故ニ物ノ輕重ハ其ノ塊積ノ大小ヲ視テ直ニ之レヲ推測シ得ベキニアラズ全ク筋
 ノ抵抗ニ感シテ其ノ抵抗ノ多少ト其ノ塊積ノ大小トヲ聯合シ其ノ漸ク熟スルニ

及ヒテ視タル所ノ大サト其ノ重量トヲ聯合シ且日常ノ經驗ニ徴シテ之レヲ判斷シ視タル所ノ大サ斯ノ如クナレハ其ノ重量ハ大凡此ノ位ナルベシト知覺スルヲ得ルニ至ルナリ。

表面。 立体ヲ知覺スル中ニハ亦表面ヲ知覺スルヲモ籠メタリ。表面ノ知覺ハ觸感ト視感トノ二者ヲ結合シタル知覺ナリ。觸感ヲ以テ之レヲ探リ之レヲ探クルニ其ノ面ノ廣キ者ニハ多クノ運動ヲ要シ其ノ狹キ者ニハ少シノ運動ニテ足レリ。又運動ヲ速ニスレハ廣キ表面モ短キ時間ニテ探リ得ラレ運動ヲ遅クスレハ狹キ表面モ長キ時間ヲ要ス。斯ク時間ノ長短ト運動ノ多寡トヲ以テ表面ノ廣狹ヲ知覺ス是レ表面知覺ノ本体ナリ。視感ヲ以テ其ノ廣狹ヲ知覺スルハ前上空間ノ知覺ニ於テ説ケル所ト異ナルヲナシ。猶ホ表面ニ就キテ知覺スル所ハ其ノ滑カナルヲ粗荒ナルヲ及ビ硬軟ナルヲ等トス。此レ等ハ觸感ヨリ來ル。粗荒ナル表面ハ其ノ上ヲ壓迫スルニ當リテ凹凸アレハ皮膚ニ感スル所ノ壓迫ノ程度モ同シカラス其ノ同シカラザル度合ニ依リテ面ノ粗滑ヲ知覺ス。猶ホ表面ノ上ニ手ヲ動ス時ハ些少ノ高低ニテモ運動ニ對ス

ル障礙トシテ著シク之レヲ觸知スルヲ得ベシ。面ノ粗荒ナル程障礙トシテ感スルヲ甚シク其ノ平滑ナル程障礙少シ。

斯クテ常ニ抵觸スル所ハ又常ニ眼ニ視ル所ナルヲ以テ其ノ觸感ニ粗荒ニ感スル者ト平滑ニ感スル者ト各視ル所ノ異ナルニ聯合シテ斯様ニ視ユル者ハ平滑ニシテ斯様ニ視ユル者ハ粗荒ナリト一見シテ其ノ粗滑ヲ知覺スルニ至ルナリ。

物質ノ硬軟ハ觸感ト筋感トヲ以テ知覺スル者ト爲ス。皮膚及ヒ筋骨ヲ以テ壓迫ヲ試ミテ其ノ抵抗ノ強キヲ感スルハ硬キ者ニシテ其ノ弱キハ軟キ者ナリ。此ノ經驗ヲ積ミ之レヲ視タル所ト聯合スルニ至リテ一見シテ硬軟ヲ知覺スルヲ得ルニ至ルナリ。例ヘハ吾人眼ニ視テ護謨ノ軟クシテ石ノ堅キヲ知ルハ其ノ柔堅ヲ視ルニアラズ先ツ護謨タルヲ見テ後其ノ軟キヲ知リ石タルヲ視テ其ノ堅キヲ斷言スルカ如シ。

運動。 運動モ主トシテ視感ヨリ來ル所ノ知覺ナリ。觸感及ヒ筋感又之レヲ助ク。今動ケル物ニ手ヲ觸レ其ノ動クニ從ヒテ手ヲ動ス時ハ吾ガ手ノ運動ニ依リテ物体ノ動クヲ知ルベシ。視感ニテ運動ヲ知覺スルニハ二法アリ。其ノ一ハ

物体ノ動キ行クニ連レテ吾ガ眼ヲ動カシ吾ガ身体ヲ動カシ斯クテ吾ガ眼球頭身ノ動ク度合ノ多少ニ依リテ彼ノ物体ノ運動ノ多少ヲ知ルナリ。其ノ二ハ吾ガ眼球ハ据ヘ置キテ動ク物体ニ注目スル時ハ該物体ノ動クニ從ヒテ吾ガ眼ノ網膜ニ映像スル所ノ点ヲ遷シ行クガ故ニ其ノ遷リ行ク度合ノ多少ニ依リテ該物体ノ運動ノ多少ヲ知ルナリ。猶ホ其ノ第一ナル吾ガ眼球頭身ノ運動ノ遲速及ビ第二ナル網膜上ニ遷リ行クノ遲速ノ二者ヲ聯合シテ以テ運動ノ遲速ヲ知覺ス。且之レヲ物体ノ遠近及ビ數多ノ動体ノ經驗ト聯合スル時ハ以テ運動遲速ニ向ヒテ大ニ熟練シタル知覺ヲ發達スルヲ得ベシ。

數多ノ物ノ知覺。 幼稚ニ感スル所ハ一体ニシテ數多ノ觀念ナシ。漸ク觸感及ビ視感ノ經驗ヲ増加スルニ從ヒテ粗滑硬軟ノ感覺ヲ異ニスルモノアリ遠近形狀色澤ノ感覺ヲ異ニスル者アルヲ知リ而シテ此レ等ノ異リタル者ヲ同時ニ視同時ニ觸ル、時ハ勢ヒ數多ノ者アルヲ知ルニ至ルベシ。是レ數ノ知覺ノ萌芽ナリ。斯クテ漸次其ノ數重ヲ増シ且數ノ相互ノ關係同數二分ノ一三分ノ一等ノ關係ヲモ知覺シ得ルニ至ルヘシ。

音響ノ知覺。 音響ノ知覺ハ聽感ニ屬スル者ナレドモ此ノ音ハ何物ヨリ發スル音ニシテ彼ノ音ハ何物ヨリ發スル音ナルカ即發音ノ原体ヲ音色ト添ヘテ知覺スルハ獨リ聽覺ノ作用ノミナラズ即チ眼ニ屬スル發音体ノ知覺ト聽感トヲ聯合シタル結果ナリ。例ヘハ風琴ノ音ハ一種ノ音色ヲ有シ鼓弓ノ音響モ一種ノ音色ヲ有シ兩者共ニ同シカラザルヲ知覺スルハ聽感ノミヲ以テ足レリトス。然レモ甲ノ風琴ノ音ニシテ乙ノ鼓弓ノ音ナルヲ知ルハ曾テ風琴ヲ彈シテ正ニ此ノ音ヲ發シ鼓弓ヲ弄シテ正ニ此ノ音ヲ發シタルヲ見聞シ其ノ音ト發音体トヲ聯合シテ記憶スル所アルガ故ナリ。

音樂上ノ音響ノ知覺ハ全ク聽感ニ屬ス。音ノ階級其ノ結合ノ方法並ニ其ノ美妙ヲ知覺スルハ大ナル修練ヲ要スルヲナリ。其ノ修練ノ功ノ蓄積シテ驚クベキ程ニ顯著ニ進ムハ皆人ノ能ク知ル所ナリ。

時間ノ知覺。 時間ノ知覺ハ主トシテ視感聽感筋感ヨリ來リ體勢ノ使用ノ意識之レガ根底ヲ爲ス。視感ニテ時間ヲ知覺スルハ吾ガ視力ヲ用フルノ長短ニ依リテ生ズ筋感モ同シク筋肉ヲ使用スルノ長短ヲ以テ時間ノ長短ヲ知ルノ元

素ト爲ス。聽感ニテハ耳ニ聞ク所ノ長短ヲ以テ時間知覺ノ材料ト爲ス。要スルニ時間ハ吾ガ主觀ノ作用ヲ持續スルノ久シキト久シカラザルトニ依リテ知覺シ猶ホ之レヲ時計ノ標準ニ判斷シテ其ノ精密ヲ致ス所ナリ。

知覺力ノ發達。

前上諸種ノ知覺ノ性來ヲ推究スレバ吾人ノ知覺ハ漸次進歩シテ完全ノ域ニ達スベシ。生レテ數週ノ間ニハ未タ外物ニ對スル知覺ノ能力ナシ。外物ノ衝動ハ未タ模糊トシテ一モ精確ナルヲ能ハズ。觸視ノ兩感漸ク發達スルニ當リ且之レヲ聯合スルヲ容易ナルニ至リテ始メテ視テ方向ヲ知リ又或ル範圍ノ内ニ於テ巨離遠近ヲ知覺シ得ルニ至ルベシ。一層遠キ物体ノ巨離ハ歩行シ得ルニ至リテ始メテ發達シ來ル者トス。即チ歩行ニ依リテ視ル所ノ大小形態ヲ異ニスルヲ以テ其ノ變化ト歩行ノ多寡トヲ聯合シ以テ距離遠近ノ知覺ヲ精密ニシ斯クテ漸次視感ノ知覺ヲ發達シ來ルヲナレドモ幼稚ニハ未タ甚々不充分ナルヲ免レズ。己レノ常ニ弄フ所ノ玩具ノ牛馬ハ多少ノ距離内ニ之レヲ識別シ得ルモ眞ノ牛馬ハ未タ識別シ能ハザルヲ以テ之レヲ知ルベシ。畢竟スルニ知覺ノ發達ハ感覺ノ發達ニ其ノ元素ヲ受クト雖モ猶ホ此ノ他ニ注意

力ノ發達ヲ含包ス。注意ヲ以テ各感覺ノ作用ヲ凝聚シ變化シ持續シ以テ感覺ノ作用ヲ精密ニシ或ハ之レヲ分配シ或ハ之レヲ結合シ以テ益々知覺スル所ヲ精密ニシ且廣大ニスルナリ。

觀察トハ殊ニ注意ヲ以テ凝聚シタル知覺ナリ。未タ視サル者ヲ視未タ聽カザル者ヲ聽キ而シテ之レガ精密ナル觀念ヲ得ント欲セバ殊ニ綿密ナル注意ヲ以テ之レニ臨マザルベカラズ。故ニ綿密ナル觀察トハ綿密ナル注意ヲ以テ知覺スルニ外ナラズト知ルベシ。

知覺ノ教練。

知覺ヨリ得ル所ノ智識ハ都ベテノ思想ノ根底ト爲ル者ナリ。

此ノ智識精細ナラザレバ記憶スル所ノ智識モ精細ナルヲ能ハズ之レヲ以テ構造スル所ノ思想モ又判斷推理スル所モ勢ヒ精細ナルヲ能ハザルハ猶ホ脆弱ナル分子ヲ以テ堅牢ナル物質ヲ構造スルヲ能ハザルカ如シ。

精細ナル知覺ハ自己ニテ既ニ人生ニ必要ナル又愉快ナル元素ヲ供給ス。精細ナル知覺ハ其レ自己ニ於テ人間幾多ノ實利ナルベキカ或ル事業ノ如キハ全ク或ハ殆ンド全ク精細ナル知覺ヲ以テ成立セリ。例ハ學問ニ於テ博物學ノ如キ商業

ニ於テハ工業品ノ賣買ノ如キ何レモ精細ナル知覺ヲ要スルヲニテ若シ之レチ欠ク時ハ其ノ業務ハ成立シ得ベカラズ。精細ナル知覺ハ其レ自己ニ於テ人間幾多ノ快樂ナリ。植物ニ對シテ精密ナル知覺ヲ發達セル者ハ他人ノ知ラサル幾多ノ快樂ヲ得ベシ又繪畫彫刻古器物美術等ニ對スル快樂ハ全ク其ノ知覺ノ精密ナル所ヨリ來ルノ快樂ナリ。此ノ類ヲ以テ例ヲ求メナハ精密ナル知覺ガ人間幾多ノ快樂ノ源ナルカチ知ルヲ甚タ容易ナルベシ。諸テ知覺教練ノ法ハ實地ニ附キテ知覺ヲ修練スルノ外ニ良法ハアラザルナリ。眼ノ知覺ニ向ヒテ口ニ之レチ説キ耳ニ之レチ聞カシムルモ毫モ其ノ効アルベカラズ。聽感ノ知覺ニ向ヒテ眼ニ見セ口ニ之レチ説クモ決シテ其ノ功ハナキナリ。故ニ實地實物ニ附キテ之レチ教練スルヲ以テ本体ト爲シ教師ニハ精密ナル知覺ノ技能アリ且之レチ綿密ニ働カスノ習慣アリテ其ノ技能ト習慣トヲ自然ニ生徒ニ感染セシムルヲ以テ第一ノ手段ト爲スベシ。兒童ノ心意ハ頗ル寛縦ナレバタトヒ興味ノ多キ者ヲ觀察セシムルモ多クハ輕シク觀過シ去ルノ傾アリ況ンヤ普通ノ事物ニ注意スルガ如キヲニ於テハ甚タ粗漏チ極メタリ。獨リ兒

童ノミニアラズ注意シテ發達セザリシ知覺ハ極メテ粗漏タルヲ免レズ。天下多數ノ人ガ動植學者ノ話説ヲ聞キテ後始メテ數多ノ事柄ヲ動植物ニ發見シ來リテ今迄知覺シ得タリト信セシ所ハ斯ク迄ニモ粗漏ニテ在リシカチ驚クハ常ナルベシ。故ニ知覺觀察ノ習慣ヲ養成スルニハ教師ニ於テ先ツ能ク知覺セシムベキ事物ノ順序方法ヲ考ヘ且己レ自身ノ知覺ノ技能ト習慣トヲ以テ漸次生徒ノ心ヲ感化薰染スベキナリ。

第八章 再生的想像力即記憶

知覺作用ヲ以テ知覺シタルモノハ心中ニ一ノ映像トナリテ永ク止ラントス。之レチ知覺映像ト云フ。今吾レ風景ヲ見テ眼ヲ閉ツレバ其ノ風景ハ宛然心中ニ映寫セラレベシ。其ノ狀恰モ寫真ノ術ヲ以テ人物風景ヲ紙上ニ寫シ取レルガ如シ。此ノ寫真ハ數日數月數年ノ後ヲニ於テモ猶ホ想像スルヲ恰モ當時ニ之レチ見ルカ如クナルヲ得ベシ。此レチ想像ト云フ。其ノ理ハ現ニ知覺スル所ニアラザル者チ心中ニ想ヒ起シテ其ノ像ヲ作ルニ依ルナリ。但シ此ノ想像タルヤ未ダ曾テ

知覺セザル者ヲ想像スルニアラズ皆以前ニ實驗セル所ヲ其ノ儘ニ再ヒ想ヒ出シテ其ノ像ヲ畫クヲナレバ之レヲ再現的想像ト云フ。此ノ意ハ以前ニ經驗シタル者ヲ再ヒ想ヒ出スト云フニ在リテ普通謂フ所ノ記憶即チ是レナリ。知覺シタル者ノ心中ニ在ルヤ知覺映像トナル此ノ知覺映像ガ再生セラレタル者ヲ再生的映像ト云フ。再生想像力即チ記憶力トハ知覺映像等ノ把住セラレタル者ヲ再生シテ之レヲ映寫シ出スノ作用ヲ云ヒタルニテ此ノ作用ヲ支配スル理法ヲ記憶ノ理法ト云フ。

今吾ガ心中ニ想像スル所ノ動物ノ想像ハ實ニ去年見タル所ノ動物ノ像ナレド全ク去年實驗セシ知覺映像トハ同シカラザル所アリ。其ノ異ナル所ノ要点ハ左ノ如シ。現在ノ知覺映像ハ明瞭ナリ過去ノ想像的映像ハ朦朧タリ現在ノ知覺映像ハ眼ヲ開ケハ視ザルヲ得ズ手ニ觸ルレバ感セザルヲ得ズ即チ吾ガ意志ヲ以テ其ノ存亡ヲ左右スルヲ能ハザルモ想像的映像ハ吾ガ意志ヲ以テ之レヲ映出スルヲモ又ハ映出セザルヲモ得ルナリ。知覺映像ハ必ズ場所ニ離ルベカラザル關係ヲ有スルモ想像的映像ハ場所ニ關係セズ天ヲ仰キテモ地ニ俯シテモ毫モ異ナ

ルヲナシ。又知覺映像ハ突然トシテ來リ突如トシテ去ルモ想像的映像ハ徐々トシテ來リ徐々トシテ去ル。以上ハ現在ノ知覺映像ト過去ノ知覺映像ノ想像セラレテ再生シタル映像トノ異ナル所ノ重ナル諸点ナリ。心中ニ在ル映像ハ現在ノ知覺アル時ニハ必ズ多少喚起セラレテ之レト錯綜スルヲ常トス。現在視テ而シテ知覺シタリト云フハ現在ノ働キニハ相違ナキモ其ノ中ニハ必ズ多少想像セラレタル過去ノ映像ヲモ包含セリ。例ヘハ兒童カ慈母ヲ視ル時ハ同時ニ以前ニ心中ニ作り成セル慈母ノ映像ヲ喚起シテ之レヲ現今ニ知覺スル所ノ映像ト混和錯綜ス。故ニ此レ單純ナル知覺的映像ニアラズシテ現在ノ知覺ノ映像ト過去ノ映像ト錯綜シテ成レノ所ノ映像ニシテ即チ幾分カ想像的映像ヲモ含有セルナリ。再現映像ニ明瞭ナルアリ不明瞭ナルアリ。其ノ再現シタル者ノ部分ガ盡ク明瞭ニシテ各部ノ關係亦明ナル時ハ其ノ映像ハ明瞭ナリ。之レニ反シテ各部カ曖昧ニシテ其ノ相互ノ關係モ明ナラザル時ハ其ノ映像ハ不明瞭ナリ。此ノ明瞭不明瞭ニモ大ナル差等アルヲニテ其ノ最モ明瞭ナルハ畫家カ一見シタルノミニテ之

又一たび印像セラレタル者モ長キニ亘ル時ハ自微弱ト爲リテ遂ニ全ク消滅ニ歸ス。故ニ一たび印像シタル者ヲ永ク保持セシメントモハ再々之レヲ反覆復習セサルベカラズ。人々自之ヲ已レニ反省スレバ必ズ思ヒ半ニ過クル者アルベシ。余ガ三十年來經驗シタル所ノ事物勘キニアラズ而シテ其ノ中實際記憶シ居ル所ハ其ノ幾分ノ一ニ過ギザルナリ。而シテ吾人ガ最モ能ク記憶スル所ハ屢々之ヲ反覆セル所ナリ。サレド唯空ニ反覆シタルノミヨテハ其ノ功甚タ薄カルベシ。兒童ガ終日喧々トシテ口ニ唱呼スルモ記憶ハ割合ニ薄弱ナルハ是レ單ニ反覆ノミニテ足ラサルノ證ニシテ即チ反覆ノ注意ト兩者結合シタル勉強ヲ以テスルニアラザレバ其功ノ全カラザル所以ナリ。眞ノ復習勉強トハ他ノ謂ニアラズ注意ヲ以テスル所ノ反覆是レナリ。

再生作用。 深刻セラレタル印像ハ再生セラル、コモ從ヒテ容易ナレトモ把住ト再生トハ其ノ事柄ニ區別アリ。善キ把住ハ再生ニ必要ナル一條件ニシテ再生ノ作用ヲ支配スル理法ニハアラズ。再生作用ノ理法ハ一括シテ聯合ノ理法ト云フ。同時ニ起リタル者或ハ同場所ニ起リタル者ハ互ニ相結合シテ心中ニ浮ビ

出テントスルノ傾アリ。是レ即チ聯合ノ理法ナリ。例へハ其ノ人ノ官名ヲ思ヒ出スニ連レテ其ノ姓名ヲ思ヒ出シ其ノ姓名ニ連レテ其ノ住居ヲ思ヒ出スカ如シ。其ノ相提起スル有様ハ恰モ相互ノ間ニ線索ヲ以テ結び付ケ其ノ一ヲ引ケハ他ノ數多ノ者モ從ヒテ引き出サル、ガ如シ。

心中ニ在ル印像ハ種々ノ線索ニ依リテ結合セラル、者ニシテ其ノ聯合ノ線索ノ種目ヲ細分スレバ大凡次ノ數目ト爲ルベシ。接近ノ聯合類似ノ聯合反對ノ聯合係屬ノ聯合等はレナリ。

接近聯合トハ心意上相近キ者ノ互ニ聯合シテ提起セントスル勢力アルヲ云フ。心意上ニテ相接近スル者トハ強チ物質空間上ニ接近スル者ノミニアラズ勿論物質空間上ニ相接近スル者ハ其ノ心ニ經驗セラル、時モ接近シテ來タルコト多キヲ以テ心意上ニモ又自相接近スルニ相違ナキモ是レ畢竟偶然ノ接近ニシテ必至ノ接近ニアラズ。空間上ニハ甚タ接近セザルモ心意上ニハ頗ル接近セル者アリ又空間上ニハ甚タ接近セル者ハ時間ノ引き繼キテ印像シ來ル者トス。原因結果ノ關係ノ

如キモ心意上ニ接近ノ聯合セシムル者ノ一タリ。例ハ甲乙ノ原因結果ニ附キテ甲ノ原因ヲ思ヒ起セバ乙ノ結果ヲモ思ヒ起シ乙ノ結果ヲ思ヒ起セバ甲ノ原因ヲ思ヒ起シ兩者互ニ相提起スルカ如シ。此ノ理法ハ二個ノ間ニ存スルニ止ラズ其ノ數複雑ニシテ數百千ニ至ルモ同シ事ナリ。

吾人ガ思ヒ出ス聯合ノ觀念ノ中ニテ相提起スルノ甚タ容易ナル者ト然ラザル者トアリ。其ノ容易迅速ナル者ニ至リテハ殆ント無意識的ニ起リ來ル。朋友ニ遇ヒテ直ニ其ノ姓名ヲ思ヒ出シ文字ヲ視テ直ニ之レヲ讀ミ去ルカ如キハ實ニ聯合ノ確實ニシテ相提起スルノ容易ナル者ナリ。之レニ反シテ現ニ其ノ人ニ接シナガラ其ノ姓名ヲ思ヒ出スヲ能ハズ或ハ文字ヲ視テ其ノ意味ヲ思ヒ出スヲ能ハサル等ノ事アリ。此レ等ハ聯合ノ確實ナラズシテ相提起スルノ困難ナルニ生ズ。

又此ノ聯合ハ人ニ依リテ一般ニ強固ナルアリ薄弱ナルアリ十人集レバ十色ニシテ其ノ實ニ驚クベキ程ノ差等アルヲ視ル。

然ラバ如何ナル者ガ聯合ノ最モ強キ者ナルカノ問題ヲ解釋スルヲ必要ト爲ルナリ。先ツ第一ニハ同時ニ注意シタル者ハ勢ヒ聯合セザルヲ得ズ。人物ト其ノ談

話ト聯合シ花卉ト庭園ト聯合シ物品ト產地ト聯合スルカ如シ。斯クテ聯合ノ線索ハ注意ヲ以テ印像ヲ把住スル所ニ存スルヲ以テ必ズシモ物体ノ關係ノ厚薄ノミニ依ルニアラズ。又之レヲ實驗スル人ノ心意ノ狀態ニモ關セリ。例ハ同時ニ甲乙ノ二人博覽會ニ行キテ同シ物品ヲ同シ場所ニ見ルモ兩人ノ心中ニ聯合記憶スル所決シテ同シキヲ得ズ。是レ各其ノ好ム所興味ヲ感スル所ヲ異ニシ從ヒテ注意スル所同シカラザレバナリ。故ニ聯合ハ第一ニ其ノ人ノ注意スル所ニ依リテ異ルナリ。

一回ノ印像ノミニテハ把住スルヲ勢ヒ微弱ナルヲ以テ之レヲ思ヒ出スヲモ薄弱ナラザルヲ得ズ。故ニ同時ニ注意シタル者ニテモ之レヲ放置スル時ハ漸次相提起スル力ヲ弱カラシムルヲ免レズ。飽クマテ其ノ聯合ヲ堅固ニセントナラバ再々之ヲ反覆セザルベカラズ。是レ反覆ヲ以テ聯合ヲ強カラシムル所以ナリ。

類似聯合。 接近聯合ハ聯合ノ重ナル者ナレバ其ノ他ニ猶ホ聯合ノ種類ヲ分ツ。類似聯合ヲ其ノ重要ナル者トス。類似聯合トハ心中ニ在ル映像ノ類似セル者ハ互ニ相提起スルノ力アルヲ云フ。例ハ寫眞ヲ視テ其ノ現物ヲ思ヒ出シ苗

字ヲ見テ其ノ人物ヲ思ヒ出スガ如シ。類似ノ者ニ相提起スルノ力アルハ獨リ外物ニ對スル映像ノミニアラズ感覺情緒意志ニ於テモ亦然リトス。赤キ者ヲ見テ爲ニ以前ニ感シタル赤キ者ヲ思ヒ起シ苦キ藥ヲ服シテ爲メニ以前ニ飲用シタル苦味ヲ思ヒ起スガ如キハ同シ感覺ニ依リテ類似提起シタルナリ。哀レナル者ヲ視テ哀レナル情ヲ起シ此ノ情ニ依リテ以前ニ感シタリシ哀レナルヲ思ヒ起シ悔シキ情アリテ以前ノ悔シキ事ヲ思ヒ起スカ如キハ是レ類似ヲ以テ聯合シタル類同ノ情ヲ思ヒ起スナリ。又今思慮シツヽアルコニ依リテ以前ニ思慮シタル同シ種類ノ思慮ヲ思ヒ起スハ同シ種類ノ意志ヲ聯合想起セルナリ。

吾人ガ智識經驗ヲ積ムニ從ヒテ新ナル事物ヲ記憶スルコノ容易トナルハ他ニアラズ從來得タル所ノ智識經驗ノ類似ニ依リテ新ニ入ル所ヲ結合把住スルニ依ルナリ。

類似ノ聯合モ精細ニ分拆スレハ接近ノ聯合ト甚タ相近キ所アリ。故ニ古來心理學者中ニ二者ヲ同一理法ノ下ニ歸セシメタル者尠カラズ。ハミルトン氏ハ二者ヲ合一シテ之レヲ復原作用ト名ケスメンサル氏ハ接近聯合ヲ類似聯合ノ中ニ説

明セリ。

二者ノ關係頗ル相類似セルハ心意ノ接近ハ必スシモ客觀界ノ事物ノ接近ト同轍ニ出デズシテ前上畧説シタルガ如ク心意ノ接近ハ即チ心意ノ接近ニシテ此ノ接近ハ頗ル類似ノ關係ト相似タル所アレバナリ。例へハ牛ト狐トハ實物上一モ關係スル所ナク其ノ間甚タ相遠キ者ナレドモ心意ノ映像ニ於テハ同シク哺乳動物中ニ在リトスル時ハ其ノ相隔ツルコト頗ル近シ客觀界ノ實際ニ於テハ牛ノ側ニ雜草アリ又狐ノ住居スル所ハ洞窟ナレバ牛ハ雜草ニ近ク狐ハ洞窟ニ近クシテ牛ト狐トハ直接ニ關係スル所ハアラザルナリ。然ルニ心意上ニ於テハ牛ト狐ト相接近セルハ是レ其ノ性質上ニ於テ互ニ相類似シタル所アルカ故ナリ。故ニ一方ヨリ見レバ接近ハ即チ類似ト云フモ可ナル所アルカ如シ。接近ト類似ト關係スルコト斯ノ如キガ故ニ一步ヲ其ノ關係ノ講究ニ透入スレバ此ノ兩者ハ甚タ相類似シテ殆ント之レヲ分ツノ必要ナキニ至ルベシ。唯便宜ノ爲メニ相接近シテ經驗セシガ爲メ互ニ聯合提起スルヲ接近聯合ト云ヒ經驗ハ接近セサルモ互ニ類似スルノ故ヲ以テ聯合スル者ヲ類似ノ聯合ト謂ヒ分ツナリ。

直接ニ類似セルニハアラザルモ其ノ性質ノ相對比スベキ所アル者ハ類似様ノ關係ニ依リテ聯合シテ相提起スルノ力アリ。河水ノ流レテ已マザルハ歲月ノ究ナク逝キ去ルト對比スベク白色ハ清潔ト對比スベク紫色ハ高官ト對比スベク春ハ少年ト對比スベク冬ハ老年ト對比スベシ。是レ亦類似聯合ノ一種ニシテ殊ニ對比ト聯合トシテ或ル學者ノ説明スル所ナリ。

反對聯合。 反對セル者ハ互ニ相聯合提起スルノ力ヲ有ス。白色ハ黑色ヲ提起シ高キハ低キヲ提起シ善ハ惡ヲ提起スルガ如キ是レナリ。之レヲ反對聯合ト云フ。但此ノ反對聯合ハ接近聯合ノ如ク眞ニ獨立ナル一個聯合ノ縱索ナルヤ否ヤハ學者ノ夙ニ疑フ所ナリ。ペイン氏ノ如キハ寒ト暖ト又高キト低キト互ニ相提起スルカ如キヲ反對ニ依リテ提起スト謂フ者アレドモ是レ畢竟同シ性質ノ程度ヲ異ニスル者ノ互ニ相聯合スルニ過キス。寒暖相異ルモ等シク是レ溫度ナリ高低相異ルモ等シク是レ高サナリ。故ニ斯ノ如キ反對ノ提起ハ寧ロ之レヲ類似ノ提起ト見テ可ナリト迄論セリ。

元來心意ニ意識アルハ變化アルガ故ニシテ其ノ變化ノ最モ著シキ者ハ反對ナリ

トス。サレバ反對ハ意識アリ感覺アリ知覺アルニ最モ良好ナル状態ナレバ一經驗ノ心ニ來リ心ノ之ヲ受取ルヤ必ズ之レガ反對ノ經驗ト多少接近的ノ聯合ヲ起スヤ必セリ。是レ反對聯合ノ生スル所以ニシテ此ノ点ヨリ見レバ反對ノ聯合モ亦接近聯合ノ一種ト見テ可ナリ。又吾人日常ノ談話ハ反對相證スルハ最モ意味ヲ明ニスルニ容易ナリ。白ト云フヲ黒ニアラズト云ヒ善ト云フヲ惡ナラズト云ヒテ説明スルハ人ノ常ニ爲ス所タルヲ以テ反對互ニ相聯合シ易キ所以アルヲ見ルベシ。文章ノ語ニ黑白、大小、長短、善惡、明暗、賢愚、ナド極端ト極端ト即チ反對ノ語ヲ熟行セシムルノ多キハ既ニ其ノ聯合シ易キヲ證明シ且ツ其ノ熟行ノ爲メニ益々相提起スルヲ容易ナラシムルニ至ルヤ明ナリ。此ノ理ニ依リテ見レハ反對聯合チ一種ノ聯合トスルモ必スシモ牽強ノ見ト謂フベカラズ若シ又之レチ他ノ聯合ノ内ニ包含セシメント欲セハ寧ロ接近聯合ノ一種ト見ル可キカ如シ。

以上各種ノ聯合ニ依リテ映像ノ互ニ相提起スル縱索ヲ尋ヌレハ頗ル多端ト爲ル。試ニ家康ノ一語ヲ想像スレバ幾多ノ映像ノ之レニ伴ヒ起ルベキカ世人須ク之レヲ經驗セヨ。直ニ其ノ多端ナルヲ見ルベシ。之レヲ映像ノ聯鎖ト云フ。眼ニ視

タル者ハ同シク視タル者ヲ聯鎖ヲ想起セシメ耳ニ聞キタル者ハ同シク聞キタル者ヲ聯鎖ヲ想起セシメ運動ニ爲シタル者ハ同シク運動ニ爲シタル者ヲ想起セシメ其ノ外視聽一切ノ感覺ノ聯合シテ以テ互ニ相提起セントスルノ聯鎖ニ至リテハ實ニ其ノ際限アルベカラズ。幼兒ニ在リテハ其ノ聯鎖充分ニ脈絡ヲ通セサルカ故ニ互ニ相提起スル所甚ク狭ク極メテ幼稚ニ於テハ單ニ一ノ知覺ヲ想起スルニ止ルモ漸ク一ノ知覺映像ト他ノ知覺映像トノ間ニ聯絡ノ縲索ヲ結ヒ附ケ愈其ノ縲索ヲ擴張スルニ依リテ思想ノ聯鎖ヲ益々擴大ニ進マシメ大人ニ至リテハ實ニ際限ヲ知ラザルカト疑フ迄ニ發達スルナリ。

記憶ノ富饒ニシテ想ヒ出スノ容易ナルハ此ノ聯鎖ノ堅固ニシテ其ノ縲索ノ行路ヲ誤ラザルニ存ス。今關原ト云フ語ヲ聞ケハ當時ノ將卒彼ノ地ノ形勢當時戰爭ノ模様諸將ノ兵略天下ノ大勢等ヲ想起シ而テ斯ク想起セラレタル映像ハ皆關原戰爭ノ一中心ノ下ニ集簇シ之ヲ説明シ之レヲ補充シ以テ明瞭ナル想像ヲ心中ニ浮バシム。斯ク數多ノ映像ヲ提起シ之レヲ當初中心ノ映像ノ下ニ聯合シテ益之レヲ擴張シ且明瞭ニス。記憶ノ富饒ナル者トハ即チ此ノ謂ヒナリ。

之レニ反シテ想像提起スル所ハ如何ニ數多アルモ其提起セラレタル者散乱放失シテ一統スル所ナキ時ハ其ノ記憶ハ甚完カラズト謂フベシ。精神病患者ガ一事ノ衝動ニ會スルヤ忽チ數多ノ聯想ヲ生スルモ其ノ提起スル所ハ更ニ一統セラレ所ナク風馬牛ノ如ク相走リテ遂ニ底止スル所ナキハ聯合記憶ニハ相違ナキモ其ノ聯合ノ縲索常ノ行程ヲ誤リタル者ニシテ是レ病体ナリ。試ニ兒童ノ聯合記憶ニ附キテ細カニ注意セヨ。往々聯合ノ縲索ヲ誤リテ案外ノ邊ニ走リ去ルヲアルヲ見ルベシ。要スルニ聯合ノ爲メニ提起セラレタル所ノ數多ノ觀念ハ恰モ原衝動ノ觀念ヲ中心ノ大池トシテ之レニ向ヒテ集合スル所ノ細大河流ノ如クナルベシ。若シ衝動ノ原觀念ヲ中心ノ潰水トシテ之レヨリ秩序ナク溢流シ益々原泉ヲ遠リテ愈々歸着スル所ナキハ病体タルヲ免ルベカラズ。前上舉ケタル所ノ如ク精神病患者ニ附キテ實驗セバ直ニ其ノ著明ナルヲ見ルベシ。斯クテ記憶ノ善良ナルハ映像ヲ貯蓄スルヲ多キト之レヲ再生スルヲ容易ナルト且其ノ再生セラレタル映像ガ能ク各自ノ目的ニ協ヒテ統一セラルトトノ三條ノ具ハレルノ謂ヒナリ。諸テ又記憶ニハ無意ニ思ヒ出スヲ得ル程ニ容易ナル

者ト全ク忘失シテ痕跡ナキ程ニ至ルマテ數段ノ階級アリ。其ノ甚々容易ナル者ニ就テハ聲ヲ聞キテ直ニ朋友ノ姓名ヲ思ヒ出シ門戸ヲ見テ直ニ家内ノ造作ヲ思ヒ出ス等吾人日常ニ習熟セル所ニ附キテ見ルベシ。

記憶ト謂ヘハ區分スベカラザル一体ノ官能ノ如シト雖モ然ラズ視タル者ノ記憶聽キタル者ノ記憶其ノ外心能各種ノ働キニ附キテ各中樞アリ其ノ中樞ニ記憶スルヲナレバ記憶ノ實際ハ數多ノ中樞ヨリ成立スル者ト謂ハザルヲ得ズ。故ニ一般何事ニ向ヒテモ記憶ノ良好ナル人アリ又良好ナラザル人アルノミナラズ特別ノ事物ニ附キテモ頗ル差等ノ著シキモノアルヲ視ルベシ。甲ハ頗ル彩色ノ記憶ニ富ミ乙ハ音聲談話ノ記憶ニ富ミ又中ニハ兎角人ノ姓名ヲ失忘シ易キ人アリ。此ノ差異ハ其ノ人ノ天賦ニ屬スルカ或ハ習慣教育ノ結果ニ屬スルカノ二者ノ一ヲ出ヅベカラズ。而シテ二者共ニ其ノ原因タルガ如シ。天性良好ナル記憶ヲ有スル者アルヲ疑ナシ。何ニ事ニ向ヒテモ善ク記憶シ得ル者アリテ又特ニ或ル者ニ附キテ記憶ノ衆ニ勝リタルアリ既ニ幼兒ニ於テ其ノ差等ノ著シキヲ見ル。是レハ主トシテ其ノ感覺機ニ精細ナル辨別ノ力アリ從ヒテ之レニ向ヒテ他ノ辨別力

ニ乏シキ者ヨリモ多クノ興味ヲ感スルカ故ナルベシ。

辨別ノ精細ナルハ天賦ニ出ツト雖モ又當人ノ事狀勉強及ヒ教育ノ如何ニ屬スルヲ多キヤ疑ナシ。人ノ記憶力ハ自己ノ勉強ニ依リテ著シク進歩スル者ナリ。工業家音楽家等専門ノ技士或ハ學者カ其ノ専門ノ事柄ニ向ヒテ實ニ夥シキ記憶ヲ有スルハ是レ勉強教育ノ結果ヲラズハアラズ。

記憶力ノ生長。 生レテ二三週ニシテ既ニ其ノ母ヲ認メ數ヶ月ノ後ニハ言語ヲ聞キテ觀念ノ符號ト爲ス。二歳ニ至レハ物体上具像ノ記憶ハ頗ル活動シ來リ十歳ニ至レハ殆ント其ノ極ニ達ス。故ニ少年ノ時期ハ具像的ヲ教練スルノ時期ナリ。十一二歳ノ頃ヨリ少シク抽象ノ者ヲ記憶シ漸次發達シ十八歳ニ至レハ既ニ其ノ極ニ達ス。故ニ此ノ時代ハ抽象的記憶ヲ教練スルノ時代ナリ。以後記憶ハ勉強ニ依リテ益進歩スルモ中年ニ至レバ其ノ漸ク衰亡ニ傾ク者ヲ多シトス。然レ平常ニ此ノ力ヲ使用ノ已マザレバ老年ニ至リテモ之レヲ弱カラシムルヲナキヲ得ベシ。

記憶力ノ教練。 記憶力ノ教練ニ附キテハ二方向ニ之レヲ勉ムベキナリ。其

第一ハ記憶ノ物質ヲ取得セシムルヲ第二ハ想起ヲ容易ナラシムルヲ爲ス。
 第一ニ附キテハ身体ノ新鮮心意ノ強壯ナル時ニ於テ之レヲ與フルヲ之レヲ與フルニ充分ノ注意ヲ凝集セシムルヲ再々之レヲ反覆セシムルヲ或ハ時ニ書記シテ其ノ印像ヲ深カラシムルヲ能ク聯合ノ道筋ヲ傳ヘテ之レヲ把住セシムルヲ等ヲ以テ教練ノ方法ト爲スベシ。

第二ノ想起ヲ容易ナラシムルヲニ附キテハ先ツ第一ニ常ニ想起回想ノ練習ニ熟セシムベシ。常ニ想起ヲ練習スル時ハ心中ノ觀念思想ハ容易ニ意志ノ召喚ニ應スベシ。然ラズシテ之レヲ放置スル時ハ之レヲ取得スルニ幾許ノ刻苦ヲ盡テモ遂ニ思ヒ出スヲ得ザルニ至ルベシ。故ニ教師ハ巧ミニ疑問ヲ設ケテ常ニ生徒ノ智識ヲ喚起シ生徒ノ智識ハ常ニ巧ミニ喚起セラルカ故ニ遂ニ命ニ應シテ容易ニ想出セラルニ至ラシムルヲ得ベシ。

第九章 構造的想像力

心中ニ存スル映像ヲ想出スルヲ概シテ想像力ト云フ。單ニ過去ノ想像ヲ其ノ儘

ニ想出スルハ前章ニ詳論セシ再生的想像即チ記憶作用ナリ。其ノ外新ニ構造シテ未ダ曾テ經驗セザル心像ヲ想像スルヲ得ルノ力アリ。是レ即チ構造的想像ナリ。吾人ハ駿河ニ於テ見タル所ノ富士ノ山ヲ陸前ノ松島灣中ニ徙シ又タ日光山ニ於テ視タル所ノ燦爛タル殿堂ヲ其ノ島上ニ建築シ且春信ノ浮世繪中ニ視タル所ノ元祿時代ノ武士ヲ其ノ社庭ニ行列セシムルヲ得ベシ。斯ノ如ク未ダ曾テ見聞セザル所ノ新奇ヲ心中ニ構造スルハ單ナル再生的想像即チ記憶作用トハ全クノ別作用ニシテ之レヲ新奇構造的ノ想像ト云フ。通例想像ト稱スルハ此ノ作用ヲ指セルナリ。

想像力ノ分解。 想像力ヲ分解スルニ先ツ第一ニ過去ノ心像ヲ再生スルヲ即チ記憶第二ニハ之レカ原形ヲ破壊シテ部分ト爲スヲ第三ニハ斯ク破壊シタル部分ヲ元素ト爲シテ新規ノ形狀ニ組ミ立ツルヲ三條ヲ包含セリ。

盲者ノ夢ニ色ナク聾者ノ夢ニ音聲ナキ道理ニ依リテ我が過去ニ經驗セザル者及ビヨシヤ經驗セルモ之レヲ記憶シ居ラザル者ハ想像ノ材料ト爲ルヲ能ハズ。未ダ船ト見ザル兒童ニハ如何ニ船体ノ事ヲ話説シ聞カスルモ之レヲ悟ラシムルコ

ト能ハズ未タ演劇ヲ見ザル者ニ向ヒテ劇場ノ談ヲ爲スモ到底其ノ狀況ヲ想出セシメ得ベカラズ。故ニ想像力ヲシテ活潑ナラシムルニハ舊經驗ノ追憶ヲ以テ第一必要ノ條件ト爲ス。

構造的ノ想像ハ舊經驗ヲ想出スルノミニアラズ之レヲ新奇ノ形トシテ更ニ構造スルコトナレバ舊經驗ヲ其ノ部分ニ破壊シテ之レヲ新規ニ組成セザルベカラズ。心能ノ働キ頑鷲ニシテ當初得タル所ノ形狀ノ外ニ智識ノ形狀ヲ左右スルコト能ハズトセバ其ノ構造力ハ誠ニ限りアル者タルベシ。例ヘハ吾人が今記述スル文章ハ皆是レ曾テ習ヒ覺エタル所ノ字句文字ヲ以テ組成スル所ナレドモ當初得タリシ時ノ如キ結構ヲ其ノ儘ニ再現スルニアラズシテ全ク其ノ結構ヲ改造シタルナリ。斯ク當初ノ結構ヲ破壊スルト同時ニ新ニ結構スルノ作用ヲ成就シテ此ニ想像ノ作用ヲ完カラシム。

想像力ノ制限。 吾人が想像ハ活動自在ニシテ其ノ富饒ナル者ニ於テハ實際ニ際限スル所ヲ知ラザルナリ。三面六臂ノ夜叉ヲモ想像スベク火池針山ノ殘狀ヲモ想像スベシ。馬琴京傳ノ想像力ヲ見ルニ縱横自在ニシテ際限スル所ナシ。然

レ元來既得ノ智識ヲ以テ構造スルコトナレバ此レヨリハ一步モ超出スルコト得ザルノ界限森然トシテ犯スベカラザルアリ。先ツ其ノ自然ノ現象ニ關スル想像ニハ感覺知覺ノ境界ヲ超ユベカラズ其ノ心意ノ現像ニ關スル想像ニ於テハ主觀意識ノ境界ヲ超過スベカラズ。盲者ノ想像ニ色ノ元素ナク聾者ノ想像ニ音聲ノ元素ナキハ是レ心中ニ其ノ元素ナキガ故ニシテ是レ即チ感覺知覺ノ境界ヲ超過スルコト能ハザルノ證タリ。又極樂ヲ杉葉立てたる宿六のかゞト咏セシ歌ノ意ハ決シテ下戸ノ想像ニ能ハザル所ナルハ。即チ主觀意識ノ境界ヲ超過スルコト得ザルノ證タリ。見ヨ馬琴ノ想像ノ鬼神ヲシテ其ノ後へ撞着セシムルカ如クニ自在ナルニモ拘ラズ其ノ萬卷ノ著作中黒烟ヲ長天ニ漲ラシ怒濤ヲ大洋ニ叱咤スルノ瀛船アルコトナキナ。是レ其ノ之レヲ見聞セルコトナク從ヒテ其ノ心中ニ想像ノ元素トシテ存在スル所ナキガ故ナリ。

想像力ノ種類。 想像力ノ種類ニ數多アリ先ツ其ノ形体ヨリ見レバ自動的ト活動的トノ二種ニ分ツベシ。又其ノ實體ヨリ見レバ智識上ノ想像實行上ノ想像及ヒ美術上ノ想像ノ三種ト爲スベシ。

外部ノ召喚ニ支配セラレテ構造スル所ノ想像力ヲ受動的ノ想像ト爲ス。詩歌文章ヲ讀ミ或ハ人ノ談話ヲ聽キテ此ヲ想出スルハ吾カ心ヲ以テ想像シ出スニハ相違ナキモ其ノ想像スベキ事柄及ビ順序ハ一切該詩文談話ノ爲ニ支配セラレ、ニテ即チ其ノ命ノマニク想像シ來ルナリ。之レニ反シテ文章家カ自意匠ヲ凝テシ其ノ意匠ニ依リテ想出スルカ如キ又機械技士ガ新ニ一機械ヲ工夫シ出スカ如キハ初ヨリ終リマテ全ク已レノ想像ニ成ル所ニシテ此般ノ想像ヲ活動的想像ト云フ。他人ノ談話文章等ヲ明瞭ニ理會スルニハ受動的想像ニ富マサルベカラズ又新ニ工夫シテ發明スルニハ活動的想像ニ富マサルベカラズ。

想像ノ實體トハ成シ上ケタル想像ノ種類ヲ云フニテ即チ其ノ想像力ノ構造スル所智識ニ在ルカ意志ニアルカ情緒ニ在ルカニ依リテ區別セラル、所ナリ。想像力ハ智識上ニ構造スルヲアリ意志上ニ構造スルヲアリ情緒上ニ構造スルヲアリ。尤モ想像ハ元來知力ニ屬スル所ナルヲ以テ想像ノ働キハ知力ノ作用ナレ用フル所ノ材料及ヒ構造ノ結果トシテ成就スル者ノ知情意ノ何レニ屬スルカニ依リテ以上ノ如クニ區別シタルナリ。此ノ点ヨリ想像ヲ分チテ(一)事物ノ智識ニ附キ

テ爲ス所ノ想像(二)事物ノ實行ニ就キテ爲ス所ノ想像(三)情緒ノ満足ニ附キテ爲ス所ノ想像ノ三種ト爲ス。第一ハ智識的ノ構造第二ハ實行上ノ構造第三ハ美妙上ノ構造ト爲ス。

智識上ノ構造。 智識上ノ構造ハ最モ巨多ニシテ且必要ナル働キナリ。是レ新智識ヲ得ルニモ又將來ノ計畫ヲ立ツルニモ必要ナリ。未タ曾テ眼ニ實驗セザル事物風景現象等ヲ詩歌文章ニ讀ミ或ハ談話ニ聞キテ其ノ實況ヲ眼ニ見ルガ如クニ想像スルハ智識ノ取得ニ必要ナリ又將來ノ狀況ヲ想像シテ之レニ對スル計畫ヲ立ツルハ處世ノ道ニ於テ必要ナリトス。此ノ前例ハ受動的ノ想像ニシテ其ノ後例ハ活動的想像ナリ。

理會ト云フ言語ノ内ニ幾多ノ元素ヲ包括セルカヲ見ヨ。其ノ多クハ實ニ想像力ヲ以テ成立セリ。吾レ今機械ノ説明書ヲ讀ミ或ハ之レヲ聽キテ理會スト云フ。諸テ此ノ理會トハ其ノ實左ノ如キ作用ニ過キザルナリ。先ツ其ノ記述若クハ談話ニ附キテ吾カ心ノ記憶ニ存スル種々ノ智識ヲ喚起シ之レヲ該記述若クハ談話ヲ中心トシ其ノ周邊ニ統一シ其ノ統一ノ全キヲ得タル所是レ即チ理會ナルナリ。

理科ノ學問ノ理會ハ多クハ推理力ニ依ル者ナレドモ亦大ニ想像力ノ働キニ助テ借ラザルヲ得ズ。例ヘハ神經ト腦髓中ニ在ル中樞トノ聯絡及ビ神經末端ノ受感部トノ聯絡ノ事ハ之レヲ實驗スルコト能ハズ吾人ガ實驗シ得ル所ハ僅ニ神經纖維及ビ其ノ末端ノ受感部ニ於ケル種々ノ形狀ト腦髓中ニ在ル神經細胞及ビ之レヨリ枝出スル所ノ神經脚トアルノミ。其ノ中樞ナル神經細胞ト神經纖維トノ聯絡ハ今日ノ學問ニ於テ未タ實驗スルコト得ズ而シテ學者ハ恰モ之レヲ聯絡シタルガ如クニ説述シ其ノ官能並ニ衝動傳發ノ順路ヲ確定シタル者ト爲セリ。去レド是レ實驗シタル所ニハアラズ全ク心中ニ構造シタル者ニ屬ス。又血液循環ノ道程ノ如キモ吾人ノ之レヲ明言スルコト恰モ流車ニ乘リテ東京ヨリ西京マテノ道程ヲ指示スルガ如クニ爲スト雖モ實際ニ之レヲ實驗シ得タルニハアラズ即チ其ノ日ヲ觀ルガ如クニ明瞭ナルハ想像力カ確實ナル材料ヲ以テ構造セル所ナリ。新ニ工夫發明スルハ最モ想像力ノ預ル所ト爲ス。古來學理ノ發明カ再々失敗シ其ノ失敗ノ度毎ニ少シツ、其ノ道理ヲ明ニシツ、進歩シ來ルヲ見ヨ。例ヘハ血液凝固ノ原因ヲ明ニセントテ種々ノ學理ヲ工夫シ其ノ理論愈出テ、益々歸着ス

ル所ナク今日未タ一統スルコトナキハ其ノ全ク想像的構造ニ屬セルコトヲ明ニセリ。若シ之レヲシテ二ト三トヲ合スレバ五ト爲ルト云フカ如キ純然タル推理的ノ働キナラシメハ斯クマテニ失敗ヲ重テ斯クマテニ種々ノ議論ヲ生セシムルコトハ決シテ無カルベシ。

實行上ノ構造。 吾人ガ行爲ニ決行スル所及ビ決行セント欲スル所ハ大ニ想像力ノ作用ニ助力ヲ受クル者トス。例ヘハ談話セントスルニ又ハ記述セントスルニ當リテ吾人ハ幾多ノ工夫ヲ盡スカヲ見ヨ。其ノ些末ナルコトハ婦女子ガ衣服ノ裁縫ニ費ヤス所ノ工夫又ハ兒童カ遊戲ニ費ヤス所ノ工夫等ヨリシテ大ナル者ハ將軍ガ明日ノ戰略ハ如何ニ其ノ陣營ヲ布列シ如何ニ糧重輜量ヲ送達シ如何ニ各隊進退ノ驅引ヲ指揮スベキカ敵若シ此様ノ變化ヲ爲サバ吾レハ之レニ應スル如何ナル變化ヲ以テスベキカ等ノ想像ニ至ルマテ皆實行想像ノ範圍ニ屬セリ政事家ガ政略上ノ工夫機械工藝家ガ製造機械ニ於ケル工夫ノ如キニ附キテ考フレバ此ノ實行上ノ想像ノ人事ニ關係スル所頗ル廣キヲ見ルベシ。

美妙上ノ構造。 美妙上ノ構造ハ直接ニ愉快ヲ以テ目的トスル者ニシテ其ノ

結果ノ實行上又ハ道理上ニ誤リナキヤ否ヤハ毫モ包含スル所ナキナリ。此ノ想像ニモ活動受動ノ二種アリ。談話ニ聞キテ其ノ實況ノ興味ヲ想像スルハ受動的ノ想像ナリ又歌曲ヲ聞キテ悲歎ノ情ヲ想像シ和歌ヲ吟シテ花鳥風月ノ美態ヲ想像スルカ如キハ想像スベキ目的即チ課題ヲ授ケラレ之ニ向ヒテ想像スルニテ即チ受動的ニ屬ス。又自詩歌ヲ作出シ或ハ演劇ノ脚本ヲ編成シ又ハ音樂ノ譜曲ヲ組織スルカ如キハ自新ニ想像スル所ニシテ是レ活動的ニ屬ス。

斯ノ如ク想像力ハ智識ヲ理會スルニモ新ニ學理ヲ發明スルニモ又實行上ノ方法ヲ工夫スルニモ美術ノ製作物ヲ成就スルニモ必要ナルコト此ノ上アル可ラズト雖モ一朝其ノ働キノ正路ヲ失フ時ハ知力上ニモ道德上ニモ之レヨリモ憂フベキ弊害ハナキナリ。ウシントソノ傳記ニ想像力ニ乏シキ人ナリト特書シテ以テ其ノウシントソナル所以ノ一ト爲シタルカ若シ想像力ノ効能ニシテ果シテ以上記述セル所ノ如クナラシメバ何條其ノウシントソナルニ害ノアルベキ筈ハナケレドモ通常想像ト云フハ唯已レノ情慾ノ欲スル所ニ放チテ道理ニモ實際ニモ適合スベカラサルコト想像シ之レヲ游惰ノ樂ト爲シ唯望ム所ノミ多クシテ勤勉ノ精神

ニ乏シクナリ漸ク不平怨恨懶惰猜忌卑劣ノ惡徳ノミ盛ニ成リ行キテ遂ニハ全ク勤勞ニ適セザル人物ト成リ果ツルガ如キ恐ルベキ妄想ヲ稱ヘテ想像ト云ヘルコトナレバ是レ誠ニ謹マザルベカラザルコト爲ス。

想像力ト他ノ能力トノ關係。 心意一切ノ諸能力ハ互ニ聯絡關係セル者

ナレバ想像力モ其ノ働キヲ完成スルニハ他ノ能力ノ助力ヲ要スルコト多シ。先ツ第一ニ記憶力ト關係スルコト密ナリ。記憶力ハ過去ノ得識ヲ貯藏スル寶庫ヲ開キテ想像ニ材料ヲ給ス。材料ナクシテ想像ノ起ルベカラサルハ既ニ述ベタル所ノ如クナレバ若シ記憶力ノ材料ヲ供スルコトナクハ想像ノ働キハ皆無ニ屬シ去ラサルヲ得ズ。記憶ニシテ既ニ然ラバ現在並ニ過去ノ知覺ノ欠クベカラサル材料タルコト勿論ナリ。第二ニハ想像力ノ構造スル所果シテ實際ニ適合シテ其ノ目的ヲ誤ルコトナキカ之レ檢查セサルベカラサル所ナリ此ノ檢查ハ想像力自身ノ爲シ得ベキ所ニアラズ。目的ニ適合セサル者ヲ想像スル程無益ナルハアラズ。故ニ吾人ハ想像シツヽアリナカラ常ニ一方ニハ此ノ想像ガ果シテ誤ナキヤ否ヤト竊カニ心配スル所ナクハアラズ。諸テ此ノ心配ニ依リテ想像力ノ働キヲ檢查監督ス

ル者ハ推理力ニシテ吾人ガ想像ノ作用ニハ必ズ此ノ推理力ノ隠然其ノ後ヲ控ヘテ之レカ放縱ヲ制止スルアルヲ覺エズバアラズ。斯クテ始メテ其ノ用ヲ全クスルヲ得ルナリ。(三)詩情ニ富ミタル人ニアラザレバ詩ヲ作クルヲ得ズ學理ノ研究ニ熱心ナル人ニアラザレバ種々ニ工夫ヲ凝ラスヲ得ズ。然ラハ情緒ハ想像力ノ働キヲ活潑ナラシムルニ必要ナル者ニシテ其ノ想像ニ勢力ヲ與フルヲ恰モ乘馬ニ鞭ヲ加フルカ如キ者ナルヲ明ナルベシ。(四)想像力ノ活キヲ以テ構造シタル所ノ者ガ實行スベキ者ナラバ之レヲ實行セザルベカラズ。若シ實行ナキ時ハ如何ナル想像モ殆ント其ノ用ヲ爲スベカラズ。誠ニ實地ノ功否ハ實行ノ如何ニ在ルヲナレバ實行ニ依リテ想像力ノ現能ヲ功實ニスルニ努メザルベカラズ。以上ハ想像力ノ他ノ知力作用情緒及ヒ意志ト關係スル所ノ大要ナリ。

相像力及妄想力。 想像ト妄想トハ頗ル相似タル者ナレドモ全然之レヲ區別セザルベカラズ。兩者共ニ其ノ材料ヲ知覺及ヒ記憶ニ取ルト是レ相同シキ所ノ一ナリ。兩者トモ上ノ材料ヲ以テ新奇ノ形ヲ作り出スト是レ其ノ相同シキ所ノ二ナリ。然レモ兩者異ル所ハ數点アリ。(一)想像力ハ明知ノ働キナリ而シテ妄想

力ハ暗黒ノ働キナリ。想像スル時ハ其ノ作用ノ各階段ニ於テ推理力ノ批判ヲ免レズ而シテ妄想ニ於テハ推理力ハ全ク眠リ去リテ一モ働キ來ルヲナシ。(二)故ニ想像力ニハ一定ノ目的アルモ妄想力ハ浮遊ニシテ毫モ一定セル所ナシ。之レヲ詳言スレバ想像力ハ計畫ヲ有シ其計畫ノ目的ニ向ヒテ組織シ來ルモ妄想力ニ於テハ其ノ來往常ナク浮遊極リナシ。(三)想像力ニテハ明瞭ナル理想ヲ創造シ而シテ其ノ創造シタル所ハ吾ガ心ノ働キヲ以テ自之レヲ創造シタル者ナレバ是レ心中ニ存スル理想ニシテ未タ實事ナラザルヲ知ルモ妄想ニ於テハ全ク之レニ反シテ其ノ吾ガ心意ノ製作タルヲ覺エズ恰モ其ノ作ル所ヲ以テ現在ノ實況ト爲シ吾レハ之レヲ傍觀スルノ位置ニ立テルノ思アラシム。(四)且又想像セル所ハ能ク吾ガ記憶ニ存シテ永ク忘ル、トナキモ妄想ノ作ル所ハ其ノ當時限ニテ後ニ至レバ全ク忘失シ去リテ痕跡ヲ止メズ。吾人ガ夢想ヲ永ク記憶ニ存スルヲ能ハザルヲ以テ見ルベシ。

想像力ノ成長。 幼時既ニ想像力ノ働キアリト雖モ頗ル微弱ニシテ語ルニ足ラズ三歳ノ兒童ハ既ニ新視ノ話説ヲ自作セントスルノ意アリ以テ既ニ想像力ノ

働キアルヲ見ルベシト雖モ是レ寧ロ忘想力ニシテ眞ノ想像力ニハアラズ。幼童ノ頗ル小説物語談話ノ類ヲ好ムハ既ニ想像的求知心ノ盛ナルヲ證スベシ。是レヨリ十三四歳以上ニ至レバ長足ノ進歩ヲ爲シ爾後新智識ノ貯蓄益々多キヲ加フルニ從ヒテ想像力モ愈發達シ漸ク道理的思想ノ制裁ヲ加フルニ至ルモ其ノ充分ニ發達シテ眞ニ實際ノ目的ニ適合セシムルヲ得ルニ至ルハ二十歳以後ノ事ト爲ス。

想像力ノ教練。 想像ノ確實ナル成長發達ハ適當ナル方法ノ下ニ成就スルヲ得ル者ホレバ大ニ之レガ方法ヲ講究セザルベカラズ。

先ツ第一ニハ其ノ妄想浮遊ニ陥ルヲ防カンガ爲メニ相應ナル制限ヲ設ケ一方ニハ堅ク此ノ制限ヲ超ユルヲ許サント同時ニ一方ニハ此ノ範圍内ニ於テハ充分ニ活動セシムベキナリ。之ヲ活動セシムルハ適當ナル刺激ヲ與ヘテ此ノ力ヲ誘ヒ發スルニ在リ。例ヘハ善良ナル談話ヲ以テ其ノ實況ヲ想像セシメ或ハ風景機械其ノ他記事談話ヲ以テ適當ニ其ノ實況ヲ畫キ出サシムルガ如シ。斯クテ想像力ノ刺激セラル、時ハ自其ノ力ヲ逞クシ何等ノ學課ヲ學ブニモ智識ヲ理會スルニ

モ其ノ功ノ顯著ナルヲ見シト疑ナシ。借テ想像力ヲ刺激シテ其ノ活動ヲ誘起スルニ始メヨリ餘リニ困難ナル者ヲ與ヘ其ノ力ヲ及バザルニ落膽セシムルハ最モ害アリ。故ニ勉メテ適當ノ材料ヲ與フルニ注意スベキナリ。材料選擇ノ巧拙ハ想像ノ難易ニ關係スルヲ大ナリ。例ヘハ未タ富士山ヲ見サル兒童ニ富士山ヲ想出セシムルニ或ハ白扇ヲ懸倒スルカ如シ或ハ盆鍊ヲ倒ニ伏セタルガ如シト云フヲ常トスレドモ此レ等ノ材料ハ決シテ富士山ニ想起セシムルニ容易ナラザルベシ。寧ロ白砂或ハ鹽ヲ盛リテ其ノ形狀ヲ示シ猶ホ談話ニ説キテ之レヲ補充結構セシムルヲ可トセン。斯クテ材料トシテ與フル所ヲ撰ミ且成ルベク兒童ノ興味ヲ失ハザル様ニシテ一方ニハ想像ヲ餘リニ困難ナラシメズ一方ニハ興味ノ獎勵ヲ與ヘ想像シテ成就シ得タルヲ以テ此ニ愉快ヲ成シ愉快ヲ感シテ益々想像ヲ獎勵シ以テ其ノ企圖心ヲ興奮セシムベシ。斯クテ其ノ智識ノ進歩スルニ從ヒテ漸ク課題ノ程度ヲ高クシ以テ受動的活動的ノ兩方トモ怠ラズ修練セシムヘシ。

想像力ト好尚トノ關係。 人ノ好尚ノ性ガ想像力ト關係スル所頗ル多シ其

想像スル所常ニ高尚優美ナレバ其ノ人ノ好尚ハ從ヒテ又優美高尚トナリ之ニ反シテ其ノ好尚ノ野卑拙劣ナル者ニ於テハ想像スル所ハ必ズ野卑拙劣ナリ。故ニ人ノ好尚ノ性ヲ高尚ニ養成セント欲セバ其ノ想像ヲ高尚ニスルノ外アルベカラズ。諸テ兒童ノ好尚優美ノ心ヲ養成スルニ適セル者ヲ尋ヌルニ幼稚ノ時代ニ於テハ極メテ上古ノ製作物ヲ可トスルガ如シ。其ノ故ハ人間ノ進路ノ程度ニ於テ上古ハ恰モ兒童ノ幼稚ノ時代ニ相當セリ。故ニ上古ノ製作物ハ其ノ種類ニ於テ既ニ兒童ノ心狀ニ適スルヲ争フベカラサル自然ノ道理ナリ。兒童カ好ム所ハ古代ノ物語ナルヲ以テ之レヲ證明スベシ。故ニ幼稚ナル頃ニハ古代ノ製作物中善良ナル者ヲ撰ミテ之レニ與フベシ。イソップ物語亞刺比亞物語ノ亞細亞ノ東端ニ而カモ半開人ト呼ハレタル者ノ手ニ成リタルニ拘ラズ萬國ノ語ニ翻譯セラレテ永ク世ニ珍重セラルハ誠ニ偶然ニアラサルナリ。依テ古代ノ文章ヲ撰ムニ附キテハ成ル可ク自國ノ製作物ヲ取り且又兒童ノ心性ヲ妨害スルガ如キ奇怪ノ妄談ヲ避クルニ注意スベシ。寓言ヲ教育ニ害アリ嫌厭スル人アルモ此レ厭フベキ者ニアラズ。寓言ハ兒童ニ最モ適當セリ兒童ノ極メテ之レヲ好ムハ其ノ適當

ナルヲ明ニスルニ向ヒテ何ヨリノ證據ナリ。既ニ十歳以上ニ至レハ男女トモ益其ノ想像力ヲ練習スベキナレドモ幼稚トハ其ノ方針ニ於テ大ニ異ナル所ナガルベカラズ。幼稚ニハ寧ロ遊遊的輕快ノ事ヲ與フベキモ十歳頃ヨリハ漸ク實事問題ニ入ラシムベシ。即チ實際ノ事業ニ附キテ實務並ニ道德上ノ志操ヲ想像セシムルノ方針ニ據ルベキナリ。但シ少年ノ頃ハ所謂放膽ノ時代ナルガ故ニ豪邁粗大ノ放膽文ヲ以テ雄壯宏圖ノ想像ヲ誘起シ一方ニハ人世事業ノ錯綜セル困難ノ場裡ニ立チテ快刀ヲ振ヒテ千難万障ヲ開放セント堅忍活達ノ志氣ヲ喚起スベシ。ロビンソンクルソーノ英國ノ少年社會ニ企望心ヲ興奮セシメシテ幾何ナルカヲ見ヨ必ズ思ヒ半ニ過クル者アルベシ。一タヒ斯ク放膽ノ文ヲ以テ其ノ想像ヲ雄偉ナラシメテヨリ漸次小心ノ文ヲ以テ其ノ心想ヲ堅固ニスルノ方針ヲ取ラザルベカラズ。是レ道理ノ制裁ヲ以テ常ニ想像ノ適否ヲ鑒識シ其ノ想像ヲシテ適當ナル範圍外ニ超出セシメザルヲ專トス。始メヨリ困難ナル想像ノ規則ヲ與ヘ一舉一動之レニ干涉スルハ兒童ノ自活力ヲ惱殺スルノ外ニ結果アルベカラズ是レ實ニ恐ルベキノ甚シキ者ナレドモ又毫モ

其ノ働ニ監督ヲ置カズ自由隨意ニ放縱スルハ之レ想像力ヲシテ累戻ナラシムル所以共ニ教育ノ要ヲ得タル者ニアラサルナリ。其ノ要中庸ヲ得ルニ在リ。

第十章 概念力

知覺ヨリ得テ而シテ記憶ニ把住セル格段ナル智識ヲ總括分類排列スル心力ヲ總シテ思考力ト云フ故ニ思考力ハ概シテ智覺ヨリ得タル智識ノ辨別契合ヨリ成リ立ツ而シテ概念力ハ即チ思考力ノ第一ナリ。
通例思考知能ニ階段ヲ分チテ概念力判斷力推理力ノ三ト爲ス。概念力トハ思考ノ元素タル總念ヲ作ルノ力ニシテ判斷力トハ二個ノ總念ヲ結合シテ其ノ契合不契合ヲ斷定スルノ力推理力トハ若干ノ斷定ヨリ進ミテ一ノ新ナル斷定ヲ作出スル力ヲ云フ。例ヘハ物体或ハ重量ナト云フ一個ノ總念ヲ作ルハ概念力ニシテ斯ク作りタル物体ト重量ト云フ二個ノ概念ヲ結合シテ物体ハ重量ヲ有スト斷定ナ下スハ判斷力ナリ。又凡テ物体ハ重量ヲ有ス瓦斯モ亦一ノ物体ナリト云フ二斷定ヨリ新ニ瓦斯ハ重量ヲ有スト云フ斷定ヲ作ルハ推理力ノ作用ナリ。而シテ此

ノ章ニ於テハ主トシテ概念力ヲ説明セントス。

概念力ハ概念又ハ總念ヲ作ル知能ナリ。概念トハ普通名詞ニ相應スル所ノ心中ノ智識ナリ。普通名詞ヲ以テ現ハス所ノ心中ノ智識ハ一個ノ個体ニアラズシテ一般ニ關スル意義ナリ。例ヘハ動物ト云フ概念ハ鹿馬蝶蚊等一個物体ニ對スル心像ニアラズシテ鳥獸魚介ニ通シテ一般ニ有スルノ意義ニ向ヒテ負ハタル名稱ナリ。鳥ト云フモ獸ト云フモ魚介ト云フモ皆同様ナリ。通例人ノ談話中ニ一個ノ鳥ニ向ヒテ鳥ト謂ハザルニアラズ。一個ノ馬ニ向ヒテ獸ト謂ハザルニアラズ又一個ノ鯨ニ向ヒテ魚ト謂ハザルニアラズ。然レモ斯ク謂フ時ノ心ハ鳥獸或ハ魚ノ一般ヲ指シタルニアラズ一個體ノ觀念ヲ謂ヒ現ハスニ暫ク此ノ名稱ヲ假用セルノミト知ルベシ。

概念ヲ作ル順序 概念ヲ作出スル作用ノ順序ハ左ノ如シ。先ツ一ノ動物ヲ見テ其ノ犬ナルヲ知リ得タリ次キニ此ノ動物ト大同小異ナル動物ヲ見テ又其ノ犬ナルヲ聞ク斯クテ其ノ後同シ犬ト云フ名稱ノ下ニ各小異ナル數多ノ動物アルヲ知リ此ニ犬トハ必ズシモ色ノ赤キニ限ラズ班ナルニ限ラズ黒キニ限ラズ白

キニ限ラズ其ノ形体ノ大小モ其ノ色ノ厚薄モ千差万別ナルモ以テ其ノ犬タルヲ妨ケズ故ニ犬トハ甲乙丙丁ノ各個体ニ下セル名稱ニアラズシテ此レ等ノ數個体カ共有セル該性質ニ向ヒテ負ハセタル名稱ナリト悟ルベシ。此ニ至リテ犬ト云フ概念ヲ作り得タルナリ。

今猶ホ細ニ其ノ概念ヲ作ル迄ノ働キノ順序階程ヲ分解スルニ左ノ如キ者アリ。

(一) 分解的ノ觀察ヲ以テ事物ノ各性質ヲ分離スル。此レハ一ノ事物ニハ必ズ數多ノ性質アルヲナレハ其ノ諸性質ヲ分離シテ別々ニ考フルヲ云フナリ。(二) ハ抽象作用ナリ。抽象作用トハ前上分解的ノ觀察ニ依リテ分解シタル各性質ヲ他ノ性質ヨリ全ク分離シテ單獨ニ之レヲ考ヘ以テ無形ノ一智識ト爲スノ作用ナリ。

(三) ハ比較作用ニシテ此レハ數多ノ事物ニ附キテ以上ノ如クニ分解抽象シ其ノ間ニ異同ヲ比較シテ契合差異ヲ知ルノ働キナリ。(四) ハ概括ナリ概括ハ比較シタル後其ノ同シ者ヲ一括シテ一念ノ下ニ總括スル働キニシテ此ニ於テ概念ノ核子ヲ得タリ。(五) ハ精化作用ナリ。此レハ上ノ如ク概括シタル觀念ヲ中心トシテ猶ホ異同ノ諸性質ヲ類別シ以テ該概念ヲ精細ニスルノ作用ナリ。(六) ハ命名ノ作用ニ

シテ此レハ以上ノ如クシテ得タル概念ニ名稱ヲ下スナ云フ。之レヲ物品ノ製造ニ比較スレハ分解抽象ノ作用ハ豫備ノ作用ニシテ比較概括ハ粗製ノ作用彙類ハ精製ノ作用ニシテ命名ハ箱詰ノ作用ナリ。

此ニ數多ノ書籍アリ之レヲ概括セントセハ先ツ其ノ各自ニ附キテ大小製本文字ノ種類等ヲ心中ニ分テ觀ルナリ。是レ分解ナリ。諸テ斯ク分解シタル諸性質ノ中ニ附キテ特ニ一ノ性質例ヘハ文字ノ種類ノミヲ抽キ取リテ心中ニ考フル。是レ抽象ナリ。諸テ他ノ書籍ニ附キテモ一々右同様ノ分解的觀察ヲ經テ文字ノ種類ヲ抽象シ斯ク抽象シタル所ヲ交互比較シテ其異同ヲ辨ス是レ比較作用ナリ。而シテ其ノ同シキ者ヲ一括シテ一類ト爲ス是レ概括作用ナリ。猶ホ異同ヲ明ニシテ概念ノ性質ヲ全カラシムルヲ精化ノ作用ト爲ス。而シテ之レガ名稱ヲ下スハ命名ノ作用ナリ。

斯クテ以上ノ如ク一類ニ概括シタル所ニ附シタル名稱ハ固トヨリ一個物ニ對スル名稱ニハアラズ隱然數多ノ品物中ニ類似セル所ニ附與シタル者ナレハ後ニ至リテ其ノ一類中ニ属スヘキ者ヲ新ニ發見セル時ハ亦此ノ名稱ノ下ニ呼稱セラレ

へシ而シテ其ノ品物ノ數ノ増加スルニ從ヒテ一個體ニ限リテ存在スル特別ノ性質ハ自然其ノ外ニ放逐セラレ一般ニ類似契合スル所ノ諸点ノミ益堅ク結合セラレ、ニ至ルヘシ。

然ラバ概念ナル者ハ普通名詞ニ依リテ談話セラル、モ果ソ之レニ相應スル實體ノ外界ニ存スルアルカ或ハ心中ニ之レニ對當ノ心像ヲ作レルカ又ハ唯名目ノミニテ存スル者ナルカ是レ古來ヨリ學者ノ争点ト爲レル所ナリ。其ノ議論ハ名目學派概念學派實體學派ノ三種ニ分ル。實體學派ハ曰ク普通名詞ニハ之レニ對スル實體ノ存スルアリ。例ヘハ人ト云ヘハ次郎太郎等個々ノ實體ノ外ニ人ト云フ實體ノ存セルアリ。山ト云ヘハ富士山二荒山等個々ノ山ノ外ニ山ト云フ實體ノ存セルアリト。名目學派ハ之レニ反對シテ曰ク普通名詞ニハ之レニ對スル實體アルナシ在ル者ハ唯名稱ノミニナリ。例ヘハ人ト云フ名稱アルモ人ト云フ實體ナシ而シテ此ノ名稱ハ同種ノ者ノ一群ニ向ヒテ同様ニ用フルヲ得ルガ故ニ存スルナリト。今日ニ於テハ實體學派ハ漸ク勢力ヲ失ヒ去リテ概念學派代リ起レリ。概念學派ノ主張スル所ニ曰ク普通名稱ニ對當スル實體ノ存在セザルハ實ニ名目學

派ノ唱フル所ノ如シ。然レ凡人ハ其ノ心中ニ普通名詞ノ指ス所ニ對當セル概念ヲ有セリ。即チ吾人ハ一般群類ノ概念ヲ有セリ。普通名詞ハ此ノ群類ノ概念ニ向ヒテ負セタル名稱ナリト。名目學派ハ之レヲ反擊シテ曰ク果シテ普通名詞ニ對當スル概念ノ心中ニ存スル者アラシカ普通名詞ヲ唱呼スル時ハ之レニ應シテ對當ノ該概念ヲ想起セザルベカラザルヲ猶ホ人名ヲ呼ヒテ其ノ人ヲ想起スルカ如クナラザルベカラズ。然ルニ吾人普通名詞ヲ呼ヒテ爲メニ想起スル所ハ一個體ノ心像ニシテ普通ノ觀念ニアラズヨシヤ斯ク想起セラレタル心像ハ微弱ナルモ猶ホ且一個體ノ映像タルヲ免レス。然ラバ概念學派ノ稱道スルガ如キ概念ノ成立セル者アラサルヲ明ナリト。此ノ三派ニ關スル批判ノ說ヲ演フルハ暫ク爲ストチ止メテ此ノ書ニハ概念ナル者ヲ假定シテ說述セント欲ス。是レ說明ニ最モ便利ナレハナリ。

概念力ノ成果トシテ得タル所ニ種々ノ名稱ヲ下ス。概念、普通總念、普通觀念、群簇總念又ハ觀念部類總念ナド云フハ其ノ重ナル者ナリ。今其ノ諸資質ヲ舉クレハ外延及ヒ内包是レナリ。

外延。概念ノ外延トハ概念中ニ包括セラル、一個体ノ數ヲ云フ。日本人ト云フ概念ノ中ニハ四千万ノ一個体ヲ包藏ス、亞細亞人ト云フ概念ノ内ニハ猶ホ日本人ノ上ニ支那印度其ノ他ノ國民ヲ加ヘテ其ノ數ヲ多クシ人類ト云ヘハ其ノ數更ニ増加ス。斯ク一概念ノ中ニ包括セラル、一個体ノ數ノ益多キニ從ヒテ其ノ外延ハ愈擴張ス。

内包トハ概念中ニ包括セラル、普通ノ資性ヲ云フ。凡ソ概念ハ必ズ多少ノ普通資性ヲ包含セザルコトナシ。最モ多クノ資性ヲ備具スル概念ハ一個体ニシテ以上其ノ概括ノ程度ヲ高ムルニ從ヒテ其ノ性質ヲ減少ス。甲乙丙丁ノ日本人ハ各其ノ人物ニ屬スル丈ノ資性ヲ全有スレトモ既ニ日本人ト云フ概念ニ至レバ甲乙丙丁ニ特別ナル資性ハ之レヲ去リテ日本人普通ニ屬スル所マテニ減少ス。亞細亞人ト云ヘハ猶ホ其ノ數ヲ減シ廣ク人類ト云ヘハ益々其ノ數ヲ減少ス。内包ハ深淺ヲ以テ評シ外延ハ廣狹ヲ以テ評ス。而シテ其ノ關係ハ内包深ケレバ外延狭ク外延廣ケレバ内包淺クシテ其ノ深淺廣狹ハ互ニ反比例ヲ爲ス者ト知ルベシ。例ヘハ元素ト云フ總念ノ外延ハ六十七個ニ渡リテ甚タ廣シト雖モ内包ヲ

舉ゲレバ分ツベカラザル物質ナリト云フ一件ニ止リテ甚タ淺シ。然ルニ金屬ト云フ總念ノ外延ハ五十二個ニテ元素ニ比スレバ其ノ數尠ク即チ其ノ外延ハ狭シト雖モ其ノ内包ヲ舉ゲレバ分ツベカラザル物質ト云フ元素唯一ノ内包ニ加フルニ熱及ビ電氣ノ好誘導性ナリ、金澤ト稱スル一種ノ反射力ヲ有セリ其ノ他化學上特ニ金屬ノ資性トシテ定メタル所ノ數多アリ都ベテ之レヲ加ヘタレバ其ノ内包ニ於テハ大ニ深サヲ加ヘタリ。故ニ内包ト外延トノ關係ハ反比例ヲ以テ消長スル者ト知ルベシ。

總念ノ上下序。總念ノ上下序トハ其ノ内包外延ノ關係ニ於テ上位下位ニ存スル所ノ關係ヲ云ヒタルナリ。其ノ序位ニ於テ最下位ニ在ル者ハ一個体ナリ。一個体ノ觀念ハ知覺ノ觀念ニシテ其ノ外延ハ其ノ物一個ニ限リタレバ狭キト最モ下位ニ在ルモ其ノ内包ノ資質ニ於テハ一個体ニ屬スル限リノ一切ノ資性ヲ包含スルヲ以テ最モ深キ所ニ位ス。個体觀念ノ上ニ種ノ概念アリ。若干ノ一個体中ニ於テ各個ニ特別ナル所ノ資質ヲ取り去リ普通ニ契合スル所ヲ取リテ之レヲ一種ノ下ニ彙類ス。故ニ種ハ數多

ノ一個体ヲ包含シテ其ノ外延ハ廣キヲ致スモ其ノ序位ハ一個体ノ上ニ位シテ其ノ内包ヲ淺クス。

種ノ概念ノ上ニ族ノ概念アリ族ノ種ニ於ケル關係ハ恰モ種ノ個体ニ於ケル關係ト異ナルヲナク。數種ニ亘リテ普通ノ資性アルヲ見ル時ハ之レヲ集メテ一ノ族ト爲ス。故ニ上序ニ在ル族ノ外延ハ下序ニ在ル種ノ外延ヨリモ廣ク其ノ内包ハ淺シ。

甲乙丙丁ハ一個体ナリ。其ノ同シク日本人タルヲ以テ之レヲ日本人ト爲ス時ハ日本人ト云フ概念ハ種ナリ。日本人支那人印度人等若干ノ種ヲ概括シテ亞細亞人ト云フハ是レ族ナリ。其ノ族ハ上序ノ總念ニシテ種ハ下序ノ總念ナリ。

此ノ種族ハ上下序ノ關係ニ存スル者ナレハ博物學科ニテ所謂種族ノ關係トハ全シカラズ。博物學科ニ於テハ種ハ何處マテモ種ニシテ族ハ何處マテモ族ナルナリ。然レモ此ノ心理上ノ種族ハ全然關係上ニ存スル者ナレハ族上ニ族アリ種下ニ種アリ。例ヘハ亞細亞人ハ日本人ニ對スレバ上位ニ在ル族ナレドモ人類ト云フ總念ニ對スル時ハ下序ニ位スル種ト爲リ又日本人モ亞細亞人ニ對スレバ下序

ニ位スル種ナレトモ九洲人關東人東北人等ノ總念ニ對スレバ上序ニ位スル族ナルガ如シ。斯クテ其ノ最下位ニ在ル者ヲ最下等ノ種ト云ヒ最上位ニ在ル者ヲ最上位ノ族ト云フ。

種族中ノ差。 第一種ハ甲乙丙丁ノ性質ヲ有シ第二ハ甲乙戊癸ノ諸性ヲ有シ第三種ハ甲乙庚壬ノ諸性ヲ有シ三種トモ何レモ甲乙ノ二性質ヲケハ同シキヲ以テ之レヲ同族中ニ置クナリ。然ル時ハ此ノ族ハ甲乙ノ兩性質ヲ以テ其ノ内包トシテ成立シ其ノ中ニ屬スル各種ハ此ノ他ニ特別ノ資性ヲ有シ以テ相互ニ區別セラルベシ。斯ク同族中ニ在リテ他ノ種ト區別セラルヘキ資性ヲ其ノ差ト云フ第一種ノ丙丁第二種ノ戊癸ノ如キ是レナリ。故ニ族ノ資性ニ己レニ屬スル特別ノ差ヲ加フレバ種ノ資性ト爲リ種ノ資性中ヨリ其ノ差ヲ減スレバ族ノ資性ト爲ル族種ノ内包ノ相關係スルヲ大概右ノ如シ。

總念ノ完全及不完全。 人ノ心中ニ在ル總念ハ種々ノ原因ヨリ欽点ヲ生スル者ナリ。總念ヲ現ハスニ同シ言語ヲ同様ニ使用スルガ故ニ外形ニ現ハス所ハ毫モ差等ナキモ其ノ實際ニ於テハ人々ノ間ニ大ナル精粗明不明ノ差等アルヲ免

レズ。例へハ國家學者ノ所謂立憲政治ト普通ノ人ノ謂フ所ノ立憲政治トハ双方ノ間ニ實ニ大ナル差等アルヲ見ルベシ。今日小學校ノ兒童ニ哺乳動物ト云フ語ト之レカ單簡ナル意義トヲ授クレバ彼レ等ハ明日ヨリ此ノ語ヲ用フルヲ教師ト異ナル所ハナケン。然レモ彼レ等兒童ノ心中ニ在ル哺乳動物ト云フ語ノ意味ハ内包外延トモ教師ノ心中ニ在ル意味ヨリモ實ニ數階ヲ下リタル者ナリ。此ノ例ヲ以テ推ゼバ同シ名稱ノ下ニ云ヒ現ハス所ノ總念ニテモ完全ノ度ニ於テ數階ノ等差アルヲ明ナルベシ。

其ノ不完全ヲ來ス原因ノ大要ヲ擧グレバ第一ニハ抽象ノ不完全ナルヲ第二ニハ元素ノ失亡スルヲニ歸ス。初メテ概念ヲ作ル時ニ於テ萬端ニ亘リテ盡ク精細ナル抽象比較總合ヲ經過シタル者ハ甚タ拙シ。吾人ガ初メテ哺乳動物若クハ金屬ナド云フ學問上ノ概念ヲ得タルハ教師ノ口授書籍等ノ記載ヨリシテ作りタル者ナレハ其ノ内包外延トモ不充分トハ云ヒナカラ又比較上ニハ精細ナリ。若シ其レ普通一般ノ概念ニ至リテハ決シテ然ラズ唯談話交際ノ間ニ其ノ言語ヲ聞キ習ヒ大凡ニ其ノ意義ヲ得テ使用スルコトナレハ其ノ粗雜ナルコト實ニ甚シ。未タ

蒸氣船ヲ見サル人ノ心中ニ存スル船舶ト云フ概念ニハ蒸氣船ノ元素ヲ飲亡セリ。又未タ西洋文ヲ解セサル人ノ心中ニ存スル文法ト云フ概念ノ中ニハ西洋文法ノ分子ヲ飲亡セリ而シテ其ノ飲亡スル丈其ノ概念ハ粗雜ナルナリ。明治ノ人ハ天保ノ人ニ比スレバアラビア馬ヲ視タルカ爲メニ馬ノ概念ヲ精密ニシテボン種ノ牛ヲ視タルガ爲メニ牛ノ概念ヲ精密ニシテラマ種ノ鶏ヲ視タルカ爲メニ鶏ノ概念ヲ精密ニセリ。此ノ類ヲ以テ推ス時ハ人間普通ニ有スル概念ハ當初抽象ノ元素ノ不完全ナルヨリシテ粗雜不完全ニ陥ルコトヲ免レサルヲ見ルベシ。又其ノ初ハ隨分精細ナル抽象ヲ以テ造作セラレタル概念ニテモ久シキヲ經ルニ從ヒテ漸ク其ノ元素ヲ失亡シ去リテ不完全ト爲ルモノアリ。人々之レヲ我が心中ノ概念ニ徵スレハ明ナル者アルベシ。余ガ初メテ植物學ノ講義ヲ聞クヤ薔薇科ノ植物十字科ノ植物ノ内包外延トモ隨分精細ナル者ヲ心中ニ記憶シ居レリ即チ其ノ概念ノ稍精細ナル者ヲ有セシガ今ヤ其ノ分子ヲ忘失シ去リテ殆ト虚空ノ名稱ノミヲ遺セリ。誰レ人ニテモ當初得タル概念ヲ永ク思ヒ出シ或ハ改正追補スルノ必要ニ迫ラザルガ爲メニ其ノ儘ニ放擲シ去リタルノ故ヲ以テ漸ク其ノ元素分子

ナ失ヒ此ニ概念ノ不精密ヲ致スコト銘々其ノ心ニ徴シテ首肯スル所ナルベシ。斯クテ吾人ノ概念ハ甚タ不完全ナル者ヲ多シトス。完全ナル概念ハ甚タ得難ク保存シ難ク多少狭キニ失スルカ或ハ廣キニ失スルカノ二弊ヲ免レズ。例ヘハ赤キ薔薇ノミヲ見テ直ニ薔薇ヲ赤キ者ト思フカ如キハ狭キニ失セルナリ又鯨族ノ水中ニ生活スルヲ見テ之レヲ魚ト思ヒ魚類中ニ鯨族ヲ入ル、カ如キハ其ノ廣キニ失セルナリ。斯様ニ吾人ノ概念ヲ見ルニ種々ノ点ニ於テハ不完全ナルガ故ニ之レヲ校合スルコト頗ル大切ナリ。諸テ之レヲ校合スルノ法ハ唯常ニ注意シテ益實驗ノ範圍ヲ廣クシ其ノ同ヲ集メ異ヲ去リテ最初ニ造リタル者ノ狭キハ之レヲ廣メ廣キハ之レヲ狭メ以テ遂ニ明瞭ニシテ精細ナル觀念ヲ精製スベキナリ。概念ノ明瞭トハ之レヲ他ノ概念ヨリ明ニ區別シ得ルヲ云フ。人ト猿トハ如何カ異ナルト云フニ誰レ人ニテモ其ノ同シカラザルヲ明言セザルハナシト雖モ諸テ學問上兩者區別ノ点ハ何處ニ在ルト問ヒ詰ムル時ハ必ズ動物學ニ研究シタル區別ニ依ラザルヘカヲズ而シテ此ノ區別ハ大ナル研究ノ後ニ知り得タル所ナリ。スナイドル銃ト村田銃ト何處カ異ナルカト云フモ是レ亦通常人ノ答フルコト能ハ

ザル所ナルベシ。杉ト松ト猫ト犬ト皆其ノ同シカラザルヲ知レリ而シテ其ノ異同ノ要点ハ之レヲ明言スルコト能ハズ。斯クノ如キガ故ニ概念ヲ作り且ツ之レヲ校合スルニハ第一ニ之レヲ明瞭ナラシムルニ勉ムベキナリ。概念ノ精細トハ能ク概念中ニ包含セラル、内包外延ヲ盡セルヲ云フ。哺乳動物ト云フ概念中ニハ幾多ノ内包外延ヲ包藏セリ。而シテ其ノ中ニ一モ飲亡スル所ナク正ニ其ノ數ヲ盡クシ得テ始テ精細トハ謂フナリ。普通ノ人ノ概念ハ精細ノ点ニ於テモ甚タ不完全ナルヲ免レズ。例ヘハ松杉ニ属スル性質ヲ盡ク舉ゲテ其ノ内包ト爲スハ獨リ植物學者ノミノ能クスル所ナルガ如シ。分類及ヒ定義。概念ノ内包外延種屬等ノ關係ヨリ從ヒテ生スル所ノ事ハ分類及ヒ定義ノ作用ト爲ス。分類ハ種屬ノ關係ヲ明ニシ其ノ資質ノ異ナル所ニ從ヒテ其ノ属スル所ヲ明ニシ以テ概念ノ位置所族ヲ明ニスルヲ云フ。猶ホ之レヲ詳述スレハ族中ニ種ヲ分割スルノ作用ナリ。例ヘハ平面形ヲ分ナテ三角形、四角形、多角形ト爲スガ如シ。古來ヨリ分類ニ關スル種々ノ研究アリ積ミテ數條ノ精密ナル注意條項ト爲リタレトモ多クハ論理學上ノ理論ニ属セルヲ以テ之レヲ説

クヲ要セス。心理學上ニ於テハ種及ヒ族タル者ノ概念ヲ精細明瞭ニシ其ノ異同ヲ明ニセヨト云フヲ以テ足レリトス。種族トモ其ノ内包外延ノ精細明瞭ナラザルガ爲メニ其ノ交互錯綜ヲ來シ區分明ナラズ從ヒテ種ヲ集メテ族ヲ成スニ當リテ廣狹ノ範圍ヲ齟齬セシムルヲ致スヲアリ。是レ宜シク分類スルニ當リテ留意スベキ所ト爲ス。

定義ハ概念ヲ最モ單簡ニ記述シテ其ノ何タルヲ明ニスルノ業ナリ。故ニ是レ亦概念力ノ作用ニ關ス。定義ハ詳細ノ記述ニアラス唯該概念ヲ他概念ト區別シ得レハ足レリトス。今犬ト猫トヲ區別セントスルニ當リテ一切其ノ性質ヲ詳記セザルモ異同ノ要点ヲ簡述シテ判然タラシムルヲ得ベシ。故ニ定義ニハ該概念ニ屬スル諸性質ヲ盡ク記述スルニ及ハズ唯其ノ資質中ニテ最モ必要顯著ナル者ヲ記スレバ足レリトス。故ニ定義ヲ下スニハ審ニ概念ノ性質ヲ吟味シ以テ其ノ必要ナル者ヲ撰取スルヲ要ス。

概念力ノ生長。概念力ハ元來知覺ノ進歩シテ數多ノ異同ノ中ニ就キテ其ノ異ヲ去リ其ノ同ヲ取ルノ作用ナレバ早クヨリシテ既ニ其ノ萌芽ヲ存セリ。即チ

知覺力ト併行シテ發生シ來ル者ト爲ス。而シテ其ノ發達生長ノ模様ハ兒童ノ知力ノ進歩ノ順序ニ就キテ見レバ明ナルベシ。彼等ハ極メテ早キ頃ヨリ概念ニ對スル普通名詞ヲ使用ナルナリ、然レモ是レハ單ニ父母兄弟ノ用フル所ヲ模倣スルニ過ギスシテ眞ニ概念ヲ作爲シテ使用スルニアラズ。故ニ普通名詞ヲ使用シツ、アリナカラ其ノ應用ハ一個ノ具像体ニ止リテ他ノ同類ニ擴張スルヲ能ハズ。一歳許ノ小兒ノワウ〜ト云フ名詞ハ一般ニ犬ニ對スルニアラスシテ始メテワウ〜ノ語ヲ以テ示サレタル一個若クハ數個ノ犬ニ對セル名稱ナリ。斯クテ犬ヲ見ルト多キヲ加フルニ皆同シ名稱ノ下ニ之レヲ呼ブヲ聞クガ故ニ漸ク一個ノ犬ニ存スル格段ナル特質ヲ去リテ一般ニ犬ニ對スル概念ヲ得ルニ至ルナリ。斯クテ數多ノ者ノ中ニ其ノ類似異同ノ諸点ヲ辨別契合スルニ至リテ概念ハ漸ク明瞭精細ニ進歩シ二三歳ノ頃ニハ既ニ不充分ナカラ幾分ノ彙類ヲ爲シ概念ヲ作ルニ至ルベシ。故ニ其ノ教練ハ極メテ幼少ノ日ヨリ相應ニ注意シテ發達ヲ遂ケシムベキ所トス。サルレノ氏ハ此ノ能力ノ教練ニ附キ左ノ如クニ論セリ。此レ頗ル余ガ心ヲ得タル者ナレバ言ヲ大家ノ説ニ借リテ以テ其ノ要ヲ述ヘントス。

概念力ノ教練ハ感覺觀察ノ教練ト相伴ヒテ始ムベシ。其ノ法ハ先ツ數多ノ物體ヲ相接近シテ併置シ兒童ヲシテ其ノ形狀色澤等ノ類似ヲ發見セシムベシ。之レニ依リテ數多ノ複雜ナル群集ノ中ニ部類ヲ作ルノ力ヲ誘道啓發スルヲ得ベシ。唯之ヲ啓發スルノミニアラズ又動植并ニ幾何形体及ヒ數量等自然物體ノ單簡ナル種類ノ觀念ヲモ識得セシメ得ベキナリ。此ノ教練ヲ施スニ用フル例件ノ數ハ常ニ充分ニ供給セザルベカラザルモ其ノ多少ハ時ニ作ラントスル觀念ノ性質ニ依リテ加減スベキヲ勿論ナリ。又既ニ彙類ヲ爲シ終ラハ其ノ彙類ニ命名シ其ノ定義ヲ下シ且之レニ屬スル普通ノ性質ヲ明示セシムベシ。

第十一章 判斷力

普通ノ語ニ判斷ト稱フルハ判決ノ謂ニシテ善惡正邪利害得喪等ヲ分明ニ差別スルヲ云フナレドモ心理學上ニ於テハ此ノ普通ノ意味ヨリモ廣ク使用シテ二個ノ總念ヲ結合シテ一ノ言ヒ定メテ爲ス時ハ總テ之レヲ判斷ト云フ。故ニ視ル所ヲ直ニ言ヒ定メテ此ノ人(一ノ總念)ハ英國人(一ノ總念)ナリ或ハ此ノ犬(一ノ總念)ハ獵

犬(一ノ總念)ナリト云フガ如キ頗ル單簡ナルヨリ複雑ナル思考ノ結果トシテ言ヒ定ムル所例ヘハ此等ノ天候(一ノ總念)ニハ雨降(一ノ總念)ナルベシト云フガ如キ者マテナモ包含セシメタリ。故ニ心理學上ニハ判斷力ノ定義ヲ下シテ總念間ノ契合若クハ不契合ヲ辨識シ且之レヲ說述スル心力ナリト云フナリ。判斷力ニテ作りタル所ノ結果ヲ斷定ト云ヒ其ノ言語ニ現ハレタル者ヲ命題ト云フ。各命題ハ主辭賓辭及ヒ連辭ノ三者ヨリ成ル。主辭ハ該命題ノ附キテ言ヒ定ムル所ノ目的トナル總念ヲ云ヒ賓辭ハ主辭ニ附キテ肯定若クハ否定スル所ノ總念ヲ云フ而シテ連辭トハ判斷ノ結果カ契合スルカ契合セザルカヲ表スル所ノ言語ニシテ其ノ主辭及ヒ賓辭ヲ結合スルノ姿アルヲ以テ此ノ名稱ヲ負セタルナリ。吾ガ邦ノ語法ニ依レバ連辭ハ往々賓辭中ニ包含セラルトアリ。例ヘハ秀吉ハ豪傑ナリト云ヘハ秀吉ハ主辭豪傑ハ賓辭ニシテナリハ兩者ヲ連合スル連辭ナレハ三者ヲ備具スト雖モ一切ノ人ハ死スト云フ時ハ其ノ主辭ハ一切ノ人ニシテ其ノ賓辭ハ死スナリ而シテ其ノ中ニ連辭ノ「ス」ヲ包含セリ。判斷力ノ分解。判斷トハ以上ノ如ク二個ノ名辭ヲ結合スル働キナレバ此レ

總合作用ニ屬ス。論理學者ハ判斷ニ二種ヲ區別シテ賓辭ヲ以テ主辭ニ新思想ヲ加フル者ト主辭ノ一部ヲ賓辭ニ謂ヒ現ハスノミナル者トノ二ト爲ス。例ヘハ「鉄ハ腐敗ス」ト云フハ賓辭ヲ以テ主辭ニ新思想ヲ加フルニテ斯ノ如キ眞ノ命題ト云ヒ又「鉄ハ重シ」ト云フカ如キ命題ニテハ其ノ重シト云フ賓辭ハ其ノ實主辭ナル鉄ノ中ニ存スル一性質ヲ舉ゲタルニ過ギザルヲ以テ斯ノ如キヲ言語上ノ命題ト云フ。且其ノ前者ヲ總合的命題トシ其ノ後者ヲ分解的命題ト爲ス。然レモ心理學上ノ眼ヨリ見レハ後者ノ如キハ主辭ノ中ニ存スル一性質ヲ賓辭ニ云ヒ表ハシタルニ相違ナキモ其ノ之レヲ作ルニ至リタル心ノ働キヲ見ルニ重シト云フ一ノ總念ヲ從來ノ鐵ノ觀念中ニ加入シタルナレハ又之レヲ一ノ總合ト見テ可ナリ。

斷定の種類。 論理學ニ於テハ斷定ヲ又命題ト稱シ之レガ種類ヲ區別セリ。其ノ種類ヲ圖表スレハ左ノ如シ。

一、分重上ヨリ

イ、全稱命題

ロ、特稱命題

二、性質上ヨリ

イ、肯定命題

ロ、否定命題

三、様式上ヨリ

イ、合式的命題

ロ、設若的命題

分量ハ主辭ノ外延ニ屬シテ其ノ外延ヲ盡ク包括セル者ヲ全稱斷定ト稱シ其ノ一部分ヲ包括セル者ヲ特稱斷定ト稱ス。例ヘハ「一切ノ物質ハ重量ヲ有ス」ト云フハ全稱斷定ニシテ或ル物質ハ瓦斯体ナリト云フハ特稱斷定ナリ。

性質ハ主賓兩名辭ノ契合若クハ不契合ニ屬シ其契合ヲ謂ヒ現ハス者ヲ肯定斷定ト云ヒ不契合ヲ謂ヒ現ハス者ヲ否定斷定ト云フ。例ヘハ前上舉ゲタル二個ノ全稱及特稱斷定ノ例ハ何レモ肯定ニシテ「一切ノ鳥ハ哺乳動物ニアラズ」ト云ヒ又ハ或ル人ハ賢人ニアラズト云フガ如キハ否定斷定ナリ。而シテ全稱特稱トモ各肯定否定ノ二種アリト知ルベシ。

様式トハ断定ノ形態ノ通常ナルト事狀ヲ有スルトニ屬シ主辭ト賓辭トノ關係ヲ直ニ説述スルヲ合式的ト云ヒ二個或ハ二個以上ノ合式的断定ヲ接續詞ヲ以テ結合セル者ヲ設若的断定ト云フ。例ヘハ「一切ノ人ハ死スベキ者ナリ」ト云フハ合式的断定ニシテ若シ鉄ノ純粹ナラザル時ハ脆弱ナリ」ト云フハ設若的断定ナリ。設若的断定ニ猶ホ二種ヲ區別シテ臆測的及ヒ雜接的断定ト爲ス。前ノ「若シ鉄ノ純粹ナラザル時ハ脆弱ナリ」ト云フハ臆測的断定ニシテ此ノ物質ハ鉄ニアラザレバ銅ナリ」ト云フハ雜接的断定ナリ。

斷定相互ノ關係。 論理學者ハ斷定相互ノ關係ヲ左ノ如クニ圖表ス。此ノ圖表中ニ在ルAハ肯定全稱Eハ否定全稱Iハ肯定特稱Oハ否定特稱ナリ。



小相代トハ全稱(A,E)ノ真ナル時ハ特稱(I,O)亦真ナリ又特稱(I,O)ノ真ナル時ハ全稱(A,E)ハ真ナルヲアリ偽ナルヲアル關係ナリ。

實反對トハ肯定全稱ト否定全稱トノ關係ニシテ兩者共ニ同時ニ真ナルヲ能ハズ又共ニ偽ナルヲアル關係ヲ云フ。故ニ此ノ關係中ニハ一方ハ真ニシテ一方ハ偽ナルヲアリト知ルベシ。

正反對トハ肯定全稱ト否定全稱トノ關係及ヒ否定全稱ト肯定特稱トノ關係ニシテ其ノ一ハ必ズ真ニシテ其ノ一ハ必ズ偽ナル關係ヲ云フ。即兩者共ニ偽ナルヲ能ハズ又共ニ真ナルヲ能ハザル關係ナリ。

小反對トハ肯否ノ兩特稱断定ノ關係ニシテ其ノ一方ノミ偽ニシテ兩者共ニ真ナルヲアル關係ヲ云フ。

判斷力ノ生長。 此ノ力ヲ有スルハ獨リ人類ニ限ル。元來断定ノ賓辭ハ必ズ概念ナラザルベカラザルヲ以テ概念ナキ時ハ決シテ判斷力ノ働キヲ生シ難シ。然ルニ獸類ハ概念ヲ作ルヲ能ハザルヲ以テ從ヒテ判斷ヲ爲スヲ能ハサルナリ。幼兒ノ既ニ概念ヲ作ルヲ得ルニ至レバ多少粗末ナル判斷ノ働キヲ現ハシ來ル。

其ノ時代ハ大凡三歳頃ナレドモ其ノ充分ノ活キヲ呈出スルニ至ルハ青年ノ後ナリト爲ス。

第十二章 推理力

推理力ノ本性。 推理トハ既知ノ二断定ヨリ新断定ヲ得ル心ノ働キナリ。即チ前提ノ断定ヲ基礎トシテ歸結ノ断定ヲ作ル力ナリ。例ヘハ此ニ晴雨計ノ下ルヲ見テ此レ雨降ル可シト推理スルガ如キハ即チ推理力ノ働ナルガ此働キヲ分拆スルニ先ツ現在晴雨計ノ低下セル現象ヲ見テ之レヲ過去ニ於テ低下セル現象ト同一ナリト契合シ且其ノ過去ニ於テ低下セル現象ハ氣壓ノ變化及ヒ降雨等ノ繼發現象ト相伴ヒタルヲ以テ現在ニ於ケル此ノ低下モ亦氣壓ノ變化及ヒ降雨等ノ繼發現象ト相ヒ伴フベシト契合セルナリ。斯ノ如ク細ニ吟味スレバ是レ亦一種ノ高等ナル同化分類ノ作用ニ過ギザルモ其ノ事物ノ關係ニ存スル異同ヲ契合スル力ナルヲ以テ他ノ同化作用知覺概念等ノ働キト之レヲ區別セルナリ。 推理力ハ事物間ニ存スル關係ヲ契合スル作用ナレバ類同ノ内ニアラザレバ何ニ

事ヲモ推理スルヲ能ハズ。 甲ハ乙ニアラズ乙ハ丙ニアラサル時ハ甲ト丙トノ間ニ何ニ事ヲモ推理スベカラズ。 推理シテ誤謬ニ陥ルハ此ノ關係ノ契合ノ有無及ヒ契合ノ程度ヲ見ルニ明ナラサルニ生ズ。 誠ニ注意スベキナリ。

推理ノ種類。 推理ニ演繹推理及ヒ歸納推理ノ二種アリ。 演繹推理ハ一般ノ眞理ヨリ格段ナル眞理ニ推度スル者歸納推理ハ格段ナル事物ヨリ一般ノ眞理ニ推度スル者ヲ云フ。 故ニ演繹推理ハ廣キ眞理ヨリ格段即チ之レヨリ狹キ眞理ニ下行スル働ニシテ歸納推理ハ格段ナル個々ノ事實ヨリ一般ノ廣キ眞理ニ上行スル働ナリ。 兩者トモ其ノ心ノ働キノ道筋ヲ言外ニ現ハシテ文章ト爲セル者ヲ推測式ト云フ。 猶ホ判斷力ノ働キ言語ニ現ハセル者ヲ断定ト謂フカ如シ。 故ニ推測式ニハ歸納及ヒ演繹ノ二種アリト知ルベシ。

演繹推理。 演繹推理一名媒介推理ト云フ。 其ノ正式ナル者ノ例ヲ上クレバ左ノ如シ。

一、一切ノ甲ハ乙ナリ。

(物ハ都ベテ重量ヲ有ス)

二、一切ノ丙ハ甲ナリ。
(空氣ハ物ナリ)

三、故ニ一切ノ丙ハ乙ナリ。

(故ニ空氣ハ重量ヲ有ス)

此ノ推測式ヲ見ルニ三個ノ断定アリ又三個ノ總念アリ。其ノ断定ノ前二個ヲ前提ト云ヒ第三位ニ在ルヲ歸結ト云フ。歸結ハ二個ノ前提中ニ含有セラレタル眞理ヲ演繹シ出セル者ナリ。總念ハ其ノ内包ノ大小ニ依リテ大中小ニ區別ス。前上ノ例ニテハ乙ハ大總念丙ハ小總念ニシテ甲ハ中總念ナリ。又二個ノ前提中ニテ大總念ト中總念トヨリ成レル者ヲ大前提ト云ヒ中總念ト小總念トヨリ成レル者ヲ小前提ト云フ。

斯カレハ論理上ノ順序ヨリ觀レハ先ツ大小ノ兩前提アリテ之レヨリ歸結ヲ得ルニ至ルベケレトモ實際心中ノ作用ハ必スシモ嚴格ニ此ノ順序ノミニ限レルニアラス。時トシテハ先ツ歸結ヲ得テ而シテ後前提ヲ作ルヲアリ又ハ兩前提アルモ歸結ヲ作ラスシテ己ムヲアリ。

此ノ演繹推理ニハ大要二種ノ用アリ。既ニ原理ヲ知リテ之レヨリ歸結ヲ發明スルヲ即チ之レヲ下ニ廣ムルヲ其ノ一ナリ。格段ナル断定ヲ有シ其ノ原理ハ何ニアルカヲ發明スルヲ即チ上ニ溯ルヲ其ノ二ナリ。其ノ第一ハ既知ノ原理アルニ依リテ新ニ之レガ説明ヲ發見スルニ用フ。是レ即チ應用ナリ。例ハハ空氣ノ重量ヲ有スルヲト空氣ノ彈力性ヲ有シテ重壓ノ上ニ加フルアラハ壓縮セラレベキトトチ知リタラハ之レヨリシテ下層ニ在ル空氣ハ上層ニ在ル空氣ヨリモ濃重ナルヲ發見スルガ如シ。其ノ二ハ或ル格段ナル断定ニ向ヒテ説明ノ道理ヲ發見スルニ用フ。即チ原理ヲ尋溯スルニ用フルナリ。例ハ庭前ノ雪ノ日ニ遇ヒテ溶解シ去ルヲ見テ其ノ説明ヲ得ント欲シ一切ノ物質ハ溫度ニ遇ハハ膨脹スト云フ一般ノ眞理ヲ以テ之レガ説明ニ充ツルガ如シ。

演繹推理ニテ誤謬ニ陥ルヲ屢ナルガ其ノ病根ハ各總念ノ間並ニ各断定ノ間ニ存スル類同ヲ誤識スルニ生スルヲ多シ。論理學者ハ演繹推理ニ關スル規則八條ヲ舉ケタリ。之レヲ左ニ記サン。

一、各推測式ニハ必ズ正ニ三個ノ名辭(總念)ヲ有スベシ。

- 二、各推測式ニハ必ズ正ニ三個ノ命題斷定ヲ有スベシ。
 - 三、中名辭ハ必ズ一タヒハ全括セラルベシ。且又曖昧ナルベカラズ。
 - 四、名辭ノ前提中ニ全括セラレザル時ハ決シテ歸結ニ於テ之レヲ全括スベカラズ。
 - 五、否定ノ二前提ヨリハ何ニ事ヲモ推度スベカラズ。
 - 六、若シ一前提否定ナル時ハ其ノ歸結ハ必ズ否定ナルベシ又故ニ否定ノ歸結ヲ得ントナラハ前提ノ一個ハ必ズ否定ナラザルベカラズ。
 - 七、二個ノ特稱前提ヨリハ歸結ヲ得ベカラズ。
 - 八、一前提ノ特稱ナル時ハ歸結モ亦特稱ナラザルベカラズ。
- 吾人ガ日常爲ス所ノ推理ハ單簡ナル者ニアラスシテ多クハ大ニ複雑セリ。例ヘハ數多ノ格段ナル事實ヨリ一般ノ眞理ヲ得ル時ハ直ニ之レヲ遷シテ他ノ直理ト相照ラシ以テ其ノ眞偽ヲ驗徴シ猶ホ亦此ノ眞理ヲ以テ他ノ眞理ヲ驗徴スル等種々複雑ナル働ヲ爲ス即チ層々相積ミテ甚タ複雑ナル結構ヲ成スニ至ルナリ。
- 歸納推理。** 歸納推理ハ格段ナル事物ヨリ一般ノ眞理ニ至ル作用ニシテ思考

ノ重ナル作用ノ之レニ屬スル者頗ル多シ。兒童幼稚ノ心ヲ以テ其ノ玩弄物ヲ弄ヒナカラ之レヲ投シ之レヲ放テハ必ズ常ニ墜落スルヲ見猶ホ己レガ知ル所ノ都ベテノ物体ノ墜落セザルヲ無キヲ見テ皆テ都ベテノ物ハ墜落スト云フ眞理ヲ會得ス。又一例ヲ舉グレバ兒童ノ初メハ蟻ハ皆死スト云ヒ蠅モ亦皆死スト云ヒ人モ亦皆死スト云ヒ此レ等ヲ積ミテ皆テ一切ノ動物ハ皆死スト云フ高キ概括ノ眞理ニ歸着スルガ如シ。萬事ニ向ヒテ斯ノ如ク見聞漸ク廣クシテ概括ノ度又益高キヲ致シ以テ歸納推理ノ作用ヲ進歩セシムルナリ。

完全歸納、不完全歸納。 論理學者ハ歸納ニ完全歸納及ヒ不完全歸納ノ二種ヲ區別セリ。一切ノ場合ニ汎通シテ歸納ヲ得ル時ハ之レヲ完全歸納ト云ヒ或ル事情ノ爲メニ一切ノ場合ニ汎通スルヲ得ス大略ニシテ歸納ヲ得ル時ハ之レヲ不完全歸納ト云フ。例ヘハ一年ノ十二月ノ日數ヲ毎月精算シテ十二月月中何レニモ卅一日ヨリモ多キ月ハナシト知リタル後ニ斷定ヲ下シテ一年ニ三十一日ヨリモ多キ月ハナシト云フハ是レ完全歸納法ナリ。皆テ又一切ノ水ハ水素二分ト酸素一分トヨリ成ルト云フハ疑ナキ眞理トシテ信セザルニモ拘ラス是レ猶

不完全歸納タルヲ免レズ。其ノ故何トナラハ天地間一切ノ水ヲ盡ク分拆シテ而シテ後之レヲ歸結シタルニアラス。故ニ疑ヒテ思フ時ハ或ハ此ノ他ニ水ノ成分ナシトモ限ラサレハナリ。從來理科學ノ進歩ノ實跡ニ附キテ見ル時ハ不完全歸納ノ破レテ全ク敗絶シタル者多ク進歩トハ別議ニアラス。不完全歸納ノ破壊セラレ行ク歴史ノ異名ナリト謂ヒテ可ナル程ナリ。ケシナムトルビヂヤムトハ長ク相誤混セラレタリ。又ロチアム、ルセニアム、イリヂアム等近年ニ至リテ發明セラレタル元素ハ數年前迄ハ何レモ他ノ元素ト混同セラレタリシナリ。此レ等ノ新發明ニ附キテ考フル時ハ今日吾人ガ眞トシテ信スル所モ他年如何ナル發明ノ爲メニ動搖セラレ、ヤモ計ルベカラズ。以テ不完全歸納ノ歸結ノ天下擧ケテ信セラルルニモ拘ラズ不完全タルヲ免レザルヲ知ルベシ。

歸納推理ノ各式。 歸納推測式ハ格段ヨリ一般ニ入ルノ論法ナレドモ理學上ニ實用スル所ハ主トシテ原因結果ヲ發明スルニ在リ。兒童ガ始メテ原因結果ノ思想ヲ得ルニ至ルハ左ノ如キ順序ニ依ルナリ。日常遭遇スル所ノ出來事ハ必ズ某ノ順序ヲ以テ繼續セザルコトナシ。食スレバ餓チ醫ヲ飲スレバ渴チ醫ヲ打テハ

痛苦ヲ感ス。天曉ナラントスレバ太陽漸ク生シ又暗雲吹キ來リテ而シテ後雨降ル。斯クテ必ズ某ノ順序ヲ以テ經過シ來ル所ノ現象ニ依リテ自現象タリ結果タリ若シクハ原因結果ニ非ザルモ原因結果ニ關係アルコトヲ知了スルニ至ル。斯クテ日常ノ事物ニ就キテ自原因結果ノ思想ヲ起シ猶ホ某ノ結果ハ某ノ原因ヨリ來リ某ノ原因ハ某ノ結果ヲ生セシムルヲ知ルニ至ルベシ。左レド所謂理學上ノ原因結果ハ斯クノ如ク偶然ノ經驗ヲ以テ知ラレ得ベキニ非ズ。即チ某ノ格段ナル方法ヲ以テ研究セサル可ラサル所ナリ。依リテ論理學者ハ歸納論理法ノ五種ヲ擧ゲタリ。其五種トハ(一)契合法(二)差違法(三)契合差違結合法(四)陪從變化法(五)殘留法是レナリ。

契合法トハ詮鑿中ナル現象ノ二個以上ノ場合ニ於テ一ノ普通ナル事情ノ該現象ノアル場合ニハ必ズ現存スル時ハ之レヲ該現象ノ原因若クハ結果ナリト知ルノ法ナリ。例ヘハ光線ノ七色ニ分解スル原因ハ如何ト詮鑿セントシ先ツ其ノ數多フ場合ヲ求ムルニ水泡ノ上ニ生シ油球ノ上ニ生シ水晶ノ上ニ生シ又玻璃鏡ノ上ニ生スル等數多ノ場合ヲ見ルニ其ノ事狀ハ種々ニ異ナレドモ誘明体ヲ通過スル

ノ一事ハ全班ニ通シテ存セリ。故ニ光線カ透明体ヲ通過スルヲ以テ七色分解ノ一原因ト爲スト云フ歸結ヲ得ヘキカ如キ是レ契合法ナリ

差違法。 差違法トハ數多ノ場合ニテ某現象ノ存スル時ニハ必ス常ニ存スル事

狀ニシテ該現象ノ存セザル時ハ其ノ事狀ノ存セサルヲアラハ該事狀ハ該現象ノ

原因或ハ結果ナリト推度スル法ヲ云フ。例ヘハ音響ヲ發スル原因ハ何ナルカト

研究スルニ當リテ種々ノ場合ヲ設ケテ之レヲ試驗スルニ空氣ノ存スル時ハ必ス

音響アラサルヲナキモ空氣ノ存セサル時ハ決シテ之レヲ發スルヲナシ。故ニ音

響ノ發スルニハ空氣ノ存在ヲ必要トスルヲ知ル。是レ差違法ナリ。

契合法差違結合法。 是レハ數多ノ場合ヲ設ケテ其ノ場合ノ一群ニハ契合法

ヲ以テ原因若クハ結果ナラント思フヘキ者ヲ詮鑿シ置キ儲テ又一方ノ一群ニハ

差違法ヲ以テ原因若クハ結果ナラント思フヘキ者ヲ詮鑿シ双方ノ結果ヲ相對照

シテ原因結果ヲ確定スルノ法ニシテ即チ契合法ト差違法ト共ニ用ヒテ相考照ス

ルノ法ナリ。**陪從變化法。** 以上ノ三法ハ單ニ原因結果ヲ知ルニ止レドモ猶ホ進ミテ幾何

ノ原因アラハ幾何ノ結果ヲ生スルカ其ノ増減ノ比例ハ常ニ同シキカ若シ同シカ

ラサル時ハ如何ナル割合ヲ以テ消長スルカ等分量ノ点ニ不審ヲ生シ之レヲ明ニ

セント欲スルハ必然ノ人情タリ。此ニ於テ陪從變化法ヲ用ヒテ分量ノ詮鑿ヲ爲ス。

即チ甲乙ノ二現象アリテ甲ノ現象ガ乙ノ現象ノ變化スルニ從ヒテ變化スル時ハ

甲乙ノ二現象ハ原因結果ノ關係ヲ有スルヲ知ルト同時ニ其ノ變化消長ノ割合

ヲ詮鑿シ得ラルベシ。例ヘハ月ノ盈缺ト潮ノ満干ト陪從シテ變化スルヲ見テ遂

ニ八月ノ缺損今夜此ノ程ナレハ潮ノ満干正ニ此ノ位ナルベシ又月ノ満盈此ニ至

レルカラニハ潮ノ満盈モ亦正ニ此ノ邊ニ至ルナラント推度スルガ如シ。

殘留法。 殘留法ハ某分量ノ甲現象ノ中ヨリ某分量ナル乙現象ノ某部分ノ結果

ナリト知ル所ヲ除去シ甲現象ノ殘留ノ現象ハ即チ乙現象ノ殘留ノ原因若クハ結

果ナルヲ知ルノ法ヲ云フ。此ノ法ハ殊ニ化學ノ分析ニ於テ用フルヲ多シ。

推理力ノ生長。 推理力ハ判斷力ノ後ニ顯ハレ來ル。其ノ初ハ格段ナル者ヨ

リ格段ナル者ヲ推度スルニ止ルヲナルガサレド氏ノ言ニ據レバ生レテ十七ヶ

月ニシテ既ニ其ノ萌芽ヲ生シ二十一月ニ於テハ其ノ顯著ナル者アルヲ見ル。

猶ホ生長シテ三歳ニ至レハ頻リニ何ニ故ノ質問ヲ發シ來リテ原因ヲ求ムルノ心アルヲ證ス。サレドモ理法或ハ眞理ナド稱スル高等ナル推度ヲ下スハ概括力ノ充分發達シタル後ノ事ナリ。斯クテ發達シタル結果ヲ見ルニ人々大ニ差等アルヲ知ル。同シ事物ニ遇ヒテ甲ハ直ニ其ノ眞理ヲ悟リ得ルモ乙ハ能ハズ又甲ハ一般ニ推理ノ力ニ富ムモ乙ハ殊ニ格段ナル或ル一類ノ事物ニ向ヒテ優レルアリ。或ハ數學的ノ推理ニ長シ或ハ化學的ノ推理ニ長シ其ノ外特ニ長シタル者人々異同アリ。此レ等ハ畢竟天性ト其ノ境遇教育等ノ異ナルニ依リテ生セルナリ。

推理力ノ教練。 推理力ノ教練ハ早クヨリ着手スベキナリ。既ニ四歳ニ至レバ兒童ハ求知ノ心盛ニシテ種々ノ疑問ヲ提出スベシ。父母ハ適當ニ之レガ説明ヲ與ヘテ其ノ求知ノ心ヲ満足セシメ且萬事ニ必ス説明アルヲ會得セシメ以テ益々求知ノ心ヲ奮興セシムベシ。猶ホ父母教師ヨリ進ミテ疑問ヲ起シ常ニ適當ナル刺撃ヲ與ヘ以テ彼レガ求知ノ心ヲ衝動スヘキナリ。

演繹歸納ト名ツクベキ作用ノ教練ニ於テハ謬誤ニ陥ルヲ妨クテ以テ第一ノ目的ト爲ス。粗忽ニ歸納スルノ弊タルヤ偶然ニ附帶セル者ヲ以テ必然ノ原因若クハ

結果ト誤認シ又ハ數多ノ原因アルカ如クニ誤リ者フル等兒童ノ常ニ陥ル所ノ病ナリ。演繹ニ於テモ同様ニテ前上舉ケタル八條ノ規則ハ規則トシテ授クルモ何ノ効ナキノミナラズ之レヲ授クヘキ機會ヲ得難キ程ナレハ實際ノ現象ニ附キテ規則ノ精神ヲ應用シ正當ノ範圍ヲ悟ラシメ苟クモ之レヲ跳失スルヲナキ様ニ訓練スルヲ可トス。サレバ日常見聞スル所ノ事物ヲ始メトシテ初步ノ讀書殊ニ理科ノ科目ノ如キハ此ノ力ヲ訓練スベキ最良ノ材料トシテ常ニ其ノ邊ノ注意ヲ怠ルベカラズ。理科ノ學ハ全体盡ク推理ヨリ成ル。或ル學科ハ殊ニ歸納推理ヲ含蓄スルヲ多ク或ル學科ハ殊ニ演繹推理ヲ含蓄スルヲ多ク自然理學ハ前者ニ傾キ數學ハ後者ニ傾キ何レモ論理能力訓練ノ好材料ヲラザルハナキナリ。

第十三章 感情総論——体欲

感情ノ定義。 感情トハ苦樂ノ意識アル態度ヲ云フ。或ル感情ハ快樂ニシテ或ル感情ハ苦痛ナリ又或ル感情ニハ快樂苦痛ノ混合スルアリ其ノ混合ノ比例モ種々アリテ同シカラス。感情ノ最モ單簡ナルハ單ニ神經ノ衝動ヨリ來ル感覺ノ

苦樂ノ如キ者は是レナリ。又或ル者ハ複雑ナル心意ノ働キヨリ來ル道德ノ感情企望等ノ苦樂ノ如キ是レナリ。

感情ト知力トノ關係。 感情ト知力トハ大ニ關係シテ互ニ相反對スルコトアリ又互ニ相助シルコトアリ。其ノ互ニ相反對スル有様ハ左ノ如シ。感情ノ激發シテ酷ク盛ナル時ハ知力ハ爲メニ其ノ働キヲ停止セラル又知力ノ働キ獨リ專ラナルキハ感情ハ頗ル冷淡ナリ。知力ノ盛強ハ寧靜ナル心ノ態度ヲ要シ而シテ感情ハ心ヲ激動ス故ニ兩者相容レサルコト必然ノ事實ナリ。

然レモ知力ノ働キモ適當ノ快樂アルニアラサレハ充分ナルヲ得ズ學者カ幽遠ナル真理ヲ研究スルハ頗ル複雑ナル知力ノ働キニシテ極メテ寧靜ナル心意ノ態度ヲ要スレモ一方ニ愉快ノ大ナル者アルニアラサレハ之ヲ成就スルコト能ハス。

又或ル感情ハ多ク之レヲ知ルヨリ來ル。例ヘハ人物ヲ愛スルノ情又ハ國家ヲ愛スルノ情ノ如キハ其ノ人物國家ノ愛スヘキ次第ヲ知レハ知ル程益其ノ愛情ヲ深クシ來ル。

感情ト意志トノ關係。

意志ハ快樂ナル者ヲ取り苦痛ナル者ヲ去ラントス

ルノ働ナリ。故ニ其ノ發動ノ源ハ感情ヨリ出ヅト云フモ可ナリ又意志ハ感情ヲ著シク増減スルコト能ハサルモ殊ニ意ヲ以テ感情ノ表象ヲ強クシ或ハ弱クシテ爲メニ幾分ガ之レヲ支配スルコト得ベシ。此ノ干係ハ猶ホ意志ノ章下ニ明ニセン。

感情ノ表象。 感情ノ表象ハ心中ニ在ル感情カ身体ノ外ニ發動シテ其ノ徵候ヲ現ハスチ云フ。例ヘハ悲哀ノ情アラハ悲哀ノ聲ヲ發シ恐懼ノ情アラハ眼ヲ見張リ口舌乾燥スルカ如ク都ヘテ心中ノ情ハ顔色ニ現ハレ容態ニ現ハレ音聲ニ現ハレ其ノ他甚シキハ内臟ノ作用ニマテ變動ヲ及ホス。

此ノ感情ノ表象ハ一部ハ先天ノ本能ニ屬シ一部ハ后天ノ習成ニ屬ス。泣キ笑ヒ嘔スル等ハ早クヨリ現ハレ來ル所ノ表象ニシテ是レ先天ノ本能ナリ。不徳ノ者ヲ見テ擯斥ノ容態ヲ呈シ新奇ノ物ヲ見テ驚嘆ノ音調ヲ發スルカ如キハ自然父兄ノ爲ス所ヲ見テ習成シタル所ニ屬ス。

快樂苦痛ノ理法。 一切ノ快樂苦痛ヲ一括シテ一理法ノ下ニ説明スルコトヲ得ナハ甚ク痛快ナルヘケレハ心理學者ハ怠ラス之レヲ勉ムレモ其ノ事タル元來至難ノ業タルヲ以テ未ダ満足ナル結果ヲ得ス。今日ニ於テ最モ研究シ得タル所

ハ左ノ諸條ナリトス。

一 衝動ノ理法。 快樂ハ都ヘテ心意ノ活動ニ伴フ所ナリ、心意ノ能力適度ノ衝動ヲ受ケテ適度ノ活動ヲ爲ス時ハ快樂ヲ生ス。眼ノ彩色ニ於ケル耳ノ音樂ニ於ケル筋骨ノ適宜ノ運動ニ於ケル皆愉快ナラサルハナシ。然レトモ衝動カ其ノ適度ヲ超越シテ過度ニ陥ル時ハ其ノ愉快ハ漸次消滅シテ速ニ苦痛ト爲ル、過度ナル光線ノ眼ニ於ケル、大聲ノ耳ニ於ケル、激烈ナル勞動ノ筋骨ニ於ケル皆痛苦ナラザルハナシ。然レドモ衝動ノ不足ナル時モ亦苦痛ヲ生ス。眼ニ於ケル光線ノ衝動ノ不足ニシテ暗黒ナル時ハ不快ナリ又活潑ナル兒童ノ筋骨ヲ束縛セラレテ運動ヲ遂ケシメサルモ又大ナル苦痛ヲ感セシム。心意ニテモ適宜ノ衝動ヲ受ケサル時ハ鬱憂倦怠等ノ不快ヲ感シ來ル。

故ニ衝動ノ快樂ナルハ其ノ過度ト不足トノ中庸ニ在リ、即チ適度ノ所ニ存スレトモ此ニ適度ト云フハ比較的ノ語ニシテ其ノ機關性來ノ組織ニ關係シ又人物ノ強弱ニモ關係ス。眼ノ如キハ夙ニ起キテヨリ遅ク寐ヌル迄常ニ使用シテ休息スルヲナキモ左マテ疲勞ヲ感スルヲナシ然レモ若シ耳ニシテ然ラズハ甚ダ苦痛ヲ感

シ來ルベシ。又身体ノ新鮮強壯ナル時ハ割合ニ強キ衝動ニアラサレハ快樂ヲ感セサルモ其ノ既ニ疲勞シ來レル后ニハ割合ニ僅少ノ衝動ニテモ苦痛ヲ感シ來ルベシ。強壯ナル人ハ衝動ヲ要スルヲ多ク、虛弱ナル人ハ激シキ衝動ニ堪ヘ難クシ。

二 變化ノ理法。 愉快ナル衝動ニテモ長ク之レヲ持續スル時ハ漸ク其ノ快樂

ヲ失ヒ從ヒテ苦痛ト爲ル。故ニ寡クモ苦痛ヲ生セサラシメントセハ變化ヲ要スルナリ。第一ニハ衝動ヲシテ其ノ快樂ヲ失ハサランニハ適度ノ時間ニ於テ之レヲ限ラサルヘカラス、第二ニハ注意ヲシテ活潑強盛ナラシメンニハ衝動ヲ變化スルノ必要ナルヲ二ヶ條ヨリシテ變化ヲ快樂ニ必要ナル事狀ト爲スナリ。

此ノ變化ヨリ快樂ヲ感スルニ大要二様アリ一ハ快樂ノ少キ者ヨリ快樂ノ高キ者ニ遷ル一ハ現在ノ衝動ヨリモ異ナリタル衝動ニ遷ル一是レナリ。

苦痛ナル者ヨリ遷リテ快樂ナル者ニ來ルハ是レ最モ大ナル快樂タリ、病体ヨリ健康体ニ遷リ貧賤ヨリ富貴ニ遷リ名譽ナキ者カ新ニ名譽ヲ得ルカ如キ皆下等ノ者ヨリ高等ニ遷リ其ノ間ニ快樂ヲ感スル者タリ。

變遷シテ快樂ヲ感スルハ強テ劣等ナル者ヨリ優等ナル者ニ進ム時ノミナラス同

等ノ快樂ニシテモ其ノ種類ノ異リテ衝動同シカラサル時ハ又頗ル愉快ヲ感シ得ベシ。戶外ノ運動ヨリ戸内ノ遊戯ニ遷ル心意ノ働キヨリ身体ノ働キニ遷ル皆是レ異リタル衝動ノ下ニ新ニ快樂ヲ感スル所ナリ。美術家ノ技能ハ能ク此ノ變化ヲ整理シテ快樂ヲ全カラシムルニ在リ。

快樂ニテモ苦痛ニテモ變化セズシテ長ク同物ヲ持續スルトキハ初メノ苦痛或ハ快樂トモ漸次消滅シテ遂ニ無感覺ノ域ニ變シ去ルコトアリ。斯クノ如キニ至ルヲ習慣ト云フ。初メテ山川洋海ノ風景ヲ見テ非常ニ快樂ヲ感シタルモ漸ク慣ルニ從ヒテ其ノ快樂ヲ減殺シ去ルカ如キ或ハ始メテ都會肩摩ノ地ニ來リテ其ノ喧噪ニ苦シミテ夜モ安眠ヲ得サリシ程ノ者カ漸ク慣ルニ從ヒテ全ク此ノ感覺ヲ消滅シ去ルカ如キ皆之レ習慣ヨリ來ル所トス。又或ル種類ノ苦痛ハ之レヲ屢々スルニ從ヒテ漸ク之レニ耐フルノ力ヲ生シ同時ニ愉快ヲ感スルニ至ルコトアリ。酒類ノ如キ藥味ノ如キ是レナリ。

三、衝動ノ協和及反對。 腦髓ノ各中樞ハ互ニ相關係スル者ニシテ其ノ一中樞ノ衝動ハ他ノ中樞ニ影響ヲ及ホス。例ヘハ音樂ノ快樂ハ耳聽神經ノ中樞ヲ樂

マシムルノミニアラズ他ノ中樞ニモ影響ヲ及ホシテ同時ニ數多ノ愉快ナル理想ヲ繼發セシム。又眼ニ醜色ヲ視テ不快ナル時ハ不快ナル理想ヲ繼發セシム。

元來心意ハ一ノ統一全体ナルヲ以テ現在ニ一ノ働キアル時ハ心意ノ全体此ノ方向ニ運轉スルカ故ニ若シ此ノ際ニ當リテ突然甚ダシキ異様ノ運轉ヲ爲サハルヘカラサル事ノ生シ來ル時ハ新舊ノ運轉此ニ衝突シテ其ノ結果ハ不快ノ感トナル。例ヘハ今現ニ古人ヲ友トシテ讀書ノ妙味正ニ盛ナルニ當リテ突然俗界ノ塵事ヲ以テ衝動セラル、カ如キハ甚シキ不快ナリ。之レニ反シテ現在ノ働キト同種或ハ協和ノ運轉ヲ爲ス所ノ衝動來ル時ハ新舊協和シテ頗ル快樂ヲ感スベシ。例ヘハ今事業ノ計畫ヲ爲シツ、在ルニ當リテ偶然ニ事業家ノ傳記ニ遇ヒ或ハ詩作ノ工夫ヲ凝ラシツ、在ルニ當リテ偶然ニ吐鵲ノ聲ヲ聞ク等ノ如シ。

情ノ轉徙及ヒ結合。 情ハ接近ノ理法ニ依リテ元來無關係ノ者ニ轉徙スルコトアリ。愛憎ノ情ノ如キハ其ノ尤モ著シキ者ト爲ス。其ノ人ヲ敬愛スルニ依リテ其ノ書ヲ喜ビ刑罰ノ苦痛ヲ恐ル、ヲ以テ拷問ノ器具ヲ忌ムカ如キハ普通ノ事實ニシテ是レ接近セル者ニ情ヲ轉徙スルニ依ルナリ。又數多ノ情ノ堅ク結合シ

テ一個ノ固結情操ト爲ル者多シ。富貴ヲ得ントスルノ情徳義ヲ研カント欲スルノ情ノ如キハ何レモ元來ハ單純ナル情ニアラス數多ノ情ノ結合シテ組成セルモノトス。忠君愛國ノ情ノ如キモ之レヲ分拆セハ忽チ數多ノ元素アルヲ發見セン。

情緒ノ種類及ヒ分類。 苦樂ノ感情ハ大体二種ニ分ツヘシ。直ニ神經ノ衝動ヨリ生スル者及ヒ心意的ノ活動ヨリ起ル者はレナリ。其ノ第一ハ之レヲ肉體感トモ云フ通常感覺是レナリ。第二ハ之レヲ情緒ト云フ。

感覺的ノ感シハ猶種々ニ分ツト雖モ是レ亦大要二種ニ分ツヘシ。其一ハ身體ノ變化或ハ障害ヨリ起ル者ニシテ饑渴ノ如キ寒温ノ如キ感覺是レナリ。此ノ感覺ニハ苦樂アルヲ他ト異ナラズト雖モ苦ノ分量ハ多クシテ快ノ分量ハ尠シ。其ノ二ハ特別ノ受感ニ起ル所ニシテ眼ノ色ニ於ケル耳ノ音ニ於ケルカ如キ是レナリ。筋骨ノ感モ亦此ノ中ニ入ルベシ。此ノ種ノ感覺ニ於テハ愉快ナル者多クシテ苦痛ナル者少シ。

情緒ノ分類。 情緒ノ分類ハ頗ル困難ナリ。深ク其ノ異同ヲ辨シ細ニ其ノ關係ヲ明ニシテ適當ノ分類ニ爲スヘキヲ是レ心理學者ノ等シク苦心スル所ナレドモ

未タ其ノ妙案ヲ立テタル者無シ。本篇ニ於テハ暫ラク諸氏ノ意見ヲ拆衷シテ且ツ普通ノ分類法ヲ基トシテ單簡ナルヨリ複雑ニ進ムノ主義ヲ取ラントス。

体 欲

体欲ハ身體ノ欠亡ヲ満足センカ爲メニ生スル感覺ナリ。若シ十二時間食ヲ取ラサル時ハ必ズ饑ヲ感シ又一晝夜睡眠ニ就カサル時ハ睡氣ノ甚シキヲ感スベシ。斯クテ身體ニ欠亡アル時ハ忽チ苦痛ヲ喚起シテ之レヲ醫セサレハ措ク能ハス。此ノ種ノ感覺ヲ体欲ト云フ。故ニ体欲ハ身體ノ有機性必要ヨリ生スル要求ニシテ一時其ノ必要ヲ充セハ忽消滅スルモ身體ノ運營ハ絶ユルヲナキヲ以テ后ニ至リテ復其ノ欠亡ヲ生シ再ヒ要求ヲ反ヘシ來ル。而シテ体欲ノ要求ニハ物質上ノ界限アリ餓ユレハ食ヲ以テ之レヲ治スヘク渴スレハ水ヲ以テ之レヲ醫ス可シ而シテ其ノ食物ニテモ飲水ニテモ限アリテ其ノ上ヲ超過スヘカラス。

- 体欲ノ種類。** 体欲ノ種類ハ(一)食物ニ對スル欲即チ饑(二)飲料ニ對スル欲即チ渴(三)睡眠ニ對スル欲即チ求眠ノ欲(四)勞働或ハ休息ニ對スル欲即チ運動休息ノ欲(五)呼吸ニ對スル欲即チ氣欲(六)男女ノ欲即チ色欲等トス。

以上ノ六種ハ人性ノ自然ニ存スル形ナレバ習慣ニ依リテ自然ノ要求外ニ之レヲ貪ルニ至ルヲアリ。食ハ以テ饑ヲ防カハ可ナリ、必スシモ美味ヲ要セサレバ美味ヲ常ニスル時ハ遂ニ習慣ヲ爲シテ己ムヘカヲサルノ体欲ト爲ルニ至ル。飲料ニ對スル欲、睡眠ニ對スル欲等何レモ皆自然ノ要求外ニ之レヲ超過スルノ習慣ヲ爲シテ遂ニ止ムヘカヲサルニ至ルヘケレハ大ニ慎ムヘキヲナリトス。

右ニ擧ケタル自然ノ要求ノ外ニ屬スル者ニシテ遂ニ体欲ノ如クニ變成スル者アリ。是レ亦習慣ノ然ラシムル所ニ屬シテ之ヲ人工ノ体欲ト云フ。酒類ニ對スル欲、吸烟ニ對スル欲、亞片ニ對スル欲等ノ如キ即チ此ノ種ニ屬ス。其ノ甚シキニ至リテハ恐ルヘキ疾病ノ状態ト爲リテ之レヲ満足スルヲ能ハサル時ハ死ニ至ルヲ殆ント餓渴ノ如キヲアリ。亞片ノ濫用遂ニ其ノ体欲ヲナシタル者ノ憐レナル有様或ハ酒癖ノ甚シキ者ヲ見レハ皮膚爲メニ悚然タラズバアラス。節欲ハ實ニ人性ニ取リテ最も大切ナル者ナリ。

第十四章 各種ノ情緒

情緒ノ分類ハ前章ニ演ヘシ所ノ如ク頗ル困難ナルヲ以テ未タ全ク異論ノ入ルヘカラサル者ナシ。通常ハ驚愕、驚奇、自由並ニ束縛ノ情、恐怖ノ情、愛ノ情、主我ノ情、忿怒ノ情等ノ諸情ヲ單簡ナル情ト爲シ活動ノ情、活知ノ情、同情、美情、道德ノ情等ノ諸情ヲ複雑ナル情ト爲ス。

驚愕ノ情。 驚愕ノ情ハ豫想ノ外レタル時所謂愕然トシテ起ル情ニシテ其ノ豫想ヨリモ凶シキ方ニ外レタル時ハ苦痛ニシテ豫想ヨリモ皆ノ方ニ外レタル時ハ愉快ナリ。驚奇ハ驚愕ト殆ント相近ク未タ經驗セサル新奇ノモノニ遭遇シテ發スルヲ云フ。

自由及束縛ノ情。 自由並ニ束縛ノ情ハ互ニ相關係スル一對ノ情ニシテ今マテ他人ノ中ニ居リテ氣兼心配シタル者ガ全ク家内ノ者ノミト爲リテ所謂氣樂ヲ感スルカ如キ或ハ從來束縛セラレタル者ガ新ニ自由ヲ得タル時ニ感スルカ如キ是レ自由ノ情ナリ。束縛ノ情ハ正ニ此レト反對ニテ今マテ家族ト遠慮ナク放談セシ者カ他人ノ間ニ入リテ俄ニ窮屈ニ感スルカ如キノ情是レナリ。

恐怖ノ情。 恐怖ノ情ハ將サニ來ラントスル兇害ヲ見テ起ル苦痛ノ情ニシテ

人ノ活動力ヲ沈衰セシメ且此ノ情ヲ起サシメタル者ヲ虚大ニ想像セシムルノ傾キアリ。既ニ兇害ヲ受ケ終レハ恐怖ノ情ハ去リテ現在ノ苦痛トナル是レ恐怖ノ苦痛ニハアラス。恐怖ハ兇害ノ將ニ來ントスルヲ見テ起ル者ナリ。故ニ其ノ兇害ノ恐ルヘカラサルヲ知ル時ハ恐怖ハ去リテ反動ノ快樂ヲ來ス。恐怖ノ情ハ肉体ノ上ニ種々ノ兆候ヲ生ス。先ツ顔面ニハ争フヘカラサル恐怖ノ相ヲ呈シ神経力ハ沈衰シ筋肉ノ働ハ魔瘵ニ或ル部分ニハ震栗セシム。内臓機能ニモ變化ヲ生シ消化力ヲ減殺シ唾液及ヒ胃液ノ分泌ヲ止メ心臓ノ鼓動ヲ障害シテ血液ノ循環ヲ害シ殊ニ顔面ハ蒼然タラシム皮膚ニハ冷汗ヲ發シ且汗臭ヲ變セシム。女子ニ在リテハ乳液ノ性質ヲ變化セシムルニ至ルコトアリ。恐怖ノ情アル時ハ知力ノ注意ヲ起サシメタル物ニ凝集セシム。深夜賊アラント恐ル、時ハ夢忽チ破レ微細ノ音モ耳ヲ衝キテ入り來ル。去レハ一タヒ此ノ情ヲ起サシメタル者ハ決シテ永ク忘ルコトナシ。意志ノ上ニハ活動力ヲ沈衰セシムルヲ以テ之レヲ政事並ニ教育ノ要具ニ使用スルコトアリ。然レモ此ノ情ノ深ク心中ニ刻着シテ活動力ヲ長縮セシムルヤ卑屈愚鈍ノ人物ト成リ又之レヲ救濟

スルコト能ハサルニ至ルベシ。是レ深ク教育上ニ留意スヘキ所ト爲ス。疑懼ハ恐怖ノ一種ニシテ前ニ現ニ恐怖シタル者或ハ恐怖スヘキ者ナルコトヲ知リタル者カ我レヲ襲ヒ來ランカト心配スルニ生スル情ナリ。此ノ情ノ習性ヲ爲スヤ人ノ勇氣ヲ沮喪セシメ怯懦ノ人物ト爲ス。兒童ノ恐怖不安心ノ恐怖妄信ノ恐怖死ノ恐怖等ハ恐怖ノ最モ著シキ者ナリ。恐怖ハ一般ニ知識ノ不足ノ虚ヲ衝キテ來ル情ナレハ此ノ情ヲ薄カラシメンコトハ知識ヲ増進スルヲ要ス。

愛ノ情。 愛ノ情ハ種々ニ發動セラル、愉快ナル情ニシテ其ノ結果ハ人ヲシテ相親近セシム。此ノ情ハ元來人ニ對シテノ起ル情ニシテ其ノ物ニ對シテ起ルハ畢竟人ニ對シテ起ルヘキ情ノ物ニ遷レルニ過キス。

愛ノ情ヲ起ス衝動ハ左ノ如シ。(一)大ナル快樂ハ愛情ノ衝動ナリ。都ヘテ吾レニ安樂ノ感アル時及ヒ喜悦ノ大ナル者アル時ハ自然他ヲ愛スルノ情ヲ盛ナラシム。(二)苦痛ハ一ノ衝動ナリ。苦痛カ愛ヲ衝動ストハ甚タ異様ノ論ナレモ實際ニ就キテ見レハ例證ノ歴々タル者アルヲ見ルヘシ。貧困者ノ殊ニ其ノ子ヲ愛着スルカ